



0009188-000

CZ-453-21

都市計画関係例規

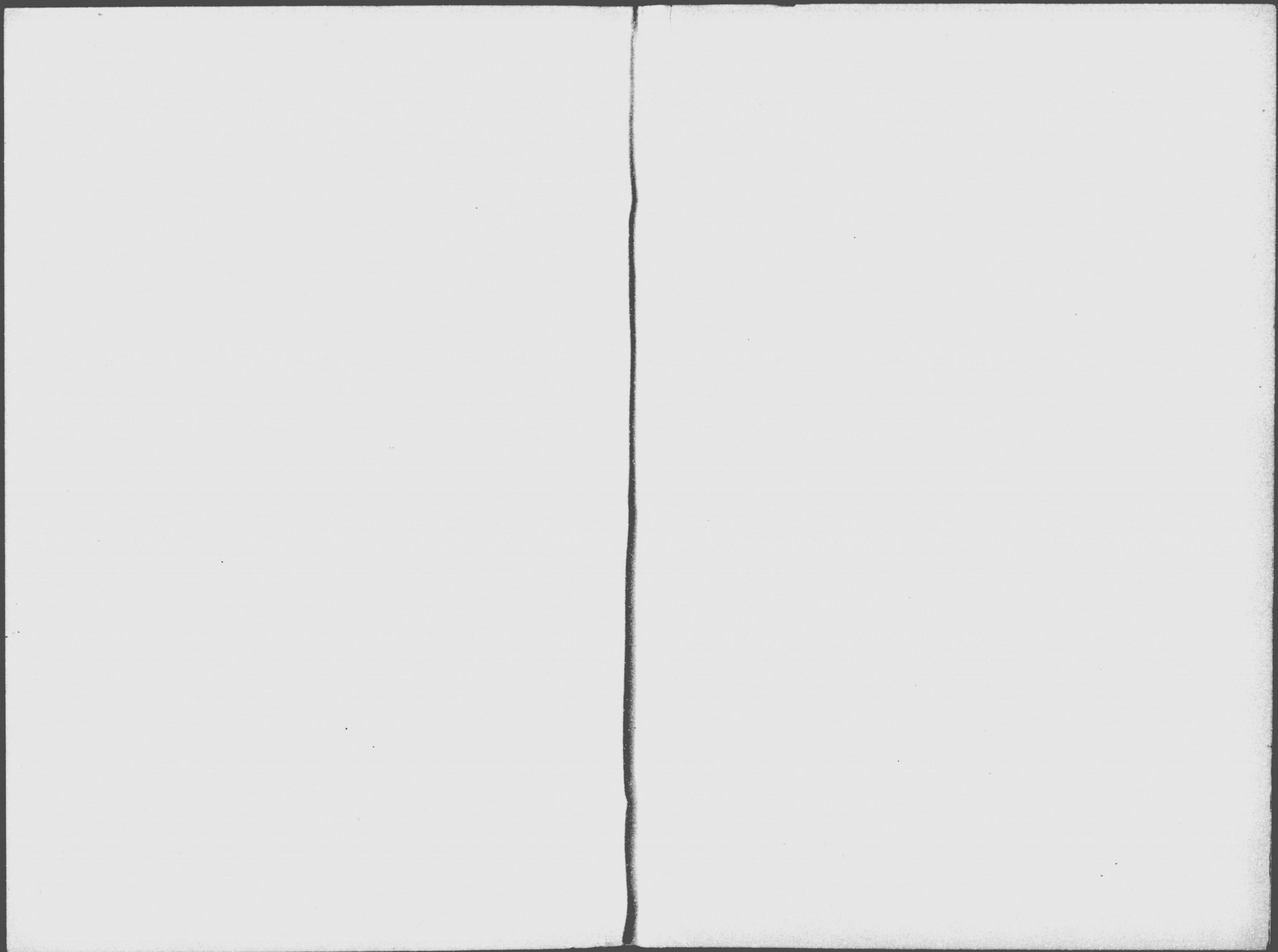
都市計画静岡地方委員会・編

都市計画静岡地方委員会

1929. 11

ABI







三三/M112

32  
187  
G.P.T.

都市計畫關係例規



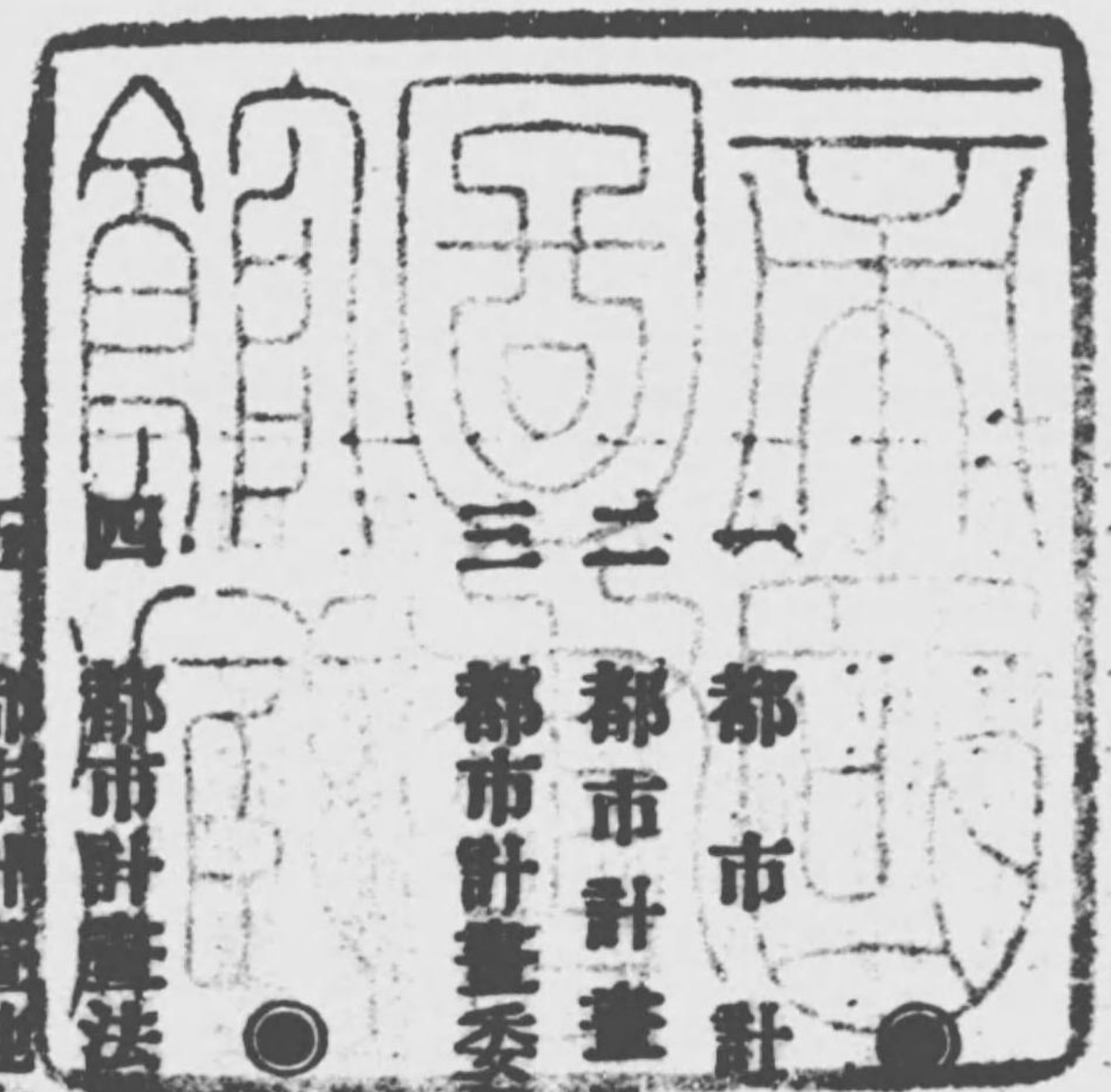


CZ  
453  
21

# 都市計畫關係例規

## 目次

	基礎法令	
一	都市計畫法	
二	都市計畫法施行令	
三	都市計畫委員會官制	
	● 都市計畫法關係	
四	都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル市指定ニ關スル件	二九
五	都市計畫地方委員會付議案調製手續ニ關スル件	三二
六	都市計畫事業年度制變更ニ關スル件	三三
七	關係官廳トノ協議ニ關スル件	三三
八	都市計畫事業トシテ結核療養所設置ノ件	三四



318.8

79W54415



九	内閣ノ認可ト道路法トノ關係疑義ノ件	三五
一〇	内閣ノ認可ト軌道條例トノ關係疑義ノ件	三六
一一	都市計畫事業運河新設ニ關シ運河法第一條ノ規定ノ取扱ニ關スル件	三七
一二	府縣知事事業執行者タル場合土地收用法及事業年度割等ニ關スル件	三八
一三	都市計畫道路擴築事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件	三九
一四	國有財産法第十八條ノ損害賠償請求ニ關スル件	四〇
一五	都市計畫法第八條特別税賦課ノ件	四二
一六	都市計畫法第九條ニ依リ下付ヲ受ケタル河岸地ニ對シ課税ノ件	四三
一七	國有河岸地ニ關スル件	四四
一八	市街地建築物法	四五
一九	市街地建築物法施行令	五〇
二〇	市街地建築物法施行規則	五九
二一	市街地建築物法第四條第二項ノ規定ニ依ル工業地域内特別地區規則	七一
二二	市街地建築物法第十四條ノ規定ニ依ル特殊建築物耐火構造規則	七三
二三	市街地建築物法施行令第三條ノ二ノ取扱方ニ關スル件	七六
二四	市街地建築物法適用ニ關スル件	七七

二五	市街地建築物法適用區域ニ關スル件	七九
二六	市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依ル指定	八〇
二七	市街地建築物法施行規則	八一
二八	内閣ノ認可ト法第十一條トノ關係疑義ノ件	八七
二九	耕地整理法	八八
三〇	耕地整理法施行規則	一二二
三一	耕地整理登記令	一四八
三二	耕地整理登記令施行規則	一六一
三三	土地區劃整理ノ施行ニ關スル件	一六五
三四	都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件	一六五
三五	耕地整理登記令施行規則準用方ノ件	一六六
三六	耕地整理法第一條ノ解釋ニ關スル件	一六六
三七	道路附近ノ收用ニ屬セタル残存土地土地區劃整理トシテ取扱方ノ件	一六七
三八	土地區劃整理組合設立認可ニ關スル訴願裁決ノ件	一六八
三九	土地區劃整理獎勵規程	一七〇
四〇	國有土地土地區劃整理施行地區編入其ノ他申請手續ニ關スル件	一七二



四一	土地區劃整理會計規程ニ關スル件	一七四
四二	都市計畫法第十三條ノ土地區劃整理施行ニ關スル件	一七八
四三	土地區劃整理設計認可申請ニ關スル件	一七九
四四	路幅以外ノ法敷買収ノ件	一八〇
四五	都市計畫法第十六條第二項ニ依リ收用シタル土地處分ニスル件	一八二
四六	都市計畫法第十七條ニ關スル疑義ノ件	一八三
四七	土地收用法	一八四
四八	土地收用法施行令	一八五
四九	内閣ノ認可ト土地收用法第十八條並ニ同法第十四條トノ關係疑義ノ件	一八六
五〇	行政執行法 (抄録)	一九一
五一	行政執行法施行令 (抄録)	一九二
五二	道路法	一九三
五三	道路構造令	一九四
五四	街路構造令	一九五
	●都市計畫法施行令關係	

五五	都市計畫事業執行者指定ニ關スル件	二三八
五六	都市計畫法施行令第九條第四號ニ依リ受益者指定ノ件	二三九
五七	都市計畫事業受益者負擔規定ノ解釋ニ關スル件	二四〇
五八	都市計畫事業費受益者負擔規程ニ關スル件	二四二
五九	濱松都市計畫事業道路廣場新設擴張受益者負擔ニ關スル件	二四三
六〇	静岡都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件	二四六
六一	清水都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔ニ關スル件	二五〇
六二	清水都市計畫事業道路新設擴張受益者負擔區劃ニ關スル件	二五四
六三	都市計畫法第十一條及同法施行令第十一條ノ規定ニ依ル許可ニ關スル件	二五四
六四	營造物管理者ヲ指定セシトキノ費用ノ件	二五六

●都市計畫委員會官制關係

六五	都市計畫地方委員會付議事項發案權委任ノ件	二五七
六六	都市計畫地方委員會付議事項發案權委任中「設計ノ些少ノ變更」ノ意義ニ關スル件	二五八



六七	都市計畫委員會付議事項發案權委任ニ付文例ニ關スル件	二五八
六八	内閣ノ認可ヲ受クヘキ事件ノ議決ニ付答申ノ件	二五九
六九	諸調査會等ノ職員旅費支給規則	二六〇
七〇	官制第八條第三項但書ニヨル者ノ決議權ニ關スル件	二六一
七一	都市計畫委員會委員ニ臨時委員任命ノ件	二六二
七二	臨時委員議事參與ニ關スル件	二六二
七三	臨時委員資格消滅ニ關スル件	二六三
七四	委員選舉ニ關スル件	二六四
七五	委員異動報告ノ件	二六五
七六	委員選舉後辭退申出ノ場合ノ效力ニ關スル件	二六五
七七	都市計畫靜岡地方委員會處務規程	二六六
七八	都市計畫靜岡地方委員會事務代決規程	二七四
七九	都市計畫靜岡地方委員會文書編纂規程	二七五
八〇	會長代理者ノ件	二七六
八一	委員會招集報告ノ件	二七七
八二	委員會會議事項及報告方ノ件	二七七

八三	官制第十三條ノ解釋ニ關スル件	二七七
八四	都市計畫靜岡地方委員會議事規則	二七八
八五	都市計畫地方委員會會議ニ關スル件	二八〇
八六	常務委員會委任事項ノ範圍ニ關スル件	二八二
八七	都市計畫靜岡地方委員會常務委員會委任事項	二八三
八八	常務委員會委任事項ニ關スル件	二八四
八九	都市計畫靜岡地方委員會職員定員ノ件	二八五
九〇	職員以下諸給與ニ關スル件	二八六
九一	都市計畫地方委員會旅費規則	二八七
九二	都市計畫靜岡地方委員會職員以下旅費減額支給ノ件	二八八
九三	都市計畫靜岡地方委員會旅費支給規程	二九三
九四	地方委員會技師旅費ノ件	二九五
九五	囑託ノ採用並委員臨時委員職員ノ海外出張ニ關スル取扱方ノ件	二九六

● 其 他

九六	各官廳執務時間	二九七
----	---------	-----



九七	官廳執務時間ニ關スル件	二九六
九八	職員休暇ニ關スル件	二九九
九九	職員休暇取扱方ニ關スル件	三〇〇
一〇〇	都市計畫部地方委員會費特別會計規則	三〇一

六

都市計畫關係例規目次 (終)

一、都市計畫法

(大正八年四月五日  
法律第三十六號)

沿革 大正一二年第二七號 同一五年第三八號改正

**第一條** 本法ニ於テ都市計畫ト稱スルハ交通、衛生、保安、經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ増進スル爲ノ重要施設ノ計畫ニシテ市ノ區域内ニ於テ又ハ其ノ區域外ニ亘リ施行スヘキモノヲ謂フ

**第二條** 前條ニ規定スル市ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス其ノ市ノ都市計畫區域ハ關係市町村及都市計畫委員會ノ意見ヲ聞キ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ

參照

(四) 都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル市指定ニ關スル件

**第三條** 都市計畫、都市計畫事業及毎年度執行スヘキ都市計畫事業ハ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ

- (五) 都市計畫地方委員會附屬案調製手續ニ關スル件
- (六) 都市計畫事業年度割變更ニ關スル件
- (七) 關係官廳トノ協議ニ關スル件



- (八五) 都市計畫地方委員會ノ會議ニ關スル件
  - (八) 都市計畫事業トシテ補修養護所設置ノ件
  - (九) 内閣ノ認可ト道路法トノ關係養護ノ件
  - (一〇) 内閣ノ認可ト軌道條例トノ關係養護ノ件
  - (一一) 都市計畫事業運河新設ニ關シ運河法第一條ノ規定ノ取扱ニ關スル件
  - (一二) 府縣知事事業執行者タル場合土地收用法及事業年度制等ニ關スル件
- 第四條** 都市計畫委員會ノ組織、權限及費用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

參 照

(三) 都市計畫委員會官制

**第五條** 都市計畫事業ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳之ヲ執行ス  
 主務大臣特別ノ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳ニ非サル者ヲ  
 シテ其ノ出願ニ依リ都市計畫事業ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

參 照

(二) 施行令第一條乃至第八條

**第六條** 都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ國  
 公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政廳ニ非  
 サル者之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス

主務大臣必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ都市計畫事業ニ因リ著シク利益  
 ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セ  
 シムルコトヲ得

參 照

(二) 施行令第九條、第十條

(一三) 都市計畫道路築築事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件

(一四) 國有財産法第十八條ノ損害賠償請求ニ關スル件

**第七條** 主務大臣必要ト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依リ公共團體ノ負擔スヘキ毎年度  
 ノ金額ノ最低限度ヲ定ムルコトヲ得

**第八條** 公共團體ハ第四條又ハ第六條ノ費用ニ充ツル爲左ノ特別稅ヲ賦課スルコトヲ  
 得但シ府縣費ヲ市ニ分賦スル場合ニ於テ市カ營業稅、雜種稅又ハ家屋稅ヲ賦課スル  
 トキハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ其ノ稅率ヲ定ムヘシ

- 一 地租割 地租百分ノ十二半以内
- 二 營業收益稅割 營業收益稅百分ノ二十二以内
- 三 營業稅、雜種稅又ハ家屋稅各府縣稅十分ノ四以内
- 四 特別地稅 北海道及其ノ市町村ニ在リテハ地價千分ノ四以内、府縣及其ノ市町



村ニ在リテハ地價千分ノ五以内

五 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノ

營業收益税額ノ賦課ニ付テハ營業收益税法第十條第二項ノ規定ニ依ル資本利子税額ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ營業收益税額ト看做ス

特別地稅ノ賦課率ハ當該年度ノ豫算ニ於テ定メタル田畑ニ對スル地租割ノ賦課率ヲ以テ算定シタル地租割額ノ當該田畑ノ地價ニ對スル比率ヲ超ユルコトヲ得ス

公共團體ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ公共團體ノ他ノ收入ヲ以テ第四條又ハ第六條ノ費用ニ充ツルコトヲ得

參 照

(一五) 都市計畫法第八條特別税賦課ノ件

第九條 都市計畫區域内ニ存スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ第六條ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ之ヲ下付スルコトヲ得

參 照

(一六) 法第二十一條

(一六) 都市計畫法第九條ニ依リ下付ヲ受ケタル河岸地ニ對シ課税ノ件

(一七) 國有河岸地ニ關スル件

第十條 都市計畫區域内ニ於テ市街地建築物法ニ依ル地域又ハ地區ノ指定、變更又ハ

廢止ヲ爲ストキハ都市計畫ノ施設トシテ之ヲ爲スヘシ

都市計畫區域内ニ於テハ市街地建築物法ニ依ル地域及地區ノ外土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ風致又ハ風紀ノ維持ノ爲特ニ地區ヲ指定スルコトヲ得

參 照

(一八) 市街地建築物法

(一九) 市街地建築物法施行令

(二〇) 市街地建築物法施行規則

(二一) 市街地建築物法第四條第二項ノ規定ニ依ル工業地域内特別地區規則

(二二) 市街地建築物法第十四條ノ規定ニ依ル特殊建築物耐火構造規則

(二三) 市街地建築物法施行令第三條ノ二ノ取扱方ニ關スル件

(二四) 市街地建築物法適用ニ關スル件

(二五) 市街地建築物法適用區域ニ關スル件(靜岡、濱松、清水、沼津市)

(二六) 市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依ル指定(同)

(二七) 市街地建築物法施行規則

第十一條 第十六條第一項ノ土地ノ境域内又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ指定スル地區内ニ於ケル建築物、土地ニ關スル工事又ハ權利ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム



參 照

- (二) 施行令第十一條乃至第十四條
- (二八) 内閣ノ認可ト法第十一條トノ關係疑義ノ件

**第十二條** 都市計畫區域内ニ於ケル土地ニ付テハ其ノ宅地トシテノ利用ヲ増進スル爲  
土地區劃整理ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ土地區劃整理ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外耕地整理法ヲ準  
用ス

參 照

- (二九) 耕地整理法
- (三〇) 耕地整理法施行規則
- (三一) 耕地整理登記令
- (三二) 耕地整理登記令施行細則
- (三三) 土地區劃整理ノ施行ニ關スル件
- (三四) 都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件
- (三五) 耕地整理登記令施行細則準用方ノ件
- (三六) 耕地整理法第一條ノ解釋ニ關スル件
- (三七) 道路附近ノ收用ニ屬セサル殘存土地土地區劃整理トシテ取扱方ノ件
- (三八) 土地區劃整理組合設立認可ニ關スル訴訟判決ノ件

(三九) 土地區劃整理獎勵規程

(四〇) 國有土地土地區劃整理施行地區編入其ノ他申請手續ニ關スル件

(四一) 土地區劃整理會計規程ニ關スル件

**第十三條** 都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ハ認可後一年内ニ其ノ  
施行ニ著手スル者ナキ場合ニ於テハ公共團體ヲシテ都市計畫事業トシテ之ヲ施行セ  
シム

前項ノ規定ニ依リ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付耕地整理法ヲ準用シ難キ事  
項ニ關シテハ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

參 照

(二) 施行令第十五條乃至第十九條

(四二) 都市計畫法第十三條ノ土地區劃整理施行ニ關スル件

**第十四條** 地方長官土地區劃整理ノ設計ニ關スル認可ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ  
認可ヲ受クヘシ

參 照

(四三) 土地區劃整理設計認可申請ニ關スル件

**第十五條** 土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム

參 照



(二) 施行令第二十條

第十六條 道路、廣場、河川、港灣、公園其ノ他勅令ヲ以テ指定スル施設ニ關スル都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノニ必要ナル土地ハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項土地附近ノ土地ニシテ都市計畫事業トシテノ建築敷地造成ニ必要ナルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

參 照

(二) 施行令第二十一條乃至第二十六條

(四四) 路幅以外ノ法敷買取ノ件

(四五) 都市計畫法第十六條第二項ニ依リ收用シタル土地處分ニ關スル件

第十七條 土地區劃整理ノ爲メ又ハ衛生上若ハ保安上ノ必要ニ依ル建築物ノ整理ノ爲必要アルトキハ建築物其ノ他ノ工作物ヲ收用スルコトヲ得

參 照

(四六) 都市計畫法第十七條ニ關スル疑義ノ件

第十八條 前二條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外土地收用法ヲ適用ス

前項ノ規定ニ依ル土地收用法ノ適用ニ付テハ前條ノ工作物ハ之ヲ土地ト看做ス

參 照

(四七) 土地收用法

(四八) 土地收用法施行令

(一一) 府縣知事事業執行者タル場合土地收用法及事業年度割等ニ關スル件

第十九條 第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ付テハ第三條ノ規定ニ依ル都市計畫ノ認可ヲ以テ土地收用法ニ依ル事業ノ認定ト看做ス

參 照

(四七) 土地收用法第三章

(四九) 内閣ノ認可ト土地收用法第十八條並同法第十四條トノ關係疑義ノ件

第二十條 土地收用法第二十二條第一項ノ協議調ハサル場合又ハ其ノ協議ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ事業執行者ハ主務大臣ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ損失ノ補償ノ協議ニ關シテハ之ヲ適用セス

第二十一條 第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地及第十六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地ノ處分及管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ以テ定ム

參 照

(二) 都市計畫法施行令第二十八條、第二十九條



第二十二條 都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理ニ付特ニ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ管理者ヲ定ム

(二) 都市計畫法施行令第三十條

第二十三條 行政執行法第五條及第六條ノ規定並之ニ基キテ發スル命令ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フヘキ作爲又ハ不作爲ヲ行政應カ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

(五〇) 行政執行法(抄錄)

(五一) 行政執行法施行令(抄錄)

第二十四條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金其ノ他ノ費用ハ行政應國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位並其ノ追徵還付及時效ニ付テハ行政應ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政應ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第二十六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政應ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附 則

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正八年十一月勅令第四百八十一號ヲ以テ九年一月一日ヨリ施行)

第二十八條 東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則及大正七年法律第三十六號並之ニ基キテ發シタル命令ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル市ハ第二條ノ規定ニ依リ指定セラレタルモノト看做ス

第三十條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル設計又ハ議定シタル事業ハ各本法ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル都市計畫又ハ都市計畫事業ト看做ス

第三十一條 東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則若ハ大正七年法律第三十六號又ハ之ニ基キテ發シタル命令ニ依リ爲シタル處分ハ本法又ハ本法ニ基キテ



發スル命令ニ抵觸セサル限り本法ニ依リ爲シタル處分ト看做ス

第三十二條 東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ニ依リ行政廳ノ爲シタル處分ニ關シテハ同規則第一條第二項乃至第四項ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第三十三條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號大正七年勅令第百八十四號ニ依リ下付ヲ受ケタル官有ノ河岸地ハ其ノ下付ヲ受ケタル市ノ所有ニ屬スル間地租ヲ免除ス但シ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ河岸地ヨリ收入スル金額ハ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終ル迄之ヲ他ニ支出スルコトヲ得ス

第一項ノ河岸地ノ下付ヲ受ケタル市ハ之ヲ賣却讓與スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テ都市計畫委員會ノ議決ヲ經テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

○ 大正十五年法律第三十八號附則

本法ハ大正十五年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ營業收益稅割ニ關スル改正規定ハ大正十六年度分ヨリ之ヲ適用ス

營業稅法廢止法律ニ依リテ免除セラルル營業稅額ハ大正十五年度分國稅營業稅割ノ賦課ニ付テハ免除セラレサルモノト看做ス

二、都市計畫法施行令

(大正八年十一月二十八日 勅令第四百八十二號)

沿革 大正一〇年第四一六號改正

第一條 都市計畫事業ハ都市計畫法第二條ノ規定ニ依リ指定スル市ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行ス

第二條 前條ノ市ノ區域外ニ於テ又ハ區域外ニ亘リ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テ内務大臣區域外ニ於ケル事業カ主トシテ區域外ノ公共團體ノ利害ニ關スト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス其ノ公共團體ヲ統轄スル行政廳ヲシテ區域外ニ於ケル事業ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 内務大臣都市計畫事業カ分割シテ之ヲ執行スルコト困難又ハ不利益ト認ムルトキ其ノ他特別ノ事情アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス事業ヲ執行スヘキ行政廳ヲ指定スルコトヲ得

(五五) 都市計畫事業執行者指定ニ關スル件

第四條 前三條ノ規定ハ行政官廳都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ之ヲ適用セス



第五條 行政廳ニ非サル者ヲシテ執行セシムルコトヲ得ル都市計畫事業ノ種類及範圍ハ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ內務大臣之ヲ定ム

第六條 行政廳ニ非サル者都市計畫事業ヲ執行セムトスルトキハ內務大臣ニ特許ヲ申請スヘシ

第七條 內務大臣ハ前條ノ特許ニ都市計畫上其ノ他公益上必要ト認ムル條件ヲ附スルコトヲ得

第八條 第六條ノ特許ヲ受ケタル者事業ヲ實施セムトスルトキハ設計書ヲ添附シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ス

- 一 行政官廳ノ執行スル事業ニ因リ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ
- 二 事業地ノ公共團體以外ノ公共團體ヲ又ハ上級公共團體ヲ統轄スル行政廳ニ於テ執行スル事業ニ因リ事業地ノ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ
- 三 事業ニ因リ生シタル營造物カ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ又ハ其ノ營造物ヲ利用スルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ

四 前各號ノ外都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニシテ內務大臣ヨリ指定セラレタルモノアルトキ

參 照

- (五六) 都市計畫法施行令第九條第四號ニ依リ受益者指定ノ件
- (五七) 都市計畫事業受益者負擔規程ノ解釋ニ關スル件
- (五八) 都市計畫事業受益者負擔規程ニ關スル件
- (五九) 廣松都市計畫事業道路廣場新設擴築受益者負擔ニ關スル件
- (六〇) 靜岡都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件
- (六一) 清水都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件
- (六二) 清水都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔區劃ニ關スル件

第十條 都市計畫法第六條第二項ノ規定ニ依リ負擔セシムル費用ノ金額及其ノ負擔方法ニ付テハ關係市町村長ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ內務大臣之ヲ定ム

第十一條 都市計畫法第十六條第一項ノ土地ノ境域内ニ於テ工作物ヲ新築改築増築若ハ除却シ、土地ノ形質ヲ變更シ又ハ地方長官ノ指定シタル竹木土石ノ類ヲ採取セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

參 照

(六三) 都市計畫法第十一條及同法施行令第十一條ノ規定ニ依ル許可ニ關スル訴訟裁決ノ件



第十二條 地方長官ハ前條ノ許可ニ都市計畫事業ノ執行上必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得

第十三條 風致維持ノ爲指定スル地區内ニ於ケル工作物ノ新築改築増築若ハ除却、土地ノ形質ノ變更、竹木土石ノ類ノ採取其ノ他風致維持ニ影響ヲ及ホス虞アル行爲ハ地方長官内務大臣ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第十四條 地方長官ハ第十一條ノ規定ニ、前條ノ命令ニ又ハ第十二條ノ條件ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命スルコトヲ得

第十五條 都市計畫法第十三條第一項ノ規定ニ依ル公共團體ノ土地區劃整理ノ施行ハ内務大臣之ヲ命ス

第十六條 前條ノ土地區劃整理ノ施行ニ要スル費用ハ整理地區内ノ土地所有者又ハ關係人ノ負擔トス

第十七條 公共團體第十五條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタルトキハ設計書、費用負擔方法及耕地整理法第三十條第二項ノ規約ニ代ルヘキ處分方法ヲ定メテ之ヲ告示シ十日間土地所有者及關係人ノ縦覽ニ供シタル後地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

土地所有者又ハ關係人前項ノ設計書、費用負擔方法及ハ處分方法ニ關シ異議アルト

キハ前項ニ掲クル期間内ニ地方長官ニ之ヲ申出ツルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル異議ノ申出アリタルトキハ地方長官ハ都市計畫委員會ノ議決ニ付スヘシ

地方長官ハ前項ノ議決カ設計書、費用負擔方法及ハ處分方法ノ變更ヲ必要トスルトキハ公共團體ニ其ノ變更ヲ命スヘシ公共團體カ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ變更シタル部分ニ付第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 前二條ノ土地所有者及關係人ノ意義ニ關シテハ耕地整理法ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 第十五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ付テハ耕地整理法ノ準用ニ關シテハ同法第四十二條ノ二、第四十七條及四十八條ノ組合ハ土地區劃整理ヲ施行スル公共團體トシ同法第四十三條第一項及第四十四條ノ耕地整理組合ノ地區ハ土地區劃整理ノ地區トス

第二十條 土地區劃整理施行ノ土地ノ地價ニ關シテハ耕地整理法第十二條、第十三條第十四條第二項乃至第五項及第十四條ノ二乃至十六條ノ規定ヲ準用ス

土地區劃整理ヲ施行スルニ當リ開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價



ヲ以テ耕地整理法第十三條第一項ノ現地價トス  
前項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ於テ之ヲ耕地整理法第十四條第二項、第三項及第五項  
並第十五條ノ規定中間法第十四條第一項ノ規定ト看做ス

第二十一條 鐵道、軌道、運河、水道、下水道、土地區劃整理、運動場、一圃地ノ住  
宅經營、市場、屠場、墓地、火葬場及塵埃燒却場ハ都市計畫法第十六條第一項ノ規  
定ニ依リテ之ヲ指定ス

第二十二條 都市計畫法第十六條第二項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ハ土地區劃整理ヲ  
施行スル必要アル場合ニ限りテ之ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 前條ノ規定ニ依リ收用シタル土地ハ土地區劃整理ノ工事完了後ニ非サレ  
ハ之ヲ賣却シ又ハ貸付スルコトヲ得ス

第二十四條 前條ノ規定ニ依ル土地ノ賣却又ハ貸付ハ左ニ掲クル者ニ對シ毎筆競争入  
札ニ依リテ之ヲ行フ

一 其ノ土地ノ附近地カ都市計畫法第十六條第一項ノ規定ニ依リ收用セラレタル場  
合ニ於テ其ノ收用セラレタル附近地ノ全部又ハ一部ヲ收用ノ際所有シタル者又ハ  
其ノ相續人

二 前號ノ附近地ノ上ニ存シタル家屋ヲ其ノ附近地收用ノ際所有シタル者

三 其ノ土地ノ全部又ハ一部ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者又ハ其ノ相續人

四 其ノ土地ノ上ニ存シタル家屋ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者

前項ニ掲クル者一人ナルトキハ其ノ者ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却又ハ貸付スルコト  
ヲ得

第二十五條 前條ノ規定ニ依リ賣却又ハ貸付スルコトヲ得サル土地ノ賣却又ハ貸付ニ  
付テハ一般ノ競争入札ニ依ル

第二十六條 一宅地ヲ爲スニ用ラサル殘地ハ隣地所有者ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却又  
ハ貸付スルコトヲ得

第二十七條 都市計畫事業ニ要スル國有地ハ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔スル公共  
團體ヲシテ無償ニテ之ヲ供用セシメ其ノ地ニ存スル國有ノ建築物ハ無償ニテ其ノ公  
共團體ニ之ヲ交付ス

第二十八條 都市計畫法第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地ハ都市計畫事業ノ財  
源ト爲ス爲メ基本財産トシテ管理スヘシ但シ特別ノ事由ニ依リ内務大臣ノ認可ヲ受  
ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 公共團體ハ第二十三條ノ土地ノ賣却若ハ貸付ニ付又ハ都市計畫法第十六  
條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地若ハ前二條ノ土地ノ管理方法ニ付必要ナル規



定ヲ定メ地方長官ヲ經由シ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條 内務大臣必要ト認ムルトキハ都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理者ヲ指定スルコトヲ得

參照

(六四) 營造物管理者ヲ指定セシトキノ費用ノ件

附則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス (大正九年一月一日ヨリ施行)

### 三、都市計畫委員會官制

(大正八年十一月二十八日勅令第四百八十三號)

沿革

大正一一年第二七二號、同一二年第二七五號、同第三五七號、同第四七二號、同一三年第一六四號、昭和三年第八七號改正

第一條 都市計畫委員會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメル事項其ノ他都市計畫上必要ナル事項ヲ調査審議ス

第二條 都市計畫委員會ハ都市計畫ニ關スル事項ニ付關係各大臣ノ諮問ニ應シ又ハ關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

第三條 都市計畫委員會ハ都市計畫中央委員會及都市計畫地方委員會トス

第四條 都市計畫中央委員會ハ内務省ニ之ヲ置ク都市計畫地方委員會ハ都市計畫法第二條ノ規定ニ依リ指定スル市ヲ包括スル道府縣毎ニ之ヲ置キ道府縣ノ名ヲ冠ス

第四條ノ二 都市計畫委員會ノ議決ヲ經ヘキ事項ハ内務大臣之ヲ都市計畫委員會ノ議ニ付ス但シ都市計畫地方委員會ニ對スル輕易ナル事項ノ付議ハ之ヲ地方長官又ハ市長ニ委任スルコトヲ得

參照

(六五) 都市計畫町方委員會付議事項發案權委任ノ件

(六六) 都市計畫地方委員會付議事項發案權委任中「設計ノ些少ノ變更」ノ意義ニ關スル件

(六七) 都市計畫地方委員會付議事項發案權委任ニ付文例ニ關スル件

(六八) 内閣ノ認可ヲ受クヘキ事件ノ議決ニ付答申ノ件

第五條 都市計畫委員會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ專ラ一地方ニ關スルモノニ付テハ其ノ地方委員會ノ議決ヲ以テ都市計畫委員會ノ議決トシ其ノ他ノ事項ニ付テハ中央委員會ノ議決ヲ以テ都市計畫委員會ノ議決トス但シ地方委員會ノ議決ヲ經タル事項ニシテ内務大臣更ニ審議ノ必要アリト認ムルモノニ付テハ之ヲ中央委員會ノ議ニ付シ其ノ議決ヲ以テ都市計畫委員會ノ議決ト看做ス

内務大臣ハ委員會ノ議決ヲ經タル事項ニ付必要アリト認ムルトキハ之ヲ再議ニ付ス



ルコトヲ得

第六條 中央委員會及地方委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

參照

(六九) 諸調査會等ノ職員旅費支給規則

第七條 中央委員會ノ會長ハ內務大臣ヲ以テ之ニ充ツ地方委員會ノ會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 中央委員會ノ委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一、關係各廳高等官 十六人以內
- 二、學識經驗アル者 十二人以內
- 地方委員會ノ委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、都市計畫法第二條ノ規定ニ依リ指定スル市ノ市長 十人以內
- 二、關係各廳高等官 十人以內
- 三、第一號ノ市ノ市會議員 市會議員定數ノ六分ノ一以內
- 四、關係道府縣會議員 道府縣會議員定數ノ十分ノ一以內
- 五、市長以外ノ第一號ノ市ノ市吏員 二人以內
- 六、學識經驗アル者 十人以內

同一道府縣内ニ於テ都市計畫法第二條ノ規定ニ依ルニ以上ノ市ノ指定アリタルトキハ前項第一號第三號及第五號ニ掲クル者ハ其ノ市ニ關セサル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ會長ニ於テ必要ト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第一項及第二項ニ掲クル者ノ外臨時ニ必要アル場合ニ於テハ臨時委員ヲ命シ議事ニ參與シ決議ノ數ニ加ハラシムルコトヲ得

第一項第一號及第二項第一號、第二號ニ掲クル者事故アル時ハ其ノ職務ヲ代理スル者議事ニ參與シ決議ノ數ニ加ハルコトヲ得

參照

(七〇) 官制第八條第三項但書ニ依ル者ノ決議權ニ關スル件

(七一) 都市計畫委員會委員ニ臨時委員任命ノ件

(七二) 臨時委員議事參與ニ關スル件

(七三) 臨時委員資格消滅ニ關スル件

(七四) 委員選舉ニ關スル件

(七五) 委員異動報告ノ件

(七六) 委員選舉後辭退申出ノ場合ノ効力ニ關スル件

第九條 委員及臨時委員ハ前條第二項第一號ニ掲クル者ヲ除クノ外內務大臣ノ奏請ニ



依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第十條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ中央委員會ニ在リテハ内務大臣、地方委員會ニ在リテハ地方長官ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

參照

(七七) 都市計畫部地方委員會處務規程

(七八) 都市計畫部地方委員會事務代決規程

(七九) 都市計畫部地方委員會文書編纂規程

(八〇) 會長代理者ノ件

第十一條 委員會ハ都市計畫ニ關シ必要アル時ハ期間ヲ指定シ關係道府縣郡市町村ヲシテ特定ノ事項ニ付調査ヲ爲サシメ又ハ必要ナル圖書類ヲ提出セシムルコトヲ得  
委員會ハ委員又ハ臨時委員ヲ派遣シテ都市計畫事業執行ノ狀況ヲ検査セシムルコトヲ得

第十二條 委員會ハ會長之ヲ招集ス

會長ハ委員會開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ招集及會議ノ事項ヲ委員及臨時委員ニ通知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

參照

(八一) 委員會出席報告ノ件

(八二) 委員會會議事項及要旨報告ノ件

第十三條 委員會ハ委員及臨時委員ノ半数以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

參照

(八三) 官制第十三條ノ解釋ニ關スル件

第十四條 會長ハ會議ノ議長ト爲ル

委員會ノ議事ハ出席ノ委員及臨時委員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

參照

(八四) 都市計畫部地方委員會處務規程

(八五) 都市計畫部地方委員會會議ニ關スル件

第十五條 地方委員會ニ常務委員會ヲ置ク地方委員會ノ委任ヲ受ケ其ノ權限ニ關スル事項ニシテ輕易ナルモノヲ處理ス

常務委員會ハ第八條第二項第一號ノ委員及地方委員會ノ會長ノ指名シタル委員九人以内ヲ以テ之ヲ組織ス但シ同一道府縣内ニ於テ都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル二以上ノ市ノ指定アリタルトキハ會長ハ一市ヲ増ス毎ニ委員二人以内ヲ増スコトヲ得



地方委員會ノ會長ハ常務委員會ヲシテ地方委員會ノ會議事項ヲ豫メ審査セシムルコトヲ得

第八條第三項、第五項、第十二條第一項、第十三條及第十四條ノ規定ハ常務委員會ニ之ヲ準用ス

參 照

(八六) 常務委員會委任事項ノ範圍ニ關スル件

(八七) 都市計畫部地方委員會常務委員會委任事項

(八八) 常務委員會委任事項ニ關スル件

第十六條 委員會ニ幹事若干人ヲ置ク内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ整理ス

第十七條 地方委員會ニ通シテ左ノ職員ヲ置ク

- 事務官 專任八人以内 奏任
- 技師 專任六十人以内 奏任
- 書記 專任六十人以内 判任
- 枝手 專任百四十人以内 判任

前項ニ掲クル職員ノ各地方委員會ノ定員ハ内務大臣之ヲ定ム

事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

技師ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

書記及枝手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務及技術ニ從事ス

參 照

(八九) 都市計畫部地方委員會職員定員ノ件

(九〇) 職員以下請給與ニ關スル件

(九一) 都市計畫部地方委員會旅費規則

(九二) 都市計畫部地方委員會職員以下旅費減額支給ノ件

(九三) 都市計畫部地方委員會旅費支給規程

(九四) 地方委員會技師旅費ノ件

(九五) 囑託ノ採用並委員臨時委員職員ノ海外出張ニ關スル取扱方ノ件

(九六) 各官廳執務時間

(九七) 官廳執務時間ニ關スル件

(九八) 職員休暇ニ關スル件

(九九) 職員休暇取扱方ニ關スル件

第十七條ノ二 地方委員會ノ判任官ノ進退ハ地方長官之ヲ專行ス

附 則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正九年一月一日ヨリ施行) 都市計畫調查會官制ハ之ヲ廢



止ス

地方委員會ニ要スル費用ハ當分ノ内北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス  
東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ノ市區改正委員會ノ委員ニシテ  
東京市區改正委員會組織權限規程第一條第二項第五號ノ規定又ハ大正七年勅令第百八  
十三號第二條第四號ノ規定ニ依リ任命セラレタル者ハ第八條ノ規定ニ依リ任命セラレ  
タル委員ト看做ス

大正十一年勅令第二七二號(改正)附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス從前ノ都市計畫地方委員會ハ本令ニ依ル都市計畫地方  
委員會ト看做ス

本令施行ノ際現ニ臨時委員ノ職ニ在ル者ニシテ別ニ辭令書ヲ交付セラレサルモノハ之  
ヲ本令ニ依ル臨時委員ト看做ス

(1100) 都市計畫部地方委員會費特別會計規則

### 四、都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル 市指定ニ關スル件(大正十三年十月十四日 發第五四號知事宛)

◎都市計畫局長通牒

都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル市指定ノ方針ニ關シ今回都市計畫中央委員會ノ諮問ヲ  
經テ別紙ノ通決定相成候ニ付左記事項御了知ノ上必要ニ應シ御上申相成候様致度  
尙都市計畫トシテ特別ノ國庫補助等ノ儀ハ無之候條爲念申添候

記

- 一、指定希望ノ市ニ就テハ條件第一ニ該當スル理由ヲ具シ内由ノコト
- 二、新タニ設置スル都市計畫地方委員會ノ委員數ハ凡ソ十一人ノ見込ニシテ且ツ職  
員ハ當分地方委員會ニハ設置セサル見込ニ付經費ハ最初ノ一兩年ハ約四千圓内外  
ヲ以テ足ル見込若シ技術員其ノ他ノ職員ヲ要スル場合ハ道府縣又ハ市ニ設置スル  
コト

都市計畫法第二條ノ規定ニ依ル市指定ニ關スル方針 (別紙)  
左ノ條件ヲ具備スル市ハ都市計畫法第二條ノ規定ニ依リ指定スルモノトス



一、當該市ノ發展ノ趨勢又ハ其ノ他ノ情勢ニ鑑ミ其ノ市ニ對シ都市計畫ノ施設ノ必要ヲ認メラルルコト

二、當該市及道府縣ニ於テ其ノ市ニ對スル都市計畫法適用ノ希望ヲ有スルコト

理由

都市計畫ニ關スル我カ國最初ノ立法ハ明治二十一年勅令第六十二號ヲ以テ公布セラレタル東京市區改正條例ニシテ本條例ハ當初專ラ東京市區ノ産業、衛生、防火及通運等永久ノ利便ヲ圖ルヲ目的トシテ制定セラレタルモノナリ然ルニ近時一般都市ノ膨脹ハ極メテ顯著ナルモノアリ殊ニ世界大戰ノ影響ヲ受クルニ及ンテ各種事業ノ停興ニ伴ヒ工場ハ隨所ニ建設セラレ人口ハ増加シテ市外ニ溢レ市ノ近郊ハ交通ノ連絡、上水下水ノ設備ヲ缺ク等市ノ内外ヲ通シテ殆ト混亂ノ狀態ニ陥ルニ至レリ茲ニ於テ大正七年四月法律第三十六號ヲ以テ其ノ發展ノ特ニ急激ナリト認メラル、京都、大阪、横濱、神戸及名古屋ノ五大都市ニ對シ東京市區改正條例ヲ準用スルノ途ヲ開キ更ニ大正八年四月從來ノ東京市區改正條例ヲ廢止シテ之ニ代フルニ都市計畫法ヲ以テシ之ヲ先ツ前記六大都市ニ適用スルノ制ヲ樹テ超エテ大正十二年七月ニ至リ之ヲ札幌市以下二十有五ノ中小都市ニ及ホシ大正十三年五月更ニ富山市ヲ加ヘ以テ是等諸都市ニ於ケル各般ノ計畫事業皆一ノ脈絡系統ニ從ツテ規律セムコトヲ期シタリ

抑々都市計畫法ヲ適用セラルヘキ都市ヲ僅カニ前記三十二都市ニ限リタル所以ハ固都市計畫決定ニ要スル本省都市計畫局ノ經費ノ關係ニ基クモノ、如シ即チ都市計畫法ニ依レハ都市計畫ヲ決定スルハ内務大臣ノ權限ニ屬スル所ニシテ今若シ都市計畫法ヲ施行スヘキ都市ノ數ヲ増加スルトキハ其ノ調査立案ニ多數ノ職員ヲ要スヘク斯クノ如キハ從來ノ豫算人員ノ下ニ於テハ到底望ムヘカラザリシヲ以テナリ然リト雖モ課ツテ惟フニ苟モ都市ノ存在ハル以上都市計畫ナカルヘカラザルハ論ヲ俟タズ之ヲ歐米ノ實例ニ徵スルモ英國都市計畫法ハ人口二萬以上ノ都市ニ都市計畫ヲ樹立スヘキコトヲ命シ伊國ノ法制ハ人口一萬以上ノ都市ニ、佛國ニ於テハ齊ニ人口一萬以上ノ都市ノミナラス、セイヌ縣ノ各都市人口五千以上一萬未滿ノ都市ニシテ十年間ニ一〇パーセント以上ノ人口増加ヲ示スモノ、海岸地、礦泉地其ノ他ノ遊覽地ニシテ或期間ニ於テ五〇パーセントト以上ノ人口増加ヲ示スモノ、史蹟名勝地及一團ノ住宅地ニ對シ都市計畫樹立ノ義務ヲ負ハシメ米獨諸國ニ至リテハ總テノ都市ニ對シ何レモ都市計畫ニ關スル施設ヲ講セシメタリ

本邦現時ノ狀態ヲ要ルニ未ダ都市計畫法ノ適用ナキ中小都市ニシテ巷衢ノ形成其ノ體ヲ成ササル儘ニ膨脹シ交通衛生保安等ノ見地ヨリシテ一日モ之ヲ放置スヘカラザルモノアリ或ハ更ニ日々混亂ノ度ヲ増スモノアルニ至リテハ之ヲ看過スルコトヲ得ス、元來都市計畫法ハ都市ノ交通、衛生、保安、經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ福利ヲ増進スル爲重要施設ノ計畫ヲ樹立シ得ルノ途ヲ開キタルニ拘ラス特ニ其ノ適用都市ヲ局限シ其ノ他ノ都市ニ至リテハ其ノ無秩序ナル發展ニ放任シテ顧ミス不便不利ナル現狀ニ甘セシメントスルカ如キハ寔ニ謂レナシト謂ハサルヲ得ス市自ラ都市計畫施行ノ必要ヲ自覺セル場合ニ於テ特ニ其ノ然ルヲ見ルナリ故ニ今若シ斯カル都市カ自ラ都市計畫ニ關スル基礎的調査資料ヲ調ヘ本省ニ於テハ之ニ基イテ都市計畫ヲ決定スルノ方法ニ出ツルニ於テハ必スシモ職員ノ増加、豫算増額ヲ俟タズシテ是等諸都市ニ都市計畫法ヲ適用スルコトヲ得ヘシ此ノ如クニシテ各都市ニ對スル都市計畫ノ確立ニ努メ其ノ實施ニ際シテハ公費ノ支出ヲ要セサルモノハ漸々其ノ施設ヲ進メ公費ノ支出ヲ要スルモノニ付テハ克ク地方並中央ノ財政狀況ニ鑑ミ或ハ時ニ之ヲ計畫ニ止メ又ハ一方地方委員會ノ組織ニ付テモ成ル可ク多額ノ經費ヲ要セサル方法ヲ擇ヒ以テ初メテ本邦從來ノ諸都市ニ見タルカ如キ亂雜ナル發展ヲ避ケシメ秩序整烈タル體一系ノ下ニ住民ノ福利ノ増進、公安ノ保持ヲ期スルヲ得ヘシ故ニ將來ニ於テハ右ノ標準ニ依リテ都市計畫法ヲ漸次他ノ中小都市ニ



適用スルノ方針ヲ探ラムトスルモノナリ

而シテ諸問題ノ條件第一ニ其ノ他ノ情勢ト謂ヘルハ市ノ區域内ニ於テハ人口戸數等格別増加ノ趨勢ヲ現ル  
サスト雖近郊町村ノ發達者シキ場合又ハ舊藩ヲ維持スルコトニ依リテ交通、衛生、保安經濟等ニ大ナル不  
不利アル場合ヲ指スモノニシテ要スルニ現狀ノ儘ニテ差支ナキ市ヲ除外セムトスルニ過キス條件第二市ノ  
假ハ基礎的調査資料ノ整備其ノ他計畫並事業ノ確立ト其ノ進行トニ付市自體ノ自治自覺ニ俟タムトスルニ外  
ナラス而シテ道府縣ノ希望ヲモ條件トシタルハ地方委員會ノ經費負擔ニ支障ナカラシムカ爲ナリ

### 五、都市計畫地方委員會付議案調製

#### 手續ニ關スル件

(大正十三年四月都市計  
畫主任官會議指示事項)

都市計畫ニ關スル各事項ヲ決定スルニ方リテハ地方委員會ノ議ヲ經又ハ其ノ意見ヲ開  
クコトヲ以テ手續上ノ一要件トス而シテ從來右付議案調製手續ニ關シ往々誤解ヲ爲ス  
向アルモ地方委員會ニ付議スヘキ事項ハ各地方々々特有ノ事情ニ關係スル所深キヲ以  
テ各地方關係應ニ於テ之ニ關スル根本調査ヲ遂ケタル上之ヲ内申シ本省ハ此ノ内申ニ  
基キテ付議案ヲ作製シ地方委員會ニ提出スルモノナルヲ以テ各關係應ニ於ケル調査ハ  
付議案ハ重要資料タルコト言フ俟タス從テ右調査ニ當リテハ周到ナル注意ヲ以テ之ニ  
臨ミ萬全ヲ期セラレムコトヲ望ム

### 六、都市計畫事業年度割變更ニ關スル件

#### ◎都市計畫局長通牒

(大正十三年十一月十二日)  
(内務省發都第一四號)

從來都市計畫事業年度割ノ變更ニ關シテハ如何ナル場合ニ於テモ都市計畫地方委員會  
ノ決議ヲ經テ内務大臣ノ決定ヲ求ムル手續ニ有之候處今後ハ或年度ノ工事執行ノ結果  
其ノ工事費精算額ト豫定金額トニ差異ヲ生シ從テ既定ノ年度割ニ異動ヲ生スルモ既往  
年度ニ遡及シテ年度割ノ變更ヲ爲ス要ナク又財源ノ都合又ハ工事執行上已ムヲ得サル  
事情ニ因リ或年度ノ工事力其ノ翌年度ニ繰越サルル爲自然既定ノ年度割ニ異動ヲ生ス  
ルモ既定ノ事業年度ヲ延長セサル限ハ都市計畫地方委員會ノ議決ヲ要セサル儀ト御了  
知相成度

追テ本文ノ趣キ都市計畫地方委員會長並關係市長へ御示達相成度

### 七、關係官廳トノ協議ニ關スル件

(昭和二年四月都市計畫  
主任官會議注意事項)

都市計畫ノ決定ニ當リ他省所管ノ土地建造物ニ關係アル事項ニ付テハ當該關係官廳ト



協議ヲ遂ケタル上其ノ願末ヲ内申書ニ添附セラレタシ

三四

## 八、都市計畫事業トシテ結核療養所 設置ノ件

○都市計畫課長回答 (大正十四年一月十日  
三日收第四一四號)

十二月四日付廣都甲第九一號ヲ以テ結核療養所設置ニ關スル件御照會有之候處右ハ貴見ノ通都市計畫事業トシテ執行スルヲ得ヘシト雖モ都市計畫法第十六條及同法施行令第二十一條ニ列舉スル事業ニアラサルヲ以テ土地ノ收用ヲ要スル場合ニハ更ニ土地收用法ノ規定ニ依リ事業ノ認定ヲ受クル必要アルニ依リ手續上ハ却テ繁雜ニ亘リ實益少ナシト被存候條御了知御相度此段及回答候也

○廣島市長照會 (大正十三年十二月四日  
廣都甲第九一號)

豫テ當市ニ結核療養所ノ設置ヲ命セラレ候處市内ニ適當ノ敷地無之其ノ場所選定中都市計畫法ノ實施有之右ハ衛生ニ關シ永久ニ公共ノ福利ヲ増進スヘキ重要ノ施設ナルカ故ニ都市計畫事業トシテ市外適當ノ場所ニ設置致度然ル處右ニ關シ都市計畫事業トシ

テハ之ヲ行フコトヲ得ストノ反對論有之候趣傳承致候其ノ理由詳ナラス或ハ都市計畫法第十六條及同法施行令第二十一條中ニ結核療養所ノ名稱ナキニ基ク議論カト存候抑々右兩條ハ都市計畫事業ヲ制限シタル規定ニアラスシテ兩條ハ普通有リ得ヘキ事業ヲ列舉シ其ノ事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノハ直ニ必要ナル土地ノ收用又ハ使用ヲ爲スコトヲ得ヘキ便宜ヲ與フル趣旨ニ可有之右兩條ニ列舉セラレサル事業ト雖モ計畫法第一條ニ該當スルモノハ都市計畫事業トシテ之ヲ行ヒ得ヘク偶々前記ノ兩條ニ指定ナキカ故ニ都市計畫事業ノ認可ノミニテハ土地ノ收用ヲ爲シ得ス土地收用法ニ依リ事業認定ヲ受クルヲ要スルノミニコトニ可有之從テ療養所ノ如キモ之ヲ都市計畫事業トシテ之ヲ企劃シ土地ノ收用ニ付テハ土地收用法ニ據リ執行シ何等差支無之ト存候處如何可有之哉貴見御内示相仰キ度此段及御問合候也

## 九、内閣ノ認可ト道路法トノ關係疑義ノ件

○都市計畫課長通牒

(大正十一年二月二十日都第  
六〇號ノ内京都府知事宛)

道路法ノ規定ハ都市計畫事業トシテ内閣ノ認可ヲ得タル道路ノ新設擴築等ニ關シテハ



鐵路法ニ依ル認定ヲ受クルニ至ル迄凡テ適用ナシ

○京都市長照會 (大正九年五月一日) (工第九九〇號ノ内)

都市計畫法第三條ノ都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル道路ハ其ノ工事ノ執行方法ニ關シテハ道路法第三十一條ノ規定ニ依ルヲ要セサルヤ尙道路法施行令第二條ニ依ル路線ノ變更若ハ廢止ニ付テモ市會ヘノ諮問ヲ要セサル哉

### 一〇、内閣ノ認可ト軌道條例トノ關係

#### 疑義ノ件

○都市計畫課長通牒 (大正十一年二月二十日都第) (六〇號ノ内京都府知事宛)

五 都市計畫並ニ都市計畫事業トシテハ路線ノ認定ニ止メ後ノ手續ハ軌道條例ニ依ルヲ要ス

六 提出ヲ要セス

○京都市長照會 (大正九年五月一日) (工第九九〇號ノ内)

五 都市計畫法第三條ノ都市計畫並ニ都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル軌道

ノ敷設ハ軌道條例第一條ノ内務大臣ノ特許並ニ軌道條例取扱方第二條ニ依ル地方長官ニ於テ府縣郡市町村其ノ他公共團體ノ議會ノ意見ヲ聞クヲ要セサルヤ

六 前項見解ノ如クナリトセハ軌道條例取扱方第一條ノ起業目論見書以下ノ添付書類ハ都市計畫法中何等ノ規定ナキニ依リ全然之カ提出ヲ要セサルヤ若シ之カ提出ヲ要スルモノトセハ都市計畫添付書類トシテ提出スヘキ儀ナルヤ

### 一一、都市計畫事業運河新設ニ關シ運河法第一條ノ規定ノ取扱ニ關スル件

(大正十三年六月) (十日省議決定)

都市計畫事業トシテ運河ヲ新設スル場合ニ於テハ運河法第一條ニ規定セル運河開設者カ内務大臣ノ免許ヲ受クヘキ手續ハ本事業ノ確定ト共ニ手續ヲ了シタルモノトシテ取扱フコトニ致度

理由

都市計畫事業ハ都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受ケ確定スヘキモノニシテ而シテ其ノ決定シタル事業ハ同法施行令第一條ノ規定ニ依リ原則トシテ行政廳々



ル市長カ執行スヘキモノニ付從テ此ノ場合ニ於テハ運河法第一條ニ依ル運河開設者カ内務大臣ノ免許ヲ受ク  
ルヲ要スル規定ハ便宜上事業ノ確定ト共ニ免許アリタルモノトシテ取扱フコト手續簡單ナレハナリ  
(參 照)

運 河 法

第一條 一般運送ノ用ニ供スル目的ヲ以テ運河ヲ開設セムトスル者ハ内務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

一一、府縣知事事業執行者アル場合土地  
收用法及事業年度割等ニ關スル件

○内務次官回答

(大正十一年三月十日)  
(都第八六號ノ内)

府縣知事カ事業執行者トシテ指定セラレタル場合ニ於テモ土地收用法第十四條及第十  
九條ニ依リ公告スルヲ要ス  
阪神國道及奈良街道事業ノ年度割ニ關シテハ御見解ノ通ト承知アリ度  
中津川改修ニ付テハ既ニ河川法ニ依ル河川管理者タル地方行政廳ノ事業トシテ認可済  
ノモノニ付改メテ都市計畫事業トシテ執行スルノ要ナシト認ム

○大阪府知事照會

(大正九年七月二十九日)  
(日都第二六號ノ内)

尙右大阪市區改正設計ハ本年一月大阪市長之ヲ告示セルモ大阪府知事カ次項ノ如キ事  
業執行者ト指定セラレタル場合更ニ土地收用法ニ依ル土地細目公告ヲ爲ス必要アリ哉  
阪神國道及奈良街道改修事業ハ既ニ大阪府ノ事業トシテ決定セルモ前項ノ認可ヲ以テ  
都市計畫ノ認可ト看做シ支障ナシトセハ更ニ年度割ニ關シ更ニ都市計畫委員會ノ議定  
ヲ要スル儀ニ候哉  
前項阪神國道改修事業ヲ都市計畫事業ニ移ス場合ニハ其ノ財源タル中津川改修事業  
(阪神國道改修事業ノ財源ハ其ノ半分ヲ國庫補助トシ其ノ殘餘ハ中津川ノ改修ニ伴ヒ  
生スル不用埋立地賣却代ヲ以テ之ニ充テントス)モ亦都市計畫事業ニ移スノ要アリト  
認ム然ラハ此ノ場合都市計畫事業トシテ内閣ノ認可ヲ得更ニ河川法認可ヲ受クルノ要  
アリ哉

一二、都市計畫道路擴築事業ニ對スル  
國庫補助ニ關スル件

○内務次官回答

(大正十一年六月)  
(六日京都第八號)



都京發第二六號ヲ以テ標記ノ件御照會相成候處右ハ道路ノ新設擴張カ軌道敷設ノ爲ニ必要ヲ生シタルニ非スシテ道路交通上一定ノ計畫ニ基キ施行セラルル場合ニ於テハ補助相成候例ニ有之候條御承知相成度

○京都地方委員會長照會

大正十年五月十日  
都京發第二六號

新ニ電車軌道ヲ敷設スル爲メ都市計畫事業トシテ施行スル道路ノ新設及擴張工事ニ對シテ當然國庫ヨリ補助セラルルモノト心得可然哉今般當委員會ニ御諮問相成候第五號線變更ニ關シ説明上必要ニ付折返シ何分ノ御意見承知致度此段及照會候也

### 一四、國有財産法第十八條ノ損害

#### 賠償請求ニ關スル件

昭和二年十月一日内務省文部第  
一號文部次官宛内務次官回答

七月二日付臺宗九號ヲ以テ御照會相成候國有寺院境内地ヲ都市計畫事業用地トシテ供用セントスル場合ニ於テ國有財産法第十八條ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ其ノ損害ノ賠償請求ハ政府ニ對シテ爲スヘキモノト認メラレ候條此段及回答候也

追テ事業執行者カ右境内地ヲ事業ニ供用スルノ必要上國有財産法第二十四條ノ規定

ニ依ル寺院ノ權利ヲ收用スル場合ニ於テハ其ノ補償ハ事業執行者ニ對シ請求スヘキ義ニ付爲念申添候

同 上

(昭和二年十月一日文部第一號大)  
阪府知事宛都市計畫課長通牒

今回天臺宗座主吉田源應ヨリ國有寺院境内地ヲ都市計畫事業トシテ供用セントスル場合ニ於テ國有財産法第十八條ニ依リ契約ヲ解除シタルトキノ損害賠償ノ請求ニ關シ伺出有之候處右ハ寺院ヨリ政府ニ對シ爲スヘキモノト認メラレ候ニ付其ノ旨伺出人ニ御示達相煩度

追テ事業執行者カ右境内地ヲ事業ニ供用スルノ必要上國有財産法第二十四條ノ規定ニ依ル寺院ノ權利ヲ收用スル場合ニ於テハ其ノ補償ハ事業執行者ニ對シ請求スヘキ義ニ付併セテ御示達相成度

○文部次官照會

昭和二年七月  
二日臺宗九號

天臺宗座主吉田源應ヨリ市ノ都市計畫事業ノ爲メ寺院ノ官有境内地ノ一部カ路線敷地ニ收用セラレタルトキ國有財産法第十八條ノ損害ノ賠償請求ハ國ニ對シテ爲スヘキヤ又右都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セル當該市ニ對シテ爲スヘキヤ將又賠償ヲ請求シ得サルモノナリヤノ趣旨ヲ以テ伺出有之ニ就テハ一應貴省ノ御意見承知致シ度此段及照會候也



○天皇宗座主伺 (昭和二年六月十日 三日内務大臣宛)

都市計畫事業ニ依リ寺院ノ官有境内地ノ一部カ道路敷地トシテ收用セラルルトキ國有財産法第十八條ニ依ル損害賠償ノ請求ハ國ニ對シテ爲スヘキモノナリヤ將又都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セル當該市ニ對シテ爲スヘキモノナリヤ至急御指令相成度此段伺上候也

追テ同一趣旨ノ伺書本年四月十日付文部大藏兩省へ提出致候現下差迫リタル事情有之候間至急何分ノ御指令仰度候

一五、都市計畫法第八條特別税賦課ノ件

○内務次官回答 (大正十一年三月十日 日都第八六號ノ内)

- 二 法第八條ノ特別税ハ府下全般ニ亘リ之ヲ賦課スルモノト承知アリ度尙不均一ノ賦課ハ府縣制第百十一條及明治三十二年勅令第三百十六號第三條ニ據ルヘキ義ト承知アリ度
- 三 御見解ノ通ト承知アリ度

○大阪府知事照會 (大正九年七月二十九日 都第二六號ノ内)

- 二 法第四條ノ費用及大阪府カ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テ法第六條ノ費用ニ充ツル爲メ法第八條ノ特別税ヲ賦課スヘキ區域ハ大阪府下全體ニ亘リ之ヲ賦課シ得ル哉或ハ單ニ都市計畫區域内ノ市郡及郡部ノ區域ノミニ限ルヘキ哉尙右特別税ハ府下全體ニ亘リ賦課シ得ヘキ法意ナリトスルモ單ニ都市計畫區域内ニ限り賦課スルモ支障ナキ儀ニ候哉
- 三 市町村、郡、府縣ヲ統轄スル行政廳ニ於テ各同時ニ都市計畫事業ノ費用ニ充ツル爲メ法第八條ノ特別税ヲ各別ニ其ノ最高率迄賦課シ得ル儀ニ候哉

一六、都市計畫法第九條ニ依リ下付ヲ受ケタル河岸地ニ對シ課税ノ件

○都市計畫局長回答 (大正十一年八月十七日京 都第一五號京都府知事宛)

櫻記ノ件ニ關シ大正十一年七月二十八日付土第五八四七號ヲ以テ京都市長ヨリ照會有之候處右ハ左記ノ通解釋シ可然ト被存候條貴官ヨリ同市長へ御移牒相成度

記



都市計畫法第九條ニ依リ下付ヲ受ケタル河岸地ニ對シテハ免租ノ規定ナシ蓋シ法ノ趣旨トスルトコロ之ニ對シテ地租ヲ免セサルニ在レハナリ都市計畫法第三十三條ハ唯東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號勅令第百八十四號ニ依リ下付ヲ受ケタル場合ニ限り適用アリ法第九條ニヨリ下付ヲ受ケタル河岸地ニ之ヲ引用スヘキニアラス

○京都市長伺 (大正十一年七月二十  
八日土第五八五七號)

本年三月三十日日本市ニ於テ都市計畫法第九條ニ依リ下付ヲ受ケタル河岸地ニ對シ同法第三三條ニ準據シ免租申告セシ處所管稅務署ヨリハ免租スヘキ規定無之ニ付免租相成難キ旨通告有之候ニ付テハ本件ニ關シテモ等シク第三十三條ニ準據シ免租相成ヘキ性質ノモノト相認メラレ候ヘ共何等明文無之取扱上疑義相生シ候條何分ノ御指示相成度此段伺出候也

### 一七、國有河岸地ニ關スル件

○都市計畫局長回答

(大正十三年十二月二日發  
第六四號廣島市助役宛)

都市計畫法第九條ノ規定ニ謂フ國有河岸地トハ國有財産法施行以前ニ於テ各府縣ニ備付アリシ官有土地臺帳ニ河岸地トシテ登録セラレタルモノニ外ナラス而シテ國有河岸

地ノ處分ニ付テハ都市計畫區域ニ在リテハ國有財産法ノ規定ニ俟タス都市計畫法第九條ノ規定ニ依リ其ノ公共團體ニ無償ニテ交付セラルヘキモノト相認メラレ候

### 一八、市街地建築物法

(大正八年四月五  
日法律第三七號)

第一條 主務大臣ハ本法ヲ適用スル區域内ニ住居地域、商業地域又ハ工業地域ヲ指定スルコトヲ得

第二條 建築物ニシテ住居ノ安寧ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス(施行令第一條)

第三條 建築物ニシテ商業ノ便利ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ商業地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス(施行令第二條)

第四條 工場、倉庫其ノ他之ニ準スヘキ建築物ニシテ規模大ナルモノ又ハ衛生上有害若ハ保安上危険ノ虞アル用途ニ供スルモノハ工業地域内ニ非サレハ之ヲ建築スルコトヲ得ス(施行令第三條)

主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ建築物ニシテ著シク衛生上有害又ハ保安上危険ノ虞アル用途ニ供スルモノニ付テハ工業地域内ニ於テ其ノ建築ニ付特別地區ヲ指定



スルコトヲ得(施行令第一條乃至第三條)

第五條 前三條ニ規定スル建築物ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(施行令第一、二、三條)

第六條 前四條ノ規定ノ適用ニ付テハ新ニ建築物ノ用途ヲ定メ又ハ建築物ヲ他ノ用途ニ供スル時ハ其ノ用途ニ供スル建築物ヲ建築スルモノト看做ス

第七條 道路敷地ノ境界線ヲ以テ建築線トス但シ特別ノ事由アルトキハ行政官廳ハ別ニ建築線ヲ指定スルコトヲ得

第八條 建築物ノ敷地ハ建築線ニ接セシムルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 建築物ハ建築線ヨリ突出セシムルコトヲ得ス但シ建築線カ道路幅ノ境界線ヨリ後退シテ指定セラレタルモノナルトキハ勅令ノ定ムル所ニヨリ建築物ノ前面突出部又ハ基礎ハ道路幅ノ境界線ヲ超エサル範圍内ニ於テ建築線ヨリ之ヲ突出セシムルコトヲ得

第十條 行政官廳ハ市街ノ體裁上必要ト認ムルトキハ建築線ニ面シテ建築スル建築物ノ壁面ノ位置ヲ指定スルコトヲ得

第十一條 建築物ヲ建築スル場合ニ於ケル其ノ高又ハ其ノ敷地内ニ存セシムヘキ空地ニ關シテハ地方ノ狀況、地域及地區ノ種別、土地ノ情態、建築物ノ構造、前面道路

ノ幅員等ヲ參酌シ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得(施行令第四條乃至第十條)

第十二條 主務大臣ハ建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ衛生上又ハ保安上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得(施行規則第七條乃至第二十三條)

第十三條 主務大臣ハ火災豫防上必要ト認ムルトキハ防火地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル防火設備又ハ建築物ノ防火構造ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得(施行規則第八條乃至第三十五條)

防火地區内ニ於テハ建物ノ部分ヲ爲ス防火壁ハ土地ノ疆界線ニ接シ之ヲ設クルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ學校、集會場、劇場、旅館、工場、倉庫、病院、市場、屠場、火葬場、其ノ他勅令ヲ以テ指定スル特殊建築物ノ位置構造設備又ハ敷地ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得(施行規則第三十三條)

第十五條 主務大臣ハ美觀地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ美觀上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得(施行規則第三十六條乃至第四十三條)

第十六條 主務大臣ハ建築物ノ工事執行ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得(施行規則第四十三條乃至第四十九條)

第十七條 行政官廳ハ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ除却、改築、



修繕、使用禁止、使用停止其ノ他ノ必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

一 保安上危険ト認ムルトキ

二 衛生上有害ト認ムルトキ

三 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ建築物ヲ建築シタルトキ

第十八條 本法適用區域ノ設定若ハ變更、地域若ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合

ニ於テ從來存在スル建築物カ其ノ後新ニ建築セラレタリトセハ本法又ハ本法ニ基キ

テ發スル命令ニ違反スヘキモノナルトキハ行政官廳ハ相當ノ期間ヲ指定シ其ノ建築

物ニ付前條ニ掲クル必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル措置ヲ命スルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築物所在地ノ公共團

體ヲシ損失ヲ補償セシム(施行令第十七條乃至第二十四條第二十六條)

前項ノ規定ニ依リ補償ヲ受クヘキ者補償金額ニ付不服アルトキハ其ノ金額決定ノ通

知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴願

シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

第十九條 建築主、建築工事請負人、建築工事管理者又ハ建築物ノ所有者若ハ占有者

本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ二千

圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 前條ノ規定ハ前條ニ掲クル者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代

理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者其ノ營業ニ

關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

前條ニ掲クル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者其ノ營業

ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰

ヲ免ルルコトヲ得ス

前條ニ掲クル者法人ナルトキハ明治三十三年法律第五十二號ヲ準用ス

第二十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シ

タル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ

得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第二十二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シ

タル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ

得

第二十三條 本法適用ノ區域ハ勅令ヲ以テ指定スル市、區其ノ他ノ市街地トス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ其ノ定ムル所ニ依リ前項ノ市街地ノ外ニ且

リ本法適用ノ區域ヲ定ムルコトヲ得



第二十四條 本法ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築工事中ノ建築物、建築工事ニ着手セザルモ設計アル建築物又ハ建築物ニ非サル工作物ニ之ヲ準用スルコトヲ得

(施行令第二十五條第二十六條)

第二十五條 本法ノ全部又ハ一部ノ適用ヲ必要トセサル建築物ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(施行令第二十六條第二十九條)

第二十六條 本法ニ於テ道路ト稱スルハ幅員九尺以上ノモノヲ謂フ

道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正九年十一月十七日勅令第五三九號ヲ以テ同年十二月一日ヨリ施行)

一九、市街地建築物法施行令

(大正九年九月三十日勅令第四三八號)

沿革

大正十二年第三九五號 同十三年第一五二號 同四年第三〇四號改正 昭和四年第二一三號改正

第一條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス  
一 常時十五人以上ノ職工ヲ使用スル工場、常時使用スル原動機馬力數ノ合計ニテ

超過スル工場又ハ汽罐ヲ使用スル工場但シ行政官應住居ノ安寧ヲ害スル虞ナシト認ムルモノ又ハ公益上已ムヲ得スト認ムルモノハ此限ニ在ラス

- 二 五臺以上ノ自動車ヲ常時收容スル車庫
  - 三 劇場、活動寫眞館、寄席又ハ觀物場
  - 四 待合又ハ貨座敷
  - 五 倉庫業ヲ營ム倉庫
  - 六 火葬場
  - 七 屠場
  - 八 塵埃燒却場
  - 九 前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外行政官應住居ノ安寧ヲ害スル虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スルモノ
- 第二條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ商業地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス
- 一 常時五十人以上ノ職工ヲ使用スル工場又ハ常時使用スル原動機馬力數ノ合計十ヲ超過スル工場但日刊新聞印刷所及行政官應商業ノ利便ヲ害スル虞ナシト認ムルモノ又ハ公益上已ムヲ得スト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス
  - 二 前條第六號乃至第八號ニ該當スルモノ



三 前各號ニ掲タルモノヲ除テ外行政官廳商業ノ利便ヲ害スル虞アリト認メ命令  
ヲ以テ指定スルモノ

第三條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ工業地域内ニ非サレハ之ヲ建築スルコ  
トヲ得ス

一 常時百人以上ノ職工ヲ使用スル工場又ハ常時使用スル原動機馬力數ノ合計三十  
ヲ超過スル工場但シ第一條第一號但書又ハ前條第一號但書ニ該當スルモノハ此  
ノ限ニ在ラス

二 左ニ掲タル事業ヲ營ム工場但シ行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危険ノ虞ナシ  
ト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

イ 銃砲火藥類取締法ノ火藥類ノ製造

ロ 鹽素酸鹽類、過鹽素酸鹽類、「ピクリン」酸「ピクリン」酸鹽類、黃磷、赤磷、  
硫化素、「カリウム」、「ナトリウム」、「マグネシウム」、過酸化水素、過酸化  
「カリウム」、過酸化「ナトリウム」、過酸化「バリウム」、硫化炭素、「エーテル」、  
「コロヂウム」、「アセチレン」、木精、「アセトン」、「ベンゾール」、「キシロール」、  
「トルネール」、「チレピン」油、硝化纖維素、「セルロイド」、石油類其他之ニ類ス  
ル引火性又ハ發火性物品ノ製造

ハ 硫黃、沃度、「ブローム」、四鹽化炭素、鹽化硫黃、鹽酸、硫酸、硝酸、磷酸、  
弗化水素、醋酸、蒸水醋酸、石炭酸、安息香酸、苛性加里、苛性曹達、「アンモニ  
ア」水、炭酸加里、炭酸曹達、「クロール」石灰、次硝酸蒼鉛、「チアン」化合  
物、砒素化合物、「バリウム」化合物、水銀化合物、鉛化合物、銅化合物、亞硫酸鹽  
類、「フオールマリン」、「クロロホルム」、「イヒチオール」、「ズルフオナル」、  
「グリセリン」、「アンチフェブリン」、「アスピリン」、「クレオソート」、「グアヤ  
コール」等其ノ製造ニ際シ有臭又ハ有害ノ瓦斯又ハ廢液ヲ生スル物品ノ製造  
ニ 水銀ヲ用キル計器ノ製造  
ホ 燐寸ノ製造  
ヘ 金屬ノ熔融又ハ精煉  
ト 乾燥油又ハ溶劑ヲ用キル擬革紙布又ハ防水紙布ノ製造  
チ 肥料ノ製造  
リ 動物質原料ノ化製  
ヌ 製革又ハ毛皮ノ精製  
ル 骨、角又ハ貝殻ノ乾燥研磨  
ヲ 製油又ハ製蠟



- ワ 染料、顔料又ハ塗料ノ製造
- カ 煉瓦又ハ坦場ノ製造
- ヨ 「アスファルト」ノ製造
- タ 「セメント」、石膏、石灰、燧製石灰、炭化石灰又ハ石灰窒素ノ製造
- レ 古綿又ハ襪襪類ノ精製
- ソ 礫石類、黒鉛、硝子、煉瓦、陶磁器等ノ粉碎
- ツ 石炭瓦斯又ハ壓縮瓦斯ノ製造
- ネ 「コークス」ノ製造
- ナ 石炭「タール」、木「タール」、石油蒸餾産物又ハ其ノ残渣ヲ原料トスル製造
- ラ 石鹼ノ製造
- ム 製紙
- ウ 溶劑ヲ用キル護謨製品ノ製造
- キ 鋼釘又ハ鋼球ノ製造
- ノ 汽罐ノ製造
- オ 金屬ノ壓延又ハ伸線
- ク 炭素製品ノ製造

- 三 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危険ノ虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スル事業ヲ營ム工場
- 四 第二號イ、ロ、ホ、リ及レノ物品ノ貯藏又ハ處理ニ供スルモノ但シ行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危険ノ虞ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 五 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危険ノ虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スル物品ノ貯藏又ハ處理ニ供スルモノ
- 第三條ノ二 地域又ハ工業地域内特別地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ニシテ前三條ノ規定ニ依リ現在地ニ建築スルコトヲ得サル種類ニ屬スルモノハ其ノ指定又ハ變更ノ日ヨリ十年間ヲ限り行政官廳ノ許可ヲ受ケ左記各號ニ規定スル制限内ニ於テ増築改築又ハ用途ノ變更ヲ爲スコトヲ妨ケス
- 一 地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ノ敷地ヲ超エテ増築又ハ改築セサルコト
- 二 建築物ノ増築又ハ改築ニ因リ増加スヘキ建築面積ハ地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ノ建築面積ノ二分ノ一ヲ超過セサルコト
- 三 建築物ノ増築又ハ改築ニ因リ増加スヘキ床面積ハ地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ノ床面積ヲ超過セサルコト



第二十六條ノ規定ニ依リ建築ノ許可ヲ受ケタル建築物ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ト看做ス

第四條乃至第十六條 (非禮和規定ニ付省略)

第十七條 市街地建築物法第十八條第二項ノ規定ニ依リ損失ヲ補償スヘキ場合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限ル

- 一 地域ノ又ハ工業地域内特別地區ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物ノ使用禁止又ハ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
- 二 美觀地區ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
- 三 建築線ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物ノ主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
- 四 建築線ニ面スル建築物ノ壁面ノ位置ノ指定ニ基キ建築物主要構造部ノ變更又ハ除却ヲ命シタル場合
- 五 建築物ノ高又ハ建築物ノ敷地内ニ存セシムヘキ空地ニ關スル規定ニ基キ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合

第十八條 市街地建築物法第十八條第二項ノ規定ニ依リ補償スヘキ損失ハ通常生スヘキ損失ニ限ル

第十九條 前二條ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ハ市街地建築物法第十八條第一項ノ措

置ヲ命セラレタル者之ヲ命セラレタル日ヨリ起算シ三月内ニ之ヲ爲スコトヲ得

第二十條 市街地建築物法第十八條第二項ノ公共團體トハ同法第二十三條ノ規定ニ依ル同法適用區域ノ屬スル市區町村トス

第二十一條 補償義務ノ有無及補償ノ金額ハ補償審査會之ヲ裁定ス

第二十二條 補償審査會ハ第二十條ニ規定スル市街地建築物法第十八條第二項ノ公共

團體毎ニ之ヲ置ク

補償審査會ハ會長一人及委員十二人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十三條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 關係各廳高等官 四 人
- 二 前條第一項ノ公共團體ノ吏員 二 人
- 三 前號ノ公共團體ノ議會ノ議員 四 人
- 四 學識經驗アル者 二 人

前項第一號、第二號及第四號ノ委員ハ主務大臣之ヲ命シ第三號ノ委員ハ其ノ議會ニ於テ之ヲ選舉ス

第二十四條 補償審査會ニ關シテハ土地收用法第二十七條乃至第三十一條、第三十七條、第三十九條、第四十條第一項第二項、第四十二條乃至第四十五條、第六十九條



第七十二條及八十三條ノ規定ヲ準用ス第二十二條第一項ノ公共團體ノ二以上ニ亙ル建築物ニ關シテハ關係補償審査會合同シテ會議ヲ開クヘシ

第二十五條 市街地建築物法第十八條ノ規定ハ建築工事中ノ建築物及建築工事を着手セサルモ設計アル建築物ニ之ヲ準用ス

第二十六條 行政官廳ハ建築工事中ノ建築物又ハ建築工事を着手セサルモ設計アル建築物ニシテ其ノ建築竣成ノ後ニ於テ市街地建築物法第十八條第一項ノ規定ニ依ル措置ヲ命スル必要ナシト認ムルモノニ付テハ其ノ建築ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條 市街地建築物法ハ國寶保存法又ハ史蹟名勝天然紀念物保存法ノ適用又ハ準用ヲ受クル建築物ニ付テハ適用セス

第二十八條 鳥居、形像、紀念門、紀念塔其ノ他ノ建築物ニシテ道路ヲ占用シテ施設スルモノニ對シテハ市街地建築物法第八條、第九條及第十一條ノ規定ヲ適用セス

第二十九條 博覽會建築物、觀覽場、飾門、飾塔足代及棧橋ノ類ニシテ假設的ノモノニ對シテハ市街地建築物法第二條乃至第六條、第九條及條十一條ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第二十九條ノ二 市街地建築物法第二十六條第二項ノ道路ノ境域内ニ於テ行政官廳支障ナシト認ムルトキハ同法第八條、第九條及第十一條ノ規定ニ拘ラス存續期限ヲ附シ

假設建築物ノ建築ヲ許可スルコトヲ得

第三十條 市街地建築物法第二十六條第一項ノ道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アル場合ニ於テ行政廳其ノ計畫ヲ告示シタルトキハ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

第三十一條 第四條乃至第十六條ノ規定ハ市街地建築物法適用區域ニシテ內務大臣ノ指定スルモノニ之ヲ適用セス

附 則

本令ハ市街地建築物法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス (大正九年十二月一日ヨリ施行)

### 二〇、市街地建築物施行規則 (大正九年十一月九日) (內務省令第三七號)

沿革 大正十一年第二一號 同十二年第二六號 同十三年第一五號 同第三〇號 大正十四年第一號 同十五年第五三號改正

#### 第一章 通 則

第一條 本則ニ於ケル用語ハ左ノ例ニ依ル

- 一 居室トハ居住ノ用ニ供スル室ヲ謂フ
- 支廳、廊下、階段室、外套室、便所、手洗所、浴室、物置、納戸、暗室ノ類ハ居室ト看做サス



- 二 地階トハ其ノ床面地盤面下ニ在ル階ヲ謂フ但シ其ノ床面地盤面ヲ下ルコト一尺未滿ノモノハ之ヲ第一階ト看做ス
- 三 屋階トハ屋根裏ニ設ケタル階ヲ謂フ
- 四 床高トハ床面ヨリ其ノ直下地面迄ノ距離ヲ謂フ
- 五 階高トハ其ノ階ノ床面ヨリ其ノ直上階ノ床面迄ノ高ヲ謂フ但シ最上階ニ在リテハ其ノ天井高ヲ謂フ
- 六 天井高トハ室ノ床面ヨリ天井迄ノ高ヲ謂フ  
一室ニシテ天井高異ル部分アルトキハ其ノ室ノ床面積ヲ以テ容積ヲ除シタルモノヲ謂フ
- 七 外壁トハ建築物ノ外側ヲ構成スル壁體ヲ謂フ
- 八 間壁トハ建築物ノ内部ヲ區劃スル壁體ヲ謂フ
- 九 界壁トハ接續建築物ヲ區劃スル壁體ヲ謂フ
- 十 不燃材料トハ煉瓦、石、人造石、「コンクリート」、石棉盤、瓦、金屬、陶磁器、硝子、「モルタル」、漆喰ノ類ヲ謂フ
- 十一 耐水材料トハ煉瓦、石、人造石、「コンクリート」、鉛、「アスファルト」、陶磁器ノ類ヲ謂フ

- 十二 石造トハ石造、人造石造及「コンクリート」造ヲ謂フ
- 十三 壁體ノ耐火構造トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ  
イ 厚一尺以上ノ煉瓦造又ハ石造  
ロ 厚四寸以上ノ鐵筋「コンクリート」造  
ハ 厚一尺以上ノ孔煉瓦造、厚六寸以上ノ鐵筋「コンクリート」、ホロブロック造  
厚五寸以上ノ鐵筋「コンクリート」、ブロック造ノ類ニシテ地方長官本號イ又ハロニ規定スル壁體ト同等以上ノ耐火的効力アリト認ムルモノ
- 十四 床又ハ屋根ノ耐火構造トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ  
イ 鐵筋「コンクリート」造  
ロ 鐵骨ヲ有スル鐵筋「コンクリート」造、煉瓦造又ハ石造  
ハ 煉瓦造又ハ石造  
ニ 最下階ノ床ニ在リテハ土間、叩、石敷ノ類  
ホ 鐵骨ヲ有シ「メタルラス、コンクリート」、網入硝子ノ類ヲ以テ覆葺スル屋根ニシテ地方長官ノ承認セルモノ
- 十五 柱ノ耐火構造トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ  
イ 煉瓦造又ハ「コンクリート」造



- ロ 鐵筋「コンクリート」造
- ハ 鐵柱ニシテ耐火的ニ有效ナル被覆ヲ爲シタルモノ
- ニ 石造ニシテ地方長官ノ承認セルモノ
- 十六 階段ノ耐火構造トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ
- イ 鐵筋「コンクリート」造、煉瓦造又ハ石造
- ロ 鐵骨ヲ有スル鐵筋「コンクリート」造、煉瓦造又ハ石造
- ハ 鐵造
- 十七 甲種防火戸トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ
- イ 鐵製ニシテ鐵板ノ厚五厘以上ノモノ
- ロ 鐵骨「コンクリート」造又ハ鐵筋「コンクリート」造ニシテ厚一寸二分以上ノモノ
- ハ 厚五寸以上ノ土藏扉
- 地方長官ハ防火戸ノ構造ノ種類ニ依リ適當ト認ムルモノニ對シ前各號ノ規定ニ拘ラス別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
- 十八 乙種防火戸トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ
- イ 鐵製ニシテ鐵板ノ厚五厘未滿ノモノ

- ロ 鐵骨「コンクリート」造又ハ鐵筋「コンクリート」造ニシテ厚一寸二分未滿ノモノ
- ハ 木造又ハ鐵造ニシテ屋外ニ面スル部分ヲ厚一寸以上ノ「モルタル」、漆喰又ハ適當ナル厚ノ石綿織ノ類ヲ以テ被覆シタルモノ地方長官ハ防火戸ノ構造ノ種類ニ依リ適當ト認ムルモノニ對シ前各號ノ規定ニ拘ラス別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
- 十九 建築物ノ大修繕トハ壁體、柱、小屋若ハ基礎ノ過半ノ修繕又ハ之ニ準スル構造上主要ナル部分ノ修繕ヲ謂フ
- 二十 大變更トハ壁體、柱、床、小屋、基礎等構造上主要ナル部分ノ變更ヲ謂フ
- 二十一 階數トハ地階及屋階ヲ除キタル階數ヲ謂フ
- 第二條 本則ノ適用ニ關シ土地又ハ建築物ニ關スル測算方法、呼稱等ニ付疑義ヲ生シタルトキハ地方長官之ヲ決定ス
- 第三條 本則ニ規定セル建築物ノ採光、換氣、防火、避難、清潔、強度ニ關スル構造設備ハ常ニ有效ニ保持スヘシ

第二章 建築物ノ突出部

第四條 市街地建築物法第九條但書ノ建築物ノ前面突出部ハ左ノ範圍内ニ於テ建築線



ヨリ突出セシムルコトヲ得但シ特ニ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外前面建築線間ノ距離ノ二十分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

一 蛇腹、軒、小塔、出窓、標旗、標燈、招牌其ノ他之ニ類スルモノハ路面上八尺以上ニ在ル場合ニ限リ三尺迄

二 出入口ノ階段、凹庭ノ手摺地覆、腰石、根石其ノ他之ニ類スルモノハ一尺迄

第五條 市街地建築物法第九條但書ノ建築物ノ基礎ハ地方長官特ニ指定スル場合ヲ除クノ外道路幅ノ境界線ヲ超エサル範圍内ニ於テ建築線ヨリ突出セシムルコトヲ得

第六條乃至第二十六條 (非緩和規定ニ付省略)

第二十七條 屋根ハ耐火構造ニ非サルトキハ不燃材料ヲ以テ覆葺スヘシ但シ「モルタル」塗、漆喰塗ノ類ヲ以テ覆葺セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二項 (非緩和規定ニ付省略)

神社建築物ノ屋根、茶室、四阿ノ類ノ屋根又ハ輕微ナル庇ノ類ハ土地ノ狀況ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ本條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二十八條乃至第一百七條 (非緩和規定ニ付省略)

### 第四章 防火地區

第一百八條 防火地區ハ甲種防火地區及乙種防火地區ノ二種トス

第一百十九條 甲種防火地區内ニ在ル建物ハ其ノ外壁ヲ耐火構造ト爲スヘシ

第一百二十條 甲種防火地區内ニ在ル建物ノ軒、軒蛇腹、屋窓、裝飾塔ノ類ハ不燃材料ヲ以テ構成スヘシ

第一百二十一條 甲種防火地區内ニ在ル建物ノ窓又ハ出入口ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ甲種防火戸ヲ設クヘシ但シ鐵骨網入硝子造ニシテ其ノ面積三十平方尺以内ノ窓若ハ出入口又ハ屋根、床、柱及階耐火構造ナル建物ノ窓若ハ出入口ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一 其ノ面スル道路ノ對側境界線ヨリ六間未滿ノ距離ニ在ルトキ但シ建築線道路境界線ト一致セサル場合ニ在リテハ建築線ヲ以テ道路境界線ト看做ス

二 隣地境界線又ハ隣接建物ニ面シ其ノ水平距離六間未滿ナルトキ

三 隣地境界線又ハ隣接建物ヨリノ水平距離六間未滿ノ位置ニ在ルトキ但シ柱、組子、棧及鏡板鐵造又ハ金屬板ヲ以テ被覆セルモノハ此ノ限ニ在ラス

公園、廣場、河、海等ノ空地ニ面スル窓又ハ出入口ニ付テハ前項ノ規定ノ適用ニ於テ其ノ空地ヲ道路ト看做ス

第一百二十二條 甲種防火地區内ニ在ル建物ノ屋根ハ耐火構造トナスヘシ但シ厚一寸五分以上ノ不燃材料ヲ以テ構成シタル野地ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス



第二百二十三條 甲種防火地區内ニ在ル建物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ其ノ床、柱及階段ヲ耐火構造ト爲スヘシ

- 一 建築面積二百坪以上ニシテ階數二以上ノモノ
- 二 建築面積百坪以上ニシテ階數三以上ノモノ
- 三 階數四以上ノモノ

第二百二十四條 甲種防火地區内ニ在ル建物ニシテ道路ニ面セサルモノハ其高十八尺ヲ軒高十二尺ヲ、建築面積十二坪ヲ超過セサル場合ニ限リ乙種防火地區内ニ在ル建物ニ關スル規定ニ依ルコトヲ得但シ地方長官建物ノ用途ニ依リ火災豫防上危険ノ虞アリト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二百二十五條 甲種防火地區内ニ在ル墻壁ハ不燃材料ヲ以テ構成スヘシ

第二百二十六條 乙種防火地區内ニ在ル建物ハ其ノ外壁ヲ耐火構造又ハ準耐火構造ト爲スヘシ

第二百二十七條 前條ノ準耐火構造トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル構造ヲ謂フ

- 一 鐵骨造ニシテ外部ヲ生子板張ト爲シタルモノ
- 二 鐵骨造又ハ木造ニシテ外部ニ左ノ各號ノ一ニ該當スル被覆ヲ爲シタルモノ
  - イ 外面ニ石、煉瓦又ハ人造石ノ類ヲ用キ其ノ厚三寸以上ノモノ

ロ 瓦貼ノ上ニ「セメント、モルタル」塗トシ厚合計一寸二分以上ノモノ

ハ 厚一寸二分以上ノ「セメント、モルタル」塗又ハ「コンクリート」塗

ニ 「セメント、モルタル」塗ノ上ニ化粧煉瓦貼トシ厚合計一寸二分以上ノモノ

ホ 木骨土藏造ニシテ塗土、漆喰等ノ厚合計三寸以上ノモノ

三 其ノ他地方長官之ニ準スト認メタルモノ

第二百二十八條 乙種防火地區内ニ在ル建物ノ軒、軒蛇腹、屋窓、裝飾塔ノ類ハ不燃材料ヲ以テ構成シ又ハ被覆スヘシ

第二百二十九條 乙種防火地區内ニ在ル建物ノ窓又ハ出入口ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ甲種防火戸又ハ乙種防火戸ヲ設クヘシ但シ鐵骨網入硝子造ニシテ其面積四十平方尺以内ノ窓若ハ出入口ニ又ハ其ノ屋根、床、柱及階段耐火構造ナル建物ノ窓若ハ出入口ニ在リテハ此ノ限ニアラス

- 一 其ノ面スル道路ノ對側境界線ヨリ三間未滿ノ距離ニ在ルトキ但シ建築線道路境界線ト一致セサル場合ニ在リテハ建築線ヲ以テ道路境界線ト看做ス
- 二 隣地境界線又ハ隣接建物ニ面シ其ノ水平距離三間未滿ナルトキ
- 三 隣地境界線又ハ隣接建物ヨリノ水平距離三間未滿ノ位置ニ在ルトキ但シ柵、組子、棧及鏡板鐵造又ハ金屬板ヲ以テ被覆セサルモノハ此限ニ在ラス



公園、廣場、河、海等ノ空地ニ面スル窓又ハ出入口ニ付テハ前項ノ適用ニ於テ其ノ空地ヲ道路ト看做ス

第三百三十條 乙種防火地區内ニ在ル建物ノ屋根ヲ金屬板ヲ以テ被覆スルトキハ其ノ野地ヲ厚一寸以上ノ不燃材料ヲ以テ構成スヘシ

第三百三十一條 防火地區内ニ在ル建物ノ界壁ハ防火壁ト爲スヘシ

第三百三十二條 建物防火地區ノ境界線外ニ亘ル場合ニ於テハ其ノ全部ニ對シ防火地區内ノ建物ニ關スル規定ヲ適用ス但シ其ノ建物ノ部分ヲ成ス防火壁ニシテ防火地區外ニ在ルトキハ其ノ防火壁外ノ部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三百三十三條 建物甲種防火地區及乙種防火地區ニ亘ル場合ニ在リテハ其ノ全部ニ對シ

甲種防火地區内ノ建物ニ關スル規定ヲ適用ス但シ其ノ建物ノ部分ヲ成ス防火壁ニシテ甲種防火地區外ニ在ルトキハ其ノ防火壁外ノ部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三百三十四條 前三條ノ防火壁ニ付テハ第三十條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十五條 地方長官ハ防火地區内ニ在ル建築物ニ關シ本令ノ規定ノ外火災豫防上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十五條ノ二 地方長官ハ防火地區内ニ在ル建築物ニシテ一時ノ使用ニ供スルモノニ付第三百十九條乃至第三百三十五條ノ規定ニ拘ハラス必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分

ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條乃至第四百二十二條 (非緩和規定ニ付省略)

### 第六章 工事執行

第四百二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル建築物ノ新築、増築、改築、移轉、大修繕又

ハ大變更ヲ爲サルトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

一 市街地建築物法第十四條ノ建築物

二 防火地區及美觀地區内ノ建築物

三 其ノ他地方長官ノ指定スル建築物

建築物ノ用途ヲ變更シテ前項第一號又ハ第三號ニ充テントスルモノ亦同シ

第四百二十四條 (非緩和規定ニ付省略)

第四百二十五條 地方長官第四百二十三條ノ認可申請ニ付支障ナシト認ムルトキハ建築認可證ヲ交付スヘシ

第四百二十六條 第四百二十三條及第四百二十四條ノ建築工事竣功シタルトキ及地方長官ノ

特ニ指定シタル工程ニ達シタルトキハ地方長官ニ届出スヘシ

第四百二十七條 地方長官第四百二十三條ノ建築物竣功ノ届出ヲ受ケ支障ナシト認メタル

トキハ遲滞ナク建築物使用認可證ヲ交付スヘシ但シ申請者ノ請求ニ依リ建築物ノ竣



功セル部分ニ對シ使用認可證ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ使用認可證ヲ受ケタル後ニ非サレハ建築物ヲ使用スルコトヲ得ス

第四百四十八條 地方長官ハ吏員ヲ派シ建築物及建築工事ヲ臨檢セムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ臨檢者ハ其ノ證票ヲ携帯スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ建築主、建築工事請負人、建築工事管理者又ハ建築物ノ所有者若ハ占有者検査ニ必要ナル準備ヲ命セラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項準備ノ費用ハ建築主又ハ建築物所有者ノ負擔トス

第四百四十九條 地方長官ハ建築工事ノ認可申請、届出又ハ其ノ變更ノ手續其ノ他建築

工事ノ取締ニ關シ本則ニ定ムルモノ、外必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第四百四十九條ノ二 第六條乃至第二十六條、第二十七條第二項、第二十八條乃至第一百七條、第三百三十六條乃至第四百四十二條及第四百四十四條ノ規定ハ市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定スル區域ニ之ヲ適用セス

附 則

第一百五十條 本則中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ警視總監トス

第一百五十一條 本則ハ市街地建築物法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正九年十一月一日ヨリ施行)

二二、市街地建築物法第四條第二項ノ規定

二依ル工業地域内特別地區内規則

(大正十二年七月二十八日  
内務省令第二三號)

第一條 工業地域内ニ特別地區ヲ指定シタル場合ニ於テ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別地區内ニ非サレハ之ヲ建築スルコトヲ得ス但シ地方長官保安上危險ノ又ハ衛生上有害ノ虞ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 銃砲火藥類取締法施行規則ノ火藥庫

二 左ニ掲クル事業ヲ營ム工場

イ 銃砲火藥物取締法ノ火藥類ノ製造但シ銃砲火藥類取締法施行規則第四十四條

第二項ノ火工品ヲ除ク

ロ 硝化纖維素、「セルロイド」、鹽素酸鹽類、過鹽素酸鹽類、「ピクリン」酸、「ピクリン」酸鹽類、黃燐、過酸化「カリウム」、過酸化「ナトリウム」、硫化炭素、「エーテル」、「アセトン」、「ベンゾール」、「キシロール」、「トルオール」又ハ「テレピン」油ノ製造



ハ 石油類、鹽化硫黃、硫酸、硝酸、弗化水素、「クロール」、石灰、「チアン」化合物、砒素化合物、水銀化合物、亞硫酸鹽類及動物質肥料ノ製造並動物質原料ノ化製

三 前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外地方長官著シク保安上危険ノ又ハ衛生上有害ノ虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スル物品ノ製造貯藏又ハ處理ニ供スルモノ

第二條 工業地域内特別地區ノ全部又ハ一部ヲ甲種特別地區ニ指定シタル場合ニ於テ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ甲種特別地區内ニ非サレハ之ヲ建築スルコトヲ得ス

一 前條第一號又ハ第二號イ若ハロニ該當スルモノ

二 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外地方長官著シク保安上危険ノ虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スル物品ノ製造、貯藏又ハ處理ニ供スルモノ

第三條 工業地域内特別地區ノ全部又ハ一部ヲ乙種特別地區ニ指定シタル場合ニ於テ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ乙種特別地區内ニ非サレハ之ヲ建築スルコトヲ得ス

一 第一條第二號ハニ該當スルモノ

二 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外地方長官著シク衛生上有害ノ虞アリト認メ命令ヲ

以テ指定スル物品ノ製造、貯藏又ハ處理ニ供スルモノ

第四條 前三條中二條ノ規定ノ適用ヲ併セ受クル建築物ヲ建築セントスル場合ニ在リテハ地方長官其ノ建築スヘキ地區ヲ指定ス

附 則

本則中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ警視總監トス

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 二二、市街地建築物法第十四條ノ規定ニ依ル特殊建築物對火構造規則(大正十二年六月一日) (内務省令第一五號)

沿革 大正十三年第三一號改正

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル建物ヲ建築スルトキハ其ノ壁體、床、柱、屋根、階段等主要構造部ヲ耐火構造ト爲スヘシ

一 劇場、活動寫真館、演藝場觀物場及之ニ類スル建物ニシテ觀客定員七百五十人以上ノモノ



二 集會場、公會堂及之ニ類スル建物ニシテ收容定員千人以上ノモノ  
 三 旅館、下宿屋、寄宿舎、貸座敷、常設展覽會場、百貨店、觀工場及之ニ類スル建物ニシテ階數四以上ノモノ

四 揮發石油ヲ使用スル自動車ノ車庫ニシテ其ノ室面積三十坪以上ノモノ  
 五 倉庫ニシテ階數三以上ノモノ

六 市街地建築物法施行令第三條第二號ロ又ハホノ物品ノ製造、貯藏又ハ處理ニ供スル建物

前項第一號及第二號ノ建物内ニ設クル舞台ノ床及屋根並第四號及第六號ノ建物ノ屋根ハ地方長官ノ許可ヲ受ケ之ヲ耐火構造ト爲ササルコトヲ得

第一項第六號ノ建物ニ付テハ地方長官物品ノ數量及周圍ノ狀況ニ依リ制限ヲ輕減シ又ハ免除スルコトヲ得

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル建物ヲ建築スルトキハ其ノ外壁ヲ耐火構造ト爲スヘシ

一 劇場、活動寫真館、演藝場、觀物場及之ニ類スル建物ニシテ觀客定員五百人以上ノモノ

二 集會場、公會堂及之ニ類スル建物ニシテ收容定員七百五十人以上ノモノ

三 旅館、下宿屋、寄宿舎、貸座敷、常設展覽場、百貨店、觀工場及之ニ類スル建物ニシテ階數三ノモノ

四 揮發石油ヲ使用スル自動車ノ車庫ニシテ其ノ室面積十五坪以上ノモノ

五 倉庫ニシテ階數二且ツ建築面積百坪以上ノモノ但シ地方長官用途ニ依リ支障ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ建物ニ付テハ市街地建築物法施行規則第二百二十條及第二百二十一條ヲ準用ス

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル建物ヲ建築スルトキハ其ノ外壁ヲ耐火構造又ハ準耐火構造ト爲スヘシ

一 劇場、活動寫真館、演藝場、觀物場及之ニ類スル建物ニシテ觀客定員二百五十人以上ノモノ

二 集會場、公會堂及之ニ類スル建物ニシテ收容定員五百人以上ノモノ

三 揮發石油ヲ使用スル自動車ノ車庫ニシテ其ノ室面積五坪以上ノモノ

前項ノ建物ニ付テハ市街地建築物法施行規則第二百二十八條及第二百二十九條ヲ準用ス

第四條 建物ニシテ其ノ一部ヲ第一條乃至第三條ノ建物ト同種ノ用途ニ供スルモノニ付テハ其ノ部分ニ對シ第一條乃至第三條ノ規定ヲ準用ス但シ地方長官必要ト認ムル



トキハ其ノ他ノ部分ニ對シ防火上相當ナル構造設備ヲ命スルコトヲ得  
第五條 假設的ノ建物ニ付テハ地方長官支障ナシト認ムルトキハ期限ヲ付シ本則ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第六條 本則ノ規定ノ適用ニ付テハ新ニ建物ノ用途ヲ定メ又ハ建物ヲ他ノ用途ニ供スルトキハ其ノ用途ニ供スル建物ヲ建築スルモノト看做ス

第七條 本則ハ市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定スル區域ニ對シテハ特ニ内務大臣ノ指定スルモノヲ除キ之ヲ適用セス

附 則

本則中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ警視總監トス

本則ハ大正十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 二三、市街地建築物法施行令第三條ノ

#### 二ノ取扱方ニ關スル件

(大正十三年四月都市計  
畫主任官會議指示事項)

市街地建築物法施行令ハ大正十二年八月二十九日勅令第三百九十五號ヲ以テ第三條ノ二ヲ追加シ以テ地域又ハ工業地域内特別地區ノ指定又ハ變更ノ際現存スル建築物ニシ

テ同令第一條乃至第三條ノ規定ニ依リ現在地ニ建築スルヲ得サル種類ニ屬スルモノト雖其ノ指定又ハ變更ノ日ヨリ十年間ヲ限り行政官廳ノ許可ヲ受クルニ於テハ増築改築又ハ用途ノ變更ヲ爲シ得ルノ道ヲ開カレタリ右ノ内用途ノ變更ニ關シ事務處理上疑義ヲ生スルノ虞ナシトセサルモ右條項ハ單ニ地域等ノ指定變更ニ因リ偶々法令ニ違反スルノ結果ヲ生シタル建築物ニ對シ爾後絕對ニ變更ヲ加フルコトヲ得サラシムルハ過酷ノ嫌ナキニ非サルノ故ヲ以テ之ヲ緩和スルノ法意ナルニ因リ本條ヲ適用スルニ當リテハ地域制定ノ趣旨ニ鑑ミ慎重ノ調査ヲ加ヘ事情已ムヲ得サルモノニ限り最少限度ノ變更ヲ許可スルノ方針ヲ採リ以テ地域制ノ現狀ヲ更ニ紛更セシムルカ如キコトナカラシムコトヲ望ム

### 二四、市街地建築物法適用ニ關スル件

◎内務次官依命通牒

(大正十四年二月二十日內  
務省一三發都第一五號)

客年十二月十五日市街地建築物法施行令中改正勅令公布セラレ又同十七日同法施行規則並特種建築物耐火構造規則中改正ノ省令公布相成候處右改正要旨ハ東京、京都、大阪、横濱、神戸及名古屋ノ六市及現ニ市街地建築物法ノ適用區域タルモノヲ除キタル



以外ノ都市其ノ他ノ市街地ニ對シテハ一施行令中ニ在リテハ地域建築線及補償ニ關スル規定ノミヲ適用シテ建築物ノ高及空地面積ニ關スル規定ハ之ヲ適用セサルヲ得ルコト、シ且ツ二同施行規則中ニ在リテハ通則建築物ノ突出部(屋上突出部ニ關スルモノヲ除ク)建築物ノ構造設備中屋上被覆、防火地區及工事執行(第四百四十四條ヲ除ク)ニ關スル規定ノミヲ適用シ其ノ他ノ建築物ノ構造設備及美觀地區等ニ關スル規定ハ之ヲ適用セサルヲ得ルコトトシ又三特種建築物耐火構造規則ハ内務大臣ノ特ニ必要ナリト認ムル區域ノミニ對シ之ヲ適用スルヲ得ルノ制ヲ定メ又大正十四年二月十四日警視廳官制北海道廳官制及地方官官制ノ改正ニ依リ警視ヲ以テ建築監督官ニ充テ警部、警部補ヲ以テ同監督官補ニ充ツルコトヲ得ル途ヲ開キ以テ地方ノ實情ニ應シ市街地建築物法ノ適用ヲ一般のナラシメムコトヲ期シタル次第ニ有之就テハ左記事項御了知ノ上市街地建築物法適用ノ必要ヲ認メラルル向ニアリテハ關係市町村當局ト御協議ノ上隨時理由ヲ具シ内申相成様致度

記

- 一、緩和規定(今回改正規定ヲ便宜緩和規定ト稱ス)ハ現ニ市街地建築物法適用區域タルモノニ對シテハ之ヲ適用セサルコト
- 二、前號ノ區域以外ニ對シテハ其ノ地方ノ必要ニ應シ緩和規定ヲ適用スルコト

- 三、市街地建築物法ハ都市計畫法ノ適用アルト否トニ拘ラス必要ト認メラル市街地ニ對シテハ適用ヲ得ルコト
- 四、市街地建築物法ヲ適用スルモ新ニ國費支辨ノ技師技手等ハ配當セラレサルコト從テ技術者ヲ必要トスル場合ハ關係地方團體ノ支辨ヲ以テ設置スルコト

### 二五、市街地建築物法適用區域ニ關スル件

(大正九年十一月十八日勅令第五四〇號)

沿革 大正一五年第一五四號 昭和二年第三號 第五號 同三年第一〇號  
第二八號 第二二八號 同四年第七〇號改正

朕市街地建築物法適用區域ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
市街地建築物法ハ静岡市、濱松市、清水市、沼津市、ニ之ヲ適用ス

参考

- 静岡市、濱松市、清水市(大正十五年第一五四號 同十年十一月一日ヨリ施行)
- 沼津市(昭和二年第五號 同二年二月一日ヨリ施行)



二六、市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依ル指定

(イ) 静岡市、濱松市及清水市指定(大正十五年六月十日 内務省令第一五號)  
市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依リ指定スルコト左ノ如シ  
静岡市、濱松市、清水市(抄録)

附 則

本令ハ大正十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(ロ) 沼津市指定(昭和二年一月二十九日 内務省令第六號)

市街地建築物法施行令第三十一條ノ規定ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

沼津市

附 則

本令ハ昭和二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

二七、市街地建築物法施行細則

(大正十五年九月三十日 静岡縣令第一二五號)

沿革 昭和四年八月第六五號改正

第一章 總 則

第一條 本令ニ於テ法ト稱スルハ市街地建築物法、施行令ト稱スルハ市街地建築物法施行令、施行規則ト稱スルハ市街地建築物法施行規則ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ通路ト稱スルハ幅員九尺未満ノモノヲ謂フ

第三條 法、施行令、施行規則又ハ本令ニ依リ當廳ニ提出スヘキ申請書又ハ届書ハ所轄警察署ヲ經由スヘシ

第四條 他ノ法令ニ依リ建築ニ關シ當廳ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノニシテ(警察署ヲ經由セサルモノヲ除ク)市街地建築物法令ニ於テモ許可又ハ認可ヲ要スルモノハ之ト共ニ申請スヘシ

第五條 建築主法適用區域外ニ居住スル場合ニ於テ建築工事管理者ヲ定メサルトキハ當廳ニ於テ適當ナル建築工事管理者ヲ定ムルコトヲ命スルコトアルヘシ

第六條 法、施行令、施行規則又ハ本令ニ依リ申請又ハ届出ヲ爲ス者法人ナルトキハ



其ノ名稱、事務所所在地及代表者ノ氏名ヲ記載シ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ法定代理人、禁治産者ナルトキハ保佐人、妻ナルトキハ夫ノ同意ヲ要ス

第二章 建築線

第七條 幅員六尺以上ノ通路ニ在リテハ其ノ中心線ヨリ兩側四尺五寸ノ距離ニ在ル線ヲ以テ建築線トス  
幅員六尺以上ノ通路ト建築敷地トノ間ニ公有ノ用水路又ハ下水溝アリテ通路中心線ヨリ建築敷地境界線マテノ距離四尺五寸以上アルトキハ其ノ境界線ヲ以テ建築線トス

前二項ノ規定ニ拘ラス必要ト認めルトキハ別ニ建築線ヲ指定ス

第八條 建築線ヲ指定變更又ハ廢止シタルトキハ之ヲ告示ス但シ申請ニ基キ建築線ヲ指定、變更又ハ廢止シタルトキハ申請者ニ對スル通知ヲ以テ告示ニ代フルコトアルヘシ

第三章 手續

第九條 施行規則第四百十三條第一項第三號ノ規定ニ依リ指定スル建築物左ノ如シ

一、法第二十六條第二項ノ道路又ハ本令第七條第一項ノ建築線其ノ他當廳ニ於テ指定シタル建築線ニ接スル敷地ニ建築スルモノ

二、災害ニ因リ建築物ノ滅失シタル一團ノ土地ノ面積一千坪以上ノ場合ニ於テ罹災

後三月以内ニ建築スルモノ

三、木造ニ非サルモノ但シ門戶墻壁ノ類ヲ除ク

第十條 施行規則第四百十三條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケムトスルモノハ左ノ事項ヲ具

シ圖面ヲ添付シタル申請書正幅三通ヲ提出スヘシ

- 一 建築主ノ住所及氏名
- 二 建築工事管理者ヲ定メタルトキハ其ノ住所及氏名
- 三 建築物ノ敷地ノ地番及面積
- 四 新築、増築、改築、移轉、大修繕又ハ大變更ノ區別
- 五 建築物ノ用途
- 六 建築材料ノ種別
- 七 建築物ノ階數及坪數
- 八 起工及竣功豫定期日

第十一條 前條ノ規定ニ依ル圖面ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 建築物敷地附近ノ見取圖（凡ソ縮尺六百分ノ一トシ道路、通路、指定建築線並ニ其ノ幅員既存建築物ノ配置敷地ノ境界線及方位ヲ表示スルコト）



二 建築物ノ配置圖（縮尺二百分ノ一トシ敷地内建築物ノ配置、建築線及其ノ距離並ニ方位ヲ表示スルコト）

第十二條 法、施行令又ハ施行規則ニ依リ許可ヲ受クヘキ事項アルモノハ第十條及第十一條ノ規定ニ準シ必要ナル事項ヲ具シ申請スヘシ

施行規則第四百十三條ノ規定ニ依ル建築物ニシテ前項ノ許可ヲ受クヘキ事項アルモノハ申請ニ際シ其ノ事項及事由ヲ記載シ前項ノ申請ニ代ルコトヲ得

第十三條 法適用區域ノ設定、地域ノ指定若ハ變更又ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合ニ於テ建築工事中ノ建築物又ハ建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物ヲ建築セムトスルモノハ其ノ施行ノ日ヨリ十五日以内ニ第十條ノ規定ニ準シ申請書ヲ提出スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 施行規則第四百十三條ノ規定ニ依リ申請シタルモノ

二 施行規則第四百十三條ノ規定ニ依ル認可ヲ受クルヲ要セサルモノ前項ノ建築物ニシテ建築工事中ノモノニ在リテハ其ノ工程ヲ附記スヘシ

第十四條 施行規則第四百十三條ノ規定ニ依ル建築物ニシテ使用認可證交付前第十條ニ規定スル事項ヲ變更シタルトキ又ハ其ノ工事中止シタルトキハ建築主又ハ建築工事管理者ニ於テ五日以内ニ届出ツヘシ

第十五條 建築線ノ指定ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ圖面ヲ添附シタル申請書

正副三通ヲ提出スヘシ

一 申請者ノ任所及氏名

二 關係土地ノ地名及地番並ニ其ノ所有者及使用者ノ住所及氏名

三 關係土地ノ所有者及使用者ノ承諾書承諾ヲナキモノハ其ノ事由

第十六條 前條ノ圖面ハ六百分ノ一トシ左ノ各號ノ事項ヲ記載スヘシ

一 關係土地ノ境界線並ニ地名及地番

二 指定ヲ受ケムトスル建築線ノ位置長サ及其ノ間ノ距離

三 申請ニ係ル建築線ニ接續スヘキ道路又ハ通路ノ位置及幅員

四 關係土地ニ於ケル建築物ノ位置

五 方位

第十七條 建築線ノ變更又ハ廢止ヲ申請セムトスル者ハ前二條ニ準シ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ建築線指定ノ年月日及指令番號指定申請中ニ屬スルモノハ申請書提出ノ年月日ヲ附記スヘシ

第十八條 施行規則第四百十六條ノ規定ニ依リ届出ヲ要スル工程ヲ指定スルコト左ノ如シ



一起 工

二 其ノ他特ニ指示シタル工程

第四章 工事 取 締

第十九條 建築工事中ハ建築場ニ建築主ノ氏名及建築認可證ノ指令番號ヲ記載シタル標札ヲ掲ケ且ツ申請書ノ副本ヲ備ヘ吏員ノ要求アリタルトキハ之ヲ提出スヘシ

第二十條 第九條第一號ノ規定ニ依ル建築物ノ建築セムトスル者ハ起工ニ當リ標杭ノ類ヲ以テ建築線ノ位置ヲ標示スヘシ

第二十一條 建築認可證交付ノ日ヨリ三月ヲ經過スルモ起工セサルトキ又ハ三月以上建築工事中止シタルトキハ許可又ハ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第二十二條 建築工事中ノ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ工事ノ中止其ノ他必要ナル措置ヲ命シ又ハ許可又ハ認可ヲ取消スコトアルヘシ

一 法、施行令、施行規則、本令又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ工事ヲ爲シタルトキ

二 申請ニ事實相違ノ表示ヲ爲シ又ハ申請ト異リタル工事ヲ爲シタルトキ

三 前各號ノ外保安上、衛生上其ノ他取締上必要ト認ムルトキ

附 則

第二十四條 本令ハ昭和四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス  
證票様式(略)

二八、内閣ノ認可ト法第十一條トノ

關係疑義ノ件

◎都市計畫課長通牒 (大正十一年二月十日都第  
六〇號ノ内京都府知事宛)

大正九年工第九九〇號ヲ以テ京都市長ヨリ別紙寫之通直接内務次官宛照會セラレタル都市計畫法ニ關スル質疑ノ件ニ付別紙ノ通決定致候間可然御示達相成度此段依命通牒候也

尙本件ノ如キ文書ハ地方廳ヲ經申致スヘキ様御示達相成度

一 法第十一條中第十條第二項ノ規定ニ依リ指定シタル地區内ニ於ケル制限ハ都市計畫ノ認可ニ依リ効力ヲ生シ第十六條第一項ノ土地ノ境界内ニ於ケル制限即チ施行令第十一條ノ制限ハ都市計畫事業ノ認可ヲ得タルトキヨリ効力ヲ生ス



京都市ノ大正八年末ニ於ケル市區改正設計ノ認可ハ都市計畫事業ノ認可ト看做ス  
二 前項ノ制限ハ内閣ノ認可ト同時ニ發生ス

○京都市長照會(大正九年五月一日  
工第九九〇號ノ内)

都市計畫法ニ關シ左記ノ件疑義ニ相涉リ候條何分ノ御回示相煩度此段及御照會候也

- 一 都市計畫法第三條ノ都市計畫ニシテ内閣ノ認可ヲ受クルトキハ同法第十一條同  
施行令第十一條ノ制限ヲ適用シ得可キ哉或ハ都市計畫事業ノ認可ヲ受ケタル後  
ニ於テ始メテ適用シ得可キ儀ナル哉尙京都市ノ昨年末ニ受ケタル認可ハ都市計  
畫事業ノ認可ト看做シ可然哉
- 二 前項ノ制限ハ内閣ノ認可ト同時ニ發生スヘキ哉將又土地收用法第十九條第一項  
ノ手續ヲ完了シタル後ニ於テ始メテ適用シ得可キ儀ナル哉

## 二九、耕地 整理法

(明治四十二年四  
月法律第三〇號)

沿革 明治四三年第四四號 大正三年第三二號 大正八年第四五號改正

### 第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ土地ノ農業上ノ利用ヲ增進スル目的ヲ以テ本

法ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フヲ謂フ

- 一 土地ノ交換、分合、開墾、地目變換其ノ他區劃形質ノ變更、湖海ノ埋立、干拓  
若ハ道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置又ハ之ニ伴フ灌溉排水ニ關ス  
ル設備若ハ工事

二 前號ノ事項施行ノ爲若ハ施行ノ結果必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ設備又ハ其  
ノ維持管理

三 開墾又ハ湖海ノ埋立若ハ干拓ニ依ル耕地整理ニ附隨シテ行フ整理施行地ノ利用  
ニ關スル必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ施設

四 前三號ノ事項ニ關シ必要アルトキ國、府縣、郡、市町村其ノ他公共團體ノ認許  
ヲ得テ行フ營造物ノ修繕

第二條 本法ニ於テ關係人ト稱スルハ整理施行地ニ付所有權以外ノ登記シタル權利ヲ  
有スル者ヲ謂フ

第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有林野法若  
ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者ハ土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ  
其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員トナルコト  
ヲ得



前項ノ場合ニ於テ土地ノ所有者及賃代人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ三 官有地取扱規則ニ依リ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト見做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上権者、永小作権者、賃借権者又ハ豫約開墾者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條、第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

第三條 耕地整理ヲ施行セムトスルトキハ設計書ヲ作り關係人ノ同意書並第二條ノ二ニ於ケル土地ノ所有者及賃代人ノ同意書ヲ添ヘ數人共同シテ施行セムトスル者ニ在リテハ尙規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

設計書、規約若ハ整理施行地區ヲ變更シ若ハ一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲シ又ハ事業ヲ停止若ハ廢止セムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ耕地整理施行ノ爲メ爲シタル借入金アルトキハ債権者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ事業ヲ廢止シ整理施行地區ヲ減少シ又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更スルコトヲ得ス

前項整理施行地區ノ變更ニ依リ新ニ整理施行地區ニ編入セララルヘキ土地ニ付キテハ第一項ノ同意書ニ關スル規定ヲ準用ス

地方長官第一項又ハ第二項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ設計書規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前五項ノ規定ハ耕地整理組合ニ之ヲ適用セス

第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ整理施行地ノ所有者、占有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ効力ヲ有ス

第五條 整理施行地ノ所有者ニ屬スル耕地整理ニ關スル權利義務ハ土地ノ所有權ト共ニ其承繼人ニ移轉ス

第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ノ耕地整理ニ關スル權利義務ハ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル權利ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉シ地上權、永小作權又ハ賃借權消滅シタルトキハ帝室及國ヲ除クノ外土地ノ所有者又ハ賃借人ニ移轉ス

第六條 本法中別ニ規定アル場合ヲ除クノ外土地ノ所有者、占有者、關係人其ノ他整理施行地ニ付權利ヲ有スル者ハ耕地整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス



**第七條** 主務大臣、地方長官又ハ郡長耕地整理ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要アルトキハ官吏又ハ吏員ヲシテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲シ障害ノ竹木土石等ヲ移轉若ハ除却セシムルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ豫メ其土地ノ占有者ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ公告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

**第八條** 前條ノ規定ハ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施行者カ整理施行ノ爲必要ナル準備ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ市町村長ノ許可ヲ受クヘシ

**第九條** 耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施行者ハ整理施行地ヲ管轄スル登記所、漁業ニ關スル登録官廳、土地臺帳所管廳、市役所又ハ町村役場ニ就キ無償ニテ耕地整理ニ關シ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得但シ登記所、漁業ニ關スル登録官廳又ハ土地臺帳所管廳ハ必要アリト認ムルトキハ耕地整理組合耕地整理組合聯合會ノ組合長、組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長又ハ臨時代理者以外ノ者ニ付其ノ資格ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

**第十條** 耕地整理施行ノ爲メ土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免

除ス

前項ノ規定ハ耕地整理ノ施行ニ伴ヒ大字若ハ字ノ名稱又ハ其ノ區域ニ變更アリタル場合ニ之ヲ準用ス

**第十一條** 耕地整理ヲ施行スル爲メ國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルニ依リ不用ニ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付ス

耕地整理ノ施行ニ依リ開設シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ニシテ前項廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

**第十二條** 本法ニ依ル開墾、地目變換其ノ他土地ノ區劃形質ノ變更又ハ道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ變更廢置ニ關シテハ地租條例第十條、第十一條及第十六條乃至第十九條ノ規定ヲ適用セス理立地又ハ干拓地ニ亦同シ

**第十三條** 耕地整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ整理施行地區内土地ノ現地價ノ合計額ヲ每筆相當ニ配賦シテ之ヲ定ム但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ整理施行地ノ現地價ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ現地價ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ現地價ノ合計額ト看做ス



前項ノ場合ニ於テ地租ノ稅率同一ナラサル土地アルトキハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ合計額ヲ每筆相當ニ配賦シ當該地目ノ稅率ヲ以テ除シタル金額ヲ其ノ配賦地價トス但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乘シタル金額ヲ地租ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ地租ノ合計額ト看做ス

前二項ノ規定ハ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ第一類地ニ開拓シタル土地埋立地又ハ干拓地ニ付テハ之ヲ適用セス

整理施行地ノ地租ハ其ノ整理施行地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スル迄從前ノ地域、地目及地價ニ依リ之ヲ徵收ス

規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區ヲ以テ第一項第二項及第四項ノ整理施地地區ト看做ス

**第十四條** 耕地整理ヲ施行スルニ當リ其ノ地區内ノ民有土地總面積ノ五分ノ一以上ニ當ル土地ニ付開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價總額ト之ニ對スル原地價總額トノ差額ノ平均額ヲ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ乘シタル額ヲ原地價總額

ニ加ヘタルモノヲ以テ前條第一項ノ現地價トス

前項ノ場合ニ於テハ開墾シタル土地ニ付テハ工事着手ノ年ヨリ四十年、變換シタル土地ニ付テハ工事完了ノ年ヨリ六年ノ耕地整理地價據年期ヲ許可シ年明ノ年ヨリ修正地價ニ依リ其ノ地租ヲ徵收ス但シ開墾シタル土地ニシテ年明ニ至リ工事完了又ハ地味成熟セサルトキハ更ニ工事完了迄又ハ十年以内ノ年明延長ヲ許可スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス

地租ヲ課セサル土地ヲ整理施行地區ニ編入シ地租ヲ課スヘキ土地ト爲シタルトキハ第十一條第一項ニ依リ交付シタル土地ヲ除クノ外工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ設定シ前條第一項ノ現地價トス第二項ノ規定ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テ修正地價ニ依リ算出シタル地租額カ原地價ニ依リ算出シタル地租額ヨリ少キ土地ニ付テハ之ヲ適用セス

**第十四條ノ二** 耕地整理ノ施行ニ依リ其ノ地區内ノ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ開拓シテ第一類地ト爲シタルトキ又ハ國有ノ水面ヲ埋立若ハ干拓シテ民有地ト爲シタルトキハ埋立地又ハ干拓地ニ付テハ六十年、其ノ他ノ土地ニ付テハ二十年ノ耕地整理新聞免租年期ヲ許可ス但シ年明ニ至リ地味成熟セサルトキハ更ニ十年以内ノ年



期延長ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ年期明ニ至リ其ノ地價ヲ設定シ其ノ年ヨリ地租ヲ徵收ス

第十五條 整理施行地區内ノ土地中開墾着手後二十年ヲ經過セサルモノ又ハ地租ノ免

除若ハ輕減ニ關スル各種ノ年期ヲ有スルモノアルトキハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

一 開墾ヲ爲シタル土地又ハ畝下年期、新開免租年期、地價据置年期ヲ有スル土地

ハ工事着手ノ際地價ヲ修正シ又ハ設定ス但工事完了ノトキニ於テ地價ノ修正又

ハ設定當時ノ現況ヨリ第一類地ノ地目ニ變更シタル場合ニ於テハ開墾又ハ地目

變換ヲ爲シタルモノト看做シ第十四條第一項ノ規定ヲ準用ス

二 荒地免租年期又ハ低價年期ヲ有スル土地ハ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其

ノ地價ヲ修正ス

三 第一號ニ依リ地價ヲ修正シ又ハ設定シタル土地ニ付テハ開墾着手後二十一年目

又ハ年期明ニ至リ修正地價又ハ設定地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但工事完了シタル

トキハ此ノ限ニ在ラス

四 工事完了シタルトキハ第一號若ハ第二號ニ記載シタル土地ニ付テハ修正地價又

ハ設定地價ヲ以テ第十三條第一項ノ現地價トス

第十六條 工事完了シタルトキニ於テ開墾着手後二十年ヲ經過セサル土地若ハ前條ニ

記載スル年期ヲ有スルモノニシテ年期ノ修了セサル土地又ハ第十四條ニ依リ年

期ヲ許可シタル土地アルトキハ事業關係者ハ其ノ協議ヲ以テ修正地租ト從前ノ

地租トノ差額利益若ハ負擔又ハ地租ノ免除ヲ受クヘキ土地及金額ヲ定メ政府ニ

申告シ殘年期間又ハ第十四條ニ依ル年期中ハ其ノ金額ヲ加除シテ其ノ土地ノ地

租ヲ納ムヘシ但シ協議一致セサルトキハ政府ニ於テ之ヲ定ム

第十七條 換地ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ之ヲ從

前ノ土地ト看做ス前項ノ規定ハ行政上又ハ裁判上ノ處分ニシテ從前ノ土地ニ專屬ス

ルモノニ影響ヲ及ボサス

第十八條 賃借地ニ付耕地整理施行ノ爲賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルト

キハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ賃借人ハ整理施行者ニ對シ解除ニ依リ生シタル損害ノ補償ヲ請求

スルコトヲ得但シ整理施行者ハ規約ノ定ムル所ニ賃借人ニ對シ求償スルコトヲ得

第十九條 耕地整理施行ノ爲賃借地ノ利用ヲ妨ケララルトキハ賃借人ハ借賃ノ相當ノ

減額又ハ前拂シタル借賃ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 耕地整理施行ノ爲著シク賃貸地ノ利用ヲ増シタルトキハ賃貸人ハ借賃ノ相

當ノ増額ヲ請求スルコトヲ得



前項ノ請求アリタル場合ニ於テ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲シ其ノ義務ヲ免ルル事ヲ得  
第二十一條 耕地整理施行ノ爲メ地上權、永小作權又ハ地役權ヲ設定シタル目的ヲ達  
スル事能ハサルトキハ地上權者、永小作權者又ハ地役權者ハ其ノ權利ヲ拋棄スルコ  
トヲ得

第十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 整理施行地ノ上ニ存スル地役權ハ耕地整理施行ノ後仍從前ノ土地ノ上ニ  
存ス

耕地整理施行ノ爲メ地役權者カ其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ  
至リタルトキハ其ノ地役權ハ消滅ス

耕地整理施行ノ爲メ從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ  
其ノ利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 第十九條及第二十條ノ規定ハ地上權、永小作權又ハ地役權ニ之ヲ準用ス

第二十四條 前六條ノ規定ニ依ル賃貸借ノ解除、地上權若ハ永小作權ノ拋棄地役權ノ  
拋棄若ハ設定又ハ借賃、地代、小作料若ハ地役ノ對價ノ減額、拂戻若ハ増額ノ請求

ハ第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ地上權者、永小作權者又

ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二條ノ二第  
一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ

第二十五條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的  
タル場合ニ於テ第二十七條、第二十八條、第三十條第一項、第二項又ハ第四十四條  
第二項ノ規定ニ依リ拂渡スヘキ金銀アルトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ  
但シ關係人ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地又ハ之ニ存スル建物カ訴訟ノ目的タル爲メ訴訟當事者ヨリ  
請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

先取特權者、質權者、抵當權者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金  
銀ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十五條ノ二 整理施行地ニ付存スル漁業權カ登録シタル先取特權又ハ抵當權ノ目  
的タル場合ニ於テ第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ補償金ヲ拂渡スヘキトキハ整理施行  
者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ  
限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地ニ付存スル漁業權又ハ入漁權カ訴訟ノ目的タル爲メ訴訟當  
事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス



登録シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金銭ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十六條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者カ其ノ事業ノ爲メ借入タル金額及其ノ利息其ノ他耕地整理ノ施行ニ依リ生シタル債務ニ付テハ共同施行者連帶シテ其ノ責任ス但シ規約ハ別段ノ規定アルトキハ此限ニ在ラス  
帝室及國ハ前項ノ責ニ任セス

第二十七條 整理施行者ハ耕地整理施行ノ爲メ必要アルトキハ整理施行地區内ノ工作物又ハ木石等ヲ移轉シ除却シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

第二十七條ノ二 整理施行地ニ付漁業權存スル場合ニ於テハ漁業權者ニ對シ、漁業權及入漁權存スル場合ニ於テハ漁業權者及入漁權者ニ對シ整理施行者ハ整理施行ニ依リ生スヘキ損害ヲ補償スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ハ漁業權者及入漁權者共同シテ之ヲ有スルモノトス

整理施行者ハ前二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲シタル後ニ非サレハ工事ニ着手スルコトヲ得ス但シ其ノ損害ノ補償ヲ受クル權利者ノ同意ヲ得タルトキ第二十五條ノ

二ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキ又ハ第八十七條第三項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合員ハ耕地整理施行ノ爲メ受ケタル損害ニ對シ第七條、第八條又ハ第二十七條ノ場合ヲ除クノ外補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 整理施行地ニ付權利ヲ有スル者耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可又ハ耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示アリタル後ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築改築増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタルトキハ之ニ關スル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

前項告示ノ後ニ於テ土地ニ付權利ヲ取得シタル者ハ従前ノ權利者ノ爲シ得ヘキ範圍内ニ於テノミ損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第三十條 換地ハ従前ノ土地ノ地目、面積、等位等ヲ標準トシテ之ヲ交付スヘシ但シ地目面積等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル部分ニ關シテハ金銭ヲ以テ之ヲ清算スヘシ

特別ノ事情ノ爲メ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルモノノ處分ニ關シテハ規約ノ定ム



ル所ニ依ル

前二項ノ規定ニ依ル處分ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ  
地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知ス  
ヘシ

第三十一條 前條ノ規定ニ依ル處分ハ整理施行地ノ全部ニ付工事完了シタル後ニ非サ  
レハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 整理施行地二以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉ル場合ニ於テ一筆ノ土地ノ  
區域ハ二以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉リテ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第三十三條 従前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制  
限アルトキハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ  
其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第三十四條 本法中土地所有者ノ數ヲ計算スル場合ニ於テハ共有者ハ之ヲ一人ト看做  
ス但シ共有者ノミ共同シテ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テ第五十條、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五  
條第二項又ハ第六十八條第二項中土地ノ面積又ハ地價ハ共有者ノ持分ニ依リ之ヲ定  
ム

第三十五條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ耕地整理ニ關スル書類ノ送付  
ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ整理施行者又ハ監督官廳カ公  
告ヲ爲ストキハ其ノ公告ノ日ヲ以テ書類ヲ發送シタルモノト看做シ二十日ヲ經過ス  
ルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付ヲ了リタルモノト看做ス

第三十六條 第三十條第三項ノ認可ヲ受ケタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク既登記ノ  
土地及建物ニ付登記ヲ申請スヘシ

第三十七條 整理施行地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ  
特例ヲ設クルコトヲ得

第三十八條 共同施行又ハ耕地整理組合ニ依ル耕地整理ノ事業ニシテ郡市町村又ハ水  
利組合ニ依リ施行スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外  
命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ヲ郡、市町村若ハ水利組合ニ引繼キ又ハ耕地整理組  
合ヲ普通水利組合ニ變更スヘシ

前項ノ規定ニ依ル引繼又ハ變更アリタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十九條 監督官廳ハ主務大臣ノ定ムル所ニ從ヒ本法ノ規定ニ依ル職權ノ一部ヲ下  
級監督官廳ニ委任スルコトヲ得



第四十條 本法中府縣、郡、市町村、郡長、市町村長、市役所又ハ町村役場トアルハ府縣制、郡制、市制、町村制ヲ施行モサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス  
第四十條ノ二 整理施行地區カ數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本法中地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第一章 耕地整理組合

第一款 總則

第四十一條 耕地整理ヲ施行スル爲必要アルトキハ耕地整理組合ヲ設立スルコトヲ得  
耕地整理組合ハ法人トス

第四十二條 耕地整理組合ハ整理施行地ヲ以テ其ノ地區トス

第四十二條ノ二 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者ニ代リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 左ニ掲クル土地ハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ第一號乃至第三號ノ土地ニ付テハ主務官廳又ハ公共團體ノ認許、第四號乃至第八號ノ土地ニ付テハ土地所有者、關係人及建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 御料地、國有地

二 官ノ用ニ供スル土地

三 府縣、郡、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

四 名勝地、舊蹟地

五 古墳墓地、墳墓地

六 社寺境内地

七 鐵道用地、軌道用地

八 建物アル宅地

登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認許ヲ得タルトキハ其ノ地上權者又ハ永作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ地上權又ハ永小作權者ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合員ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 特別ノ價值又ハ用途アル土地ハ土地所有者及關係人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ之ヲ編入スルニ非サレハ耕



地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサルトキハ此ノ限ニ在ラス

土地收用法第四十七條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十四條、第五十六條、第五十八條、第六十條及第六十一條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ組合ノ設立又ハ地區變更ノ認可ノ告示ヲ以テ土地收用法第十九條ノ規定ニ依ル公告又ハ通知ト看做ス

第一項但書ノ場合ニ於テ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ其ノ土地ニ付工事ノ施行ヲ拒ムコトヲ得但シ第八十七條第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ其ノ地區内ニ土地ヲ所有スルモノハ總テ之ヲ組合員トス但シ第十一條第一項ノ土地ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 耕地整理組合ノ名稱中ニハ耕地整理組合ナル文字ヲ用ウヘシ  
耕地整理組合ニ非サルモノハ耕地整理組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第四十七條 土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト爲シ之ヲ組合ニ通知スヘシ  
前項ノ代表者ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十八條 前條ノ委任ノ終了ハ組合ニ通知アル迄之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十九條 第四十七條第一項ノ手續ヲ爲ササル土地共有者ニ對スル書類ノ送付ハ其ノ一人ニ對シ之ヲ發送シタル時ニ於テ完了シタルモノト看做ス

第二款 組合ノ設立及解散

第五十條 耕地整理組合ヲ設立セムトスルトキハ組合ノ地區タルヘキ區域内ノ土地所有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ區域内ノ土地ノ總面積及總地價ノ各三分ノ二以上ニ當ル土地所有者ノ同意ヲ得テ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ  
前項ノ土地所有者中共有者アル場合ニ於テハ各共有地ニ付共有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ持分ノ三分ノ二以上ニ當ル者ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ共有地ニ付同意アリタルモノト看做ス

第五十一條 耕地整理組合ハ前條地方長官ノ認可ニ依リ成立ス  
前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ組合設立ノ旨ヲ告示スヘシ

組合ハ前項ノ告示アル迄其ノ成立ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十二條 組合設立ニ關スル費用ハ組合設立ノ後組合ノ負擔トス

第五十三條 組合ハ左ノ事由ニ依リ解散ス但シ第二號ノ場合ニ於テ還了セサル組合債



- アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 一 規約ニ定メタル事由ノ發生
  - 二 目的タル事項ノ完成又ハ完成ノ不能
  - 三 總會ノ議決
  - 四 合併
  - 五 事業ヲ郡、市町村又ハ水利組合ニ引継キタルトキ
  - 六 普通水利組合ニ變更シタルトキ
  - 七 組合員一人ト爲リタルトキ
  - 八 監督官廳ノ處分
- 前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ第三號又ハ第四號ニ該當スルトキヲ除クノ外其ノ旨ヲ告示スヘシ
- 第五十四條** 組合ニ於テ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經テ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ組合債ヲ負擔スルトキハ債權者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務又ハ債務分擔ニ關スル規約ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

- 地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ
- 第五十五條** 組合ノ地區ヲ變更スル場合ニ於テ新ニ組合ノ地區ニ編入セラルヘキ土地アルトキハ組合長ハ設計書案及規約案ヲ作り編入區域ノ土地所有者ノ總會議ニ付シ其ノ議決ヲ前條ノ總會ノ議決ニ添付スヘシ
- 前項ノ總會議ノ議決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者ノ代理人ヲ許スコトヲ得
- 第六十六條** 規定ハ第一項ノ總會議ニ之ヲ準用ス
- 第五十六條** 前條ノ總會議ハ編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 第五十條** 規定ハ前項ノ同意ニ之ヲ準用ス
- 第五十七條** 設計書若ハ規約ノ變更組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ハ**第五十三條**第二項又ハ**第五十四條**第二項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス
- 第五十八條** 組合ヲ合併シタルトキハ合併ニ依リ解散シタル組合ニ屬スル權利義務ハ合併後存続シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ移轉ス
- 第五十九條** 組合員一人ト爲リタル爲メ組合解散ノ場合ニ於テハ其ノ事業ハ一切ノ權利義務ト共ニ土地所有者ニ移轉ス



前項ノ土地所有者ハ之ヲ第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ト看做ス

第六十條 組合解散シタルトキハ第五十三條第一項第四號、第六號又ハ第七號ノ場合ヲ除クノ外清算ヲナスヘシ組合ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第三款 組合ノ會議

第六十一條 別ニ規定アルモノノ外左ニ掲クル事項ハ總會ノ表決ヲ統ヘシ

- 一 第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲ス事
- 二 組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事
- 三 經費ノ收支豫算ヲ定ムル事
- 四 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 五 組合長、組合副長若ハ評議員ヲ選任シ又ハ解任スル事
- 六 組合費、夫役現品ノ分賦收入ニ關スル事
- 七 事業報告書及收支決算書ヲ承認スル事
- 八 工作物又ハ設備ノ維持管理方法ヲ定ムル事

九 訴訟、訴訟及和解ニ關スル事

十 耕地整理組合聯合會ヲ設ケ、聯合會ニ加入シ又ハ聯合會ヲ脱退スル事

十一 規約ニ定メタル事項

十二 其ノ他組合長ニ於テ重要ナリト認メタル事項

第六十二條 總會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ評議員會ニ委任シ又ハ組合長ヲシテ專決セシムルコトヲ得

評議員會ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條 總會ノ表決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スル暇ナシト認ムルトキハ組合長ハ專決處分シ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ認ムヘシ但シ設計書、規約若ハ組合地區ノ變更又ハ組合ノ解散若ハ合併ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合長前項ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ其ノ處分前評議員會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ評議員ヲ置カサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十五條 總會ハ組合長之ヲ招集ス

組合員總數ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ組合地區内ノ土地ノ總面積若ハ總地價ノ五分ノ一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ



招集ヲ請求スルトキハ組合長ハ十四日以内ニ之ヲ招集スヘシ

第六十六條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ會議ノ日時、場所及目的ヲ記載シテ各組員ニ通知ヲ發スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ニ於テハ期間ヲ二日迄短縮スルコトヲ得

第六十七條 組員ハ各一箇ノ表決權ヲ有ス但シ規約ヲ以テ表決權總數ノ五分ノ一ヲ超過セサル範圍内ニ於テ一人ニ付二箇以上ノ表決權ヲ有セシムルコトヲ得  
前項ノ規定ハ第六十八條第二項ノ場合ニ之ヲ適用セス

第六十八條 總會ノ議事ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外組員ノ半數以上出席シ出席者ノ表決權ノ過半數ノ表決ヲ以テ之ヲ決ス

第五十四條 又ハ第六十一條第一號、第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令又ハ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 組員ハ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ表決權ヲ行フ者ハ出席者ト看做ス

第七十條 第三十一條但書ノ規定ニ依リ第三十條ノ處分ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ處分ヲ爲サムトスル土地ニ關スル組員ノ總會議ヲ以テ總會ト看做ス

第七十一條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組員ノ選舉シタル議員ヲ以テ組織スル組合會ヲ以テ總會ニ代フルコトヲ得

第七十二條 總會ニ關スル規定ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外前二條ノ規定ニ依ル組員ノ總會議又ハ組合會ニ之ヲ準用ス但シ組合會ニ於テ組合ノ解散又ハ合併ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

#### 第四款 組合ノ管理

第七十三條 組合ニ組合長一人及組合副長一人又ハ數人ヲ置ク

組合長又ハ組合副長ハ組員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ特別ノ事情アルトキハ組員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

組合長、組合副長共ニ副員ト爲リタル時ハ地方長官ハ臨時代理者ヲ指定スル事ヲ得  
地方長官前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ與ヘ又ハ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

組合長、組合副長又ハ臨時代理者ノ就任若ハ解任ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十四條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ管理ス



組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス  
組合副長數人アルトキハ其ノ代理ノ順序ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 組合長ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十六條 組合ニ評議員ヲ置ク但シ特別ノ事情アル爲メ地方長官ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

評議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス  
評議員ハ組合長ノ諮詢ニ應シ並業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

組合長ハ規約ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲシテ組合ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十七條 組合長ハ設計書、規約、組合員名簿、會議ノ議事録其ノ他組合ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五款 組合ノ財務

第七十八條 組合ノ費用ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

夫役現品ノ分賦及之ニ代ルヘキ金額ニ關スル規定ハ規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第七十九條 組合員ニシテ組合費、第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金銭又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

前項ノ場合ニ於テ組合ハ其徵收金額中百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

第一項ノ徵收金ハ組合地區内ノ土地ニ關シ市町村水利組合其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有ス

前三項ノ規定ハ組合員カ夫役現品ニ代ルヘキ金銭ヲ滯納スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 組合ニ於テ負債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ負債ハ起債ノ時ヨリ十五年以内ニ之ヲ還了スヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限リ五十年以内ト爲スコトヲ得

第八十一條 組合ニシテ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ帝室及國ヲ除クノ外組合員ハ之ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二章ノ二 耕地整理組合聯合會



第八十一條ノ二 耕地整理組合ハ登記手續ニ關スル事項ヲ除クノ外其ノ事業ノ一部ヲ他ノ耕地整理組合ト共同シテ行ハムトスル場合ニ於テ之ニ代リ行ハシムル爲協議ニ依リ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ得テ耕地整理組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

聯合會ハ法人トス

聯合會其ノ所屬組合ノ増減ヲ爲サムトスルトキハ各組合ノ協議ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

聯合會ニ會長一人及副會長一人又ハ數人ヲ置ク

第四十二條ノ二、第四十六條、第五十一條乃至第五十四條、第五十七條乃至第五十九條第一項第六十條、第七十三條乃至第七十五條及第七十七條乃至第八十一條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第五十九條第一項中土地所有者トアルハ組合第七十三條中組合員トアルハ聯合會所屬組合ノ組合員トス

第三章 監督

第八十二條 耕地整理ハ第一次ニ郡長、第二次ニ地方長官、第三次ニ主務大臣之ヲ監督ス但シ整理施行ノ區域都市若ハ數郡ニ亘リ又ハ市内ニ止ル場合ニ於テハ第一次ニ地方長官第二次ニ主務大臣之ヲ監督ス

第八十三條 主務大臣又ハ地方長官ニ於テ會議ノ表決又ハ整理施行者ノ行爲カ設計書規約又ハ法令ニ違フシ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ會議ノ表決ヲ取消シ、組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長ヲ解任シ、評議員若ハ組合會議員ノ改選、事業ノ停止若ハ組合聯合會ノ解散ヲ命シ又ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第八十四條 監督官廳ハ整理施行者ヲシテ耕地整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類帳簿出納又ハ工事ヲ検査シ設計書又ハ規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 監督官廳ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル認可由請ニ對シ申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

第八十六條 第三條ノ規定ニ依ル耕地整理ノ施行若ハ整理施行地區ノ變更ニ異議アル關係人、第四十三條若ハ第四十四條ノ規定ニ違反シテ耕地整理組合ノ地區ニ編入シタル土地ノ所有者若ハ關係人又ハ第三條第二項但書若ハ第五十四條第一項但書ノ規定ニ依リ異議アル債權者ハ各耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可ノ告示、耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示又ハ第三條第四項若ハ第五十四條第二項ノ規定ニ依リ當該事項ノ告示アリタル日ヨリ六十日以内ニ主務大臣ニ



訴願スルコトヲ得

前項ノ訴願アリタル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ裁決アル迄目的タル土地ニ付耕地整理ノ施行ヲ停止スルコトヲ得

第八十七條 第四十四條第二項ノ規定ニ依ル補償金ニ付協議調ハサルカ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ

前項ノ決定ニ不服アルモノハ其ノ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨル九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條ノ二第一項ノ規定ニ依ル補償金ニ付亦前二項ニ同シ

第八十八條 總會、總會若ハ組合會ノ招集手續若ハ表決カ違法ナル場合ニ於テ之ニ對シ不服アル者又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約開墾者カ整理施行者若ハ組合員ト爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者ハ其ノ表決ノ日ヨリ十四日以内ニ地方長官ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項異議ノ申立アリタル場合ニ於テ監督官廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ利害關係人ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ表決又ハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第八十九條 監督官廳ノ處分ニシテ本法中他ノ條項ニ於テ地方長官ノ告示ヲ必要トスル事項ニ相當スルモノニ付テハ地方長官ハ之ヲ告示スヘシ

第四章 罰 則

整理施行者ハ前項ノ告示アル迄其ノ受ケタル處分ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス前二項ノ規定ハ監督官廳ノ命令シタル停止處分ノ解除ニ之ヲ準用ス

九十條 耕地整理施行ニ關シ設ケタル標識ヲ移轉、汚損毀壞又ハ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第九十一條ノ二 組合長、組合副長、聯合會會長、聯合會副會長、臨時代理者、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付提供又ハ約束シタル者ハ二



年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス  
前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免許スルコトヲ得

附 則

第九十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治四十二年十月勅令二三〇) 號ヲ以テ同月十六日ヨリ施行  
明治三十年法律第三十九號ハ之ヲ廢止ス但シ現ニ土地ノ區劃形狀變更ノ許可ヲ得タル者ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第九十三條 北海道ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クル事ヲ得

第九十四條 本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ付テハ以下數條ニ規定スルモノヲ除クノ外舊法ノ規定ヲ適用ス

第九十五條 本法第一條、第二條、第四條、第八條、第十條、第十七條、第二十五條、第二十七條、第二十八條、第三十條、第三十一條、第三十三條、第三十五條乃至第四十條、第七十九條、第八十二條、第八十四條及第八十五條ノ規定ハ本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タルモノニ之ヲ適用ス

第九十六條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ得タル者ハ發起人又ハ整理委員ノ申請ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法ニ依ル耕地整理組合ト爲スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲シタルトキハ耕地整理ニ關スル從前ノ設計書又

ハ規約ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ反セサル範圍内ニ於テ本法ノ規定ニ依ル設計書又ハ規約ト看做ス

第一項ノ規定ニ依ル耕地整理組合ハ耕地整理ニ關スル參加土地所有者共同ノ權利義務ヲ承繼ス

第九十七條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法第五十條ノ規定ニ依リ耕地整理組合設立ノ申請ト爲スコトヲ得

第九十八條 舊法又ハ明治三十年法律第三十九號ニ依リ爲シタル處分ニ對スル訴願ニ關シテハ各舊法又ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ依ル

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正八年五月勅令二四五號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行)  
本法施行前第十四條及第十四ノ二ノ規定ニ依ル許可アリタル土地ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル



# 三〇、耕地整理法施行規則

(明治四十二年十月農務省令第三九號)

沿革 明治四三年第五號 大正元年第二號 同四年第八號 同八年第二一號改正 同第二二號

## 第一章 總 則

第一條 整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ非サレハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ト爲ルコトヲ得ス但シ耕地整理組合設立ノ認可申請者ニ付テハ地方ノ狀況ニ依リ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條 耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ整理施行地區所在ノ市町村ニ事務所ヲ設クヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ之ヲ其ノ隣接市町村ニ設クルコトヲ得

事務所ニハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ備ヘ置クヘシ  
共同施行者若ハ組合員タルヘキ者又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三條 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ其ノ氏名若ハ名稱、住所、整理施行地區及事務所ヲ整理施行地區ノ屬スル各市町村長ニ届出ツヘシ

第四條 耕地整理法第七條又ハ第八條ノ規定ニ依ル通知又ハ公告ニハ立入ノ目的場所及期日ヲ示スヘシ

前項ノ公告ハ立入ルヘキ土地ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ少ナクモ三日間之ヲ揭示スヘシ

第五條 整理施行地ノ地價ヲ計算スル場合ニ於テ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ非スシテ地租ヲ課セサル土地、耕地整理法第十五條第一號、第二號ノ土地及一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アルトキハ耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ其ノ現況ニ依リ整理施行地區内ノ土地ノ地價ヲ參酌シテ相當ノ假地價ヲ附スヘシ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面ニ付亦同シ

第六條 耕地整理事業カ府縣、郡、市町村其ノ他ノ公共團體ノ事業ニ關スルトキハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請書ニ其ノ團體ノ承認ヲ證スル書面其ノ承認ヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ハ設計書、規約又ハ整理施行地區變更ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第七條 國有地又ハ府縣ノ公用若ハ公共ノ用ニ供スル土地ヲ整理施行地區ニ編入スル爲耕地整理法又ハ本則ノ規定ニ依リ認許ヲ申請スル場合ニ於テハ耕地整理施行、耕地整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可申請ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得



第八條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ但シ規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ第五號、第六號、第九號及第十號ノ事項ハ各區毎ニ之ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行地ノ現況及工事施行ノ目的
  - 二 工事其ノ他ノ事業ノ計畫説明
  - 三 (削除)
  - 四 主要工事ノ仕様
  - 五 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積ノ地目別合計ノ豫定
  - 六 工事施行ニ依リテ得ヘキ利益
  - 七 整理施行地及之ニ隣接スル土地、水面ノ現形圖
  - 八 整理豫定圖
  - 九 工事ノ着手及完了ノ豫定期
  - 十 維持管理ニ要スルモノヲ除ク外工事費其ノ他ノ一切ノ費用及夫役現品ノ豫算
- 第九條 規約ニハ耕地整理法又ハ本則ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 事業ノ範圍
  - 二 (削除)

- 三 耕地整理組合又ハ聯合會ニ在リテハ名稱
- 四 事務所ノ所在地
- 五 耕地整理組合ニ在リテハ組合長、組合副長及評議員、聯合會ニ在リテハ會長及副會長ノ定數、選任、解任及任期ニ關スル規定、共同施行ニ依ル耕地整理ニシテ役員ヲ置クモノニ在リテハ其ノ名稱、定數、職務權限、選任、解任及任期ニ關スル規定
- 六 會議ニ關スル規定
- 七 庶務及會計ニ關スル規定
- 八 補償金評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定
- 九 費用及夫役現品ノ分賦收入方法並延滞利息又ハ過怠金ニ關スル規定
- 十 耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於ケル土地使用ニ關スル規定
- 十一 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分方法
- 十二 土地及水面ノ價額評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定
- 十三 數人共同シテ施行スル耕地整理ニ在リテハ設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ニ關スル規定
- 十四 豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利消滅ノ場合ニ於ケル



保價金徵收ノ方法ヲ定メタルトキハ其ノ規定

十五 維持管理ヲ行フ者ニ在リテハ其ノ規定

第十條 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ整理施行者ハ工事ニ着手スル前第八條第七號ノ圖面ヲ添付シテ左ノ事項ヲ所轄稅務署長ニ申告スヘシ其ノ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

- 一 整理施行地ノ屬スル郡、市町村並土地ノ字、番號及水面ノ位置、面積
- 二 耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可ノ年月日
- 三 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積ノ地目別合計ノ豫定
- 四 耕地整理法第十五條第一號第二號ノ土地アルトキハ本則第五條ニ依リ定メタル假地價

五 工事ノ着手及完了ノ豫定期

第十條ノ二 整理施行地區内ニ一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アルトキハ前條ノ申告ト共ニ分筆ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 工事ニ着手シ又ハ工事完了シタルトキハ整理施行者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ地方長官及所轄稅務署長ニ届出ツヘシ

第十二條 規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ各區毎ニ前二條ノ

手續ヲ爲スヘシ

第十二條ノ二 耕地整理法第十四條及第十五條第一號但書、第ノ二號規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ要スル土地ニ付テハ整理施行者ハ従前ノ土地ノ字、番號、地目、面積及修正又ハ設定地價ノ見積額ヲ記シタル書面並従前ノ土地及工事施行後ニ於ケル土地各筆ノ區域ヲ表示シタル圖面ヲ作り第十一條ノ規定ニ依ル工事完了ノ届出ト共ニ所轄稅務署長ニ之ヲ差出スヘシ但シ地價ノ見積ニ付テハ評議員ヲ置ク耕地整理組合ニ在リテハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第十三條 整理施行者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後遲滯ナク換地説明書、整理確定圖及地價配當案ヲ作ルヘシ

前項ノ地價配當案ハ耕地整理組合ニ在リテハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會議ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第十三條ノ二 地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者カ整理施行者又ハ組合員タル場合ニ於テ一人施行者又ハ共同施行者耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可ヲ申請セムトスルトキハ七日前ニ、耕地整理組合同條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會議ヲ招集セムトスルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ土地所有者ニ通知スヘシ



第十四條 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ換地説明書、整理確定圖及耕地整理組合ニ在リテハ總會又ハ總會議ノ議事録ノ謄本ヲ添付スヘシ

第十五條 耕地整理法第十五條第一號ノ規定ニ依リ地價ヲ修正又ハ設定シタル場合ニ於テ工事完了前事業ノ廢止又ハ耕地整理組合ノ解散ノ爲工事ノ利益ヲ受クルコト能ハサル土地ニ付テハ廢止又ハ解散ノ時ヨリ地價ノ修正又ハ設定ナカリシモノト看做ス整理施行地區ノ變更ニ依リ地區外ニ除斥セラレタル土地ニ付亦同シ

第十五條ノ二 耕地整理地價据置年期又ハ耕地整理新開免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後三十日以内ニ所轄稅務署長ニ之ヲ申請スヘシ此ノ場合ニ於テ整理施行者ハ代リテ其ノ申請ヲナスコトヲ得

前項年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期滿了後六十日以内ニ所轄稅務署長ニ之ヲ申請スヘシ

耕地整理法第十四條ノ二ノ規定ニ依リ民有地ト爲シタル土地ニシテ第一項ノ期間内ニ耕地整理新開免租年期ノ申請ナキトキハ直ニ其ノ地價ヲ定ム

第十六條 耕地整理法第三十條第三項ノ認可アリタルトキハ整理施行者ハ地價配當案ニ耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本、換地説明書及整理確定圖ヲ添付シテ所轄稅務署長ニ差出シ地價ノ配賦ヲ受クヘシ

第十七條 耕地整理法第十六條ノ規定ニ依ル申告ハ地價ノ配賦ヲ受ケタル後遲滯ナク所轄稅務署長ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ共同施行者又ハ耕地整理組合ニ在リテハ協議一致ヲ證スル書面、協議一致セサルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第十七條ノ二 耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ依ル認可ノ通知ハ通知書ニ左ニ掲クル書類ヲ添付シテ之ヲ爲ス可シ認可ノ變更又ハ更正アリタル場合亦同シ但シ其ノ添付書類ハ變更又ハ更正アリタル部分ニ關スルモノヲ以テ足ル

- 一 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本
- 二 整理施行者ノ氏名若クハ名稱、住所ヲ記載シタル書面
- 三 換地説明書
- 四 整理確定圖

第十七條ノ三 前條第三號及第四號ノ書類ハ耕地整理地區カニ以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ各登記所ノ管轄ニ屬スル地區毎ニ分割シタルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ交付シタルモノアルトキハ其ノ牽聯スル從前ノ土地及換地ハ換地説明書ノ分轄シタルモノニ之ヲ表示スヘシ



第十八條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニ付登記ヲ爲シタルトキハ登記権利者ハ遲滞サク整理施行者ニ其ノ旨ヲ通知スルモ、其ノ後、土地ノ整理施行者ハ遲滞サク同法第三十三條ノ

第十九條 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル後同條第四項ノ告示前ニ於テ從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ爲シタルトキハ整理施行者ハ遲滞サク同法第三十三條ノ指定ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アル場合ニ於テ耕地整理法第三十三條ノ指定ヲ爲サザクシモノアルトキ亦前項ニ同シ耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於テ換地ノ一部ニ該當スル從前ノ土地ニ付所有權移轉ノ登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞サク同法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條ノ二 前條ノ規定ハ耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ耕地整理法第三十條第四項ノ告示後登記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 共同施行又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ニ依ル耕地整理ノ事業年度ハ一箇年ニシテ前項ノ事業年度ハ九月一日ヨリ翌年八月三十一日迄トス但シ特別ノ事情アルトキハ

規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度前經費ノ收支豫算ヲ定ムヘシ但シ初年度ニ於テハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合若ハ聯合會設立ノ認可後遲滞ナク之ヲ爲スヘシ

第二十二條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度經過後遲滞ナク當該年度ノ事業報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二十三條 耕地整理法第三十五條ノ規定ニ依ル公告ハ整理施行地區ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ三日間送付スヘキ書類ノ要領ヲ揭示スヘシ

第二十四條 耕地整理法第三十八條第一項ノ規定ニ依リ耕地整理ノ事業ヲ郡市町村又ハ水利組合ニ引繼ク場合ニ於テ其ノ引繼完了シタルトキハ共同施行者又ハ耕地整理組合長ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十五條 耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレタルトキ又ハ耕地整理組合ノ清算終了シタルトキハ整理施行者又ハ組合長ハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ整理施行地區ノ屬スル市町村長ニ引渡スヘシ其ノ整理施行地區ニ以上ノ市町村ニ涉ルトキハ整理施行者又ハ組合長ノ申請ニ依リ地方長官ニ於テ其ノ書類及帳簿ヲ引渡スヘキ市町村長ヲ指定スヘシ



耕地整理法第五十三條第一項第五號ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス  
耕地整理組合聯合會ノ清算結了シタルトキハ會長ハ聯合會ニ關スル一切ノ書類及帳  
簿ヲ其ノ所屬組合ノ一ニ引渡スヘシ

第二十六條 市町村長前條第一項ノ規定ニ依リ書類及帳簿ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其  
ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ左ニ掲クルモノニ付テハ十年間其ノ他ノモトニ付テハ五年  
間之ヲ保存スヘシ

一 耕地整理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル認可、認許又ハ同意ヲ證ス  
ル書面

二 設計書

三 規約

四 土地原簿

五 權利者名稱又ハ組合員名稱

六 議事錄

七 換地説明書

八 整理確定圖

九 事業報告書

十 收支決算書

前項ノ規定ハ明治四十二年勅令第二百三十一條第三號ノ規定ニ依リ郡長市町村長、  
又ハ水利組合管理者カ耕地整理ニ關スル書類及帳簿ノ引繼ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準  
用ス

第二十六條ノ二 耕地整理法第八十七條ノ規定ニ依ル申請書ニハ申請ノ目的及事由ヲ  
記載シ協議調ハサルトキハ其ノ顛末書ヲ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書  
ヲ添付スヘシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ協議ノ相手方ニ交付シ且交付ヲ受ケ  
タル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘキ旨ヲ附記スヘシ

協議ノ相手方前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ地方長官ハ申請書ノミニ依  
リテ決定スルコトヲ得申請書ノ交付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

第二十七條 本則中府縣、郡、市町村、市町村長、市役所又ハ町村役場トアルハ府縣  
制、郡制、市町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

第二十七條ノ二 整理施行地區カ數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本則中地方長官ノ聯權ニ  
屬スル事項ハ關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二章 一人施行及共同施行



第二十八條 耕地整理法第三條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スニシ

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業ノ範圍

二 第三十二條第一號乃至第三號ノ事項

三 整理施行者ノ員數

四 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者、豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別、地目別ノ面積及地價若ハ地價

五 耕地整理法第四十三條ノ土地アルトキハ其ノ表示

六 整理施行地區ヨリ特ニ除斥シタル土地アルトキハ其ノ事由  
前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添付スヘシ

一 耕地整理法第四十三條第一項第一號ノ土地ニシテ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者カ其ノ土地ニ付整理施行者タル場合ニ非ツル土地、第二號及第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許アリタルコトヲ證スル書面

二 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地アルトキハ其ノ土地ニ存

スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

三 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ許可ヲ證スル書面

第二十九條 耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ付テハ國ハ之ヲ整理施行者ト看做サス

第三十條 共同施行者ハ耕地整理ノ施行ニ關シ書類又ハ通知ノ授受ノ爲代表者一人ヲ定メ耕地整理施行ノ認可申請ト同時ニ其ノ氏名住所ヲ地方長官ニ届出テ且之ヲ公告スヘシ

代表者又ハ其ノ氏名、住所ニ變更アリタル場合亦同シ

第三十一條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ハ耕地整理施行ノ認可アリタル後遲滞ナク土地原簿及權利者名簿ヲ調製スヘシ

第三十二條 土地原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 整理施行地ノ總面積及總地價

二 整理施行地ノ筆數、面積及地價ノ地目別合計

三 土地各筆ノ字、番號及地目並水面ノ位置

四 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地、豫約開墾ヲ爲ス土地、



工作物アル土地又ハ所有權以外ノ登記シタル權利ノ目的タル土地アルトキハ其ノ表示

第三十三條 權利者名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地ノ字、番號、地目、面積、地價、等位及權利ノ表示
- 二 整理施行者タル埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ權利ノ目的タル水面ノ位置及面積
- 三 土地又ハ水面ノ價額若ハ等位ヲ評定シ、面積ヲ實測シ又ハ假地價ヲ附シタルトキハ其ノ價額、等位、面積又ハ假地價
- 四 關係人又ハ整理施行地ニ存スル建物ニ付先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ノ氏名若ハ名稱、住所及登記ノ要領
- 五 整理施行者タル地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ノ權利ノ目的タル土地ノ所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及土地ノ表示
- 六 工作物所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及工作物ノ表示
- 七 耕地整理法第二十五條第二項又ハ第二十五條ノ二第二項ノ訴訟當事者アルトキ

ハ其ノ氏名若ハ名稱、住所及訴訟ノ要領

第三十四條 土地原籍又ハ權利者名簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ更正スヘシ

第三十五條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル設計書規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ノ認可申請書ニハ其ノ事由ヲ記載シ之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

事業ヲ廢止シ、債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更シ又ハ整理施行地區ヲ減少セムトスル場合ニ於テ借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ  
整理施行地區ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セララルヘキ土地又ハ水面ノ整理施行者タルヘキ者又ハ整理施行者タル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ變更カ豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ但シ第二十八條ノ規定ハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セララルヘキ土地又ハ水面ニ付之ヲ準用ス

第三十六條 一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲サムトスルトキハ認可申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ協議一致ヲ證スル書面、規約、數人共同ノ施行ト爲ス爲メ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面及第二十八條第一項第三號、第四號



ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十七條 數人共同シテ施行スル耕地整理ニシテ整理施行者カ一人ト爲リタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十八條 第二十二條ノ規定ハ耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレ又ハ之ヲ郡、市町村若ハ水利組合ニ引繼キタル場合ニ之ヲ準用ス

### 第三章 耕地整理組合

第三十九條 耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ土地原簿及組合員名簿ヲ調製スヘシ

第四十條 土地原簿ニハ第三十二條ニ掲クル事項ノ外耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示ヲ爲スヘシ

第四十一條 第三十三條ノ規定ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十二條 第三十四條ノ規定ハ耕地整理組合ノ土地原簿又ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十三條 耕地整理法第五十條ノ條件ヲ算定スル場合ニ於テハ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ハ之ヲ算入セス

第四十四條 耕地整理組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載ヘヘシ

一 第二十八條第一項第二號、第五號、第六號ノ事項及第三號、第四號ニ準スル事

### 項

二 耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示

前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

一 組合員タルヘキモノニシテ組合設立ニ同意シタル者ノ總數及其ノ土地水面ノ總面積及總地價並其ノ同意ヲ證スル書面

二 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許又ハ同意アリタルコトヲ證スル書面

三 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者、關係人及其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面

四 特別ノ價值又ハ用途ヲ有スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者及關係人ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得サルトキハ其ノ價值又ハ用途、土地所有者及關係人ノ氏名若ハ名稱竝同意セサル事由及之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサル事由ヲ記載シタル書面

五 組合員タルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者アルトキハ土地所有者及賃貸人ノ同意ヲ證スル書面



六 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ許可ヲ證スル書面

第四十五條 組合設立ノ認可アリタルトキハ申請者ハ遲滯ナク總會ヲ招集スヘシ

前項ノ總會ニ於テハ組合長、組合副長、評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ評議員ノ選舉竝組合設立ニ關スル費用其ノ他必要ナル事項ニ付表決ヲ爲スヘシ

第四十六條 組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ノ認可申請書ニハ總會組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

前項選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附シ特別ノ事情ニ依リ組合員ニ非サル者ヲ選任シタル場合ニ於テハ尙其ノ事情ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第四十七條 組合長ノ就任アリタルトキハ組合設立ノ認可申請者ハ遲滯ナク組合ニ關スル一切ノ事務及書類、帳簿ヲ之ニ引繼クヘシ

第四十八條 耕地整理法第四十七條ノ規定ニ依ル代表者アルトキハ組合長ハ其ノ氏名住所若ハ居所ヲ組合名簿ニ記載スヘシ

第四十九條 組合會ハ百人以上ノ組合員ヲ有スル組合ニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

組合會ヲ設クケムトスルトキハ規約中ニ議員ノ定數竝任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第五十條 組合會議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

第五十一條 組合會ニ於テハ第四十五條第二項ノ表決ヲ爲シ又ハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス事ヲ得ス

第五十二條 組合會議員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

第五十三條 組合會ニ於テ耕地整理法第五十四條第一項又ハ第六十一條第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ組合會議員總數ノ過半數ノ同意アルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第五十四條 組合會議員ハ組合會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十五條 總會又ハ組合會ハ少ナクモ毎事業年度一回之ヲ開クヘシ

第五十六條 耕地整理法第五十五條第一項ノ總會議ニ於テハ編入區域ノ土地所有者ハ其ノ編入區域ノ土地所有者ニ非サル者ヲ以テ代理人ト爲スコトヲ得ス

第五十七條 代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合設立ノ設可申請者又ハ組合長ニ差出スヘシ

第五十八條 評議員ハ三人以上トス

評議員ハ組合長又ハ組合副長ト相兼スルコトヲ得ス



評議員總數ノ五分ノ一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ  
組合長カ前項招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル評議員ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得

評議員會ノ議事ハ評議員ノ半數以上出席シ其ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第六十條 組合設立ノ認可申請者、組合長、組合副長、評議員及組合會議員ハ規約ニ別段ノ規定アルニ非サレハ給料報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第六十條ノ二 組合ハ耕地整理法第七十三條第四項ノ規定ニ依リ指定セラレタル臨時代理者ニ給料及旅費等ヲ支給スヘシ但シ臨時代理者官吏ナルトキハ給料ヲ支給スルコトヲ要セス

第六十一條 總會、總會議、組合會及評議員會ノ議長ハ組合長之ニ當ル但シ第四十五條ノ總會ニ在リテハ認可申請者ノ一人、耕地整理法第五十五條ノ總會議ニ在リテハ編入區域ノ土地所有者ノ一人ニ當ル

評議員會カ業務又ハ財産ノ狀況ノ監査ニ關スルトキハ評議員ノ一人其ノ議長ト爲ル  
第五十九條第三項ニ依ル評議員會ニ付亦同シ

第六十二條 總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議長ハ會議ノ議事録ヲ作りテ左ノ

事項ヲ記載シ之ニ議長及出席シタル組合員編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員二人以上記名捺印スヘシ

一 開會ノ日時及場所

二 組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員ノ現在總數及出席シタル者ノ氏名若ハ名稱

三 議事ノ要領

四 表決シタル事項

五 賛否ノ數

耕地整理法第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要スル表決ヲ爲ス總會又ハ總會議ノ議事録ニハ前項エ記載シタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 組合ノ地區若ハ編入區域内ノ土地ノ所有者總數、總面積及總地價

二 賛成者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ總面積及總地價

總會又ハ總會議ノ表決ニ付規約ノ規定ニ依リ特別ノ條件ヲ具備スルコトヲ必要トスル場合ニ於テ前二項ニ依ル記載ニシテ其ノ條件ヲ具備シタルコトヲ明ニスルコト能ハサルトキハ之ヲ示スヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十三條 組合長ハ耕地整理法第五十五條ノ規定ニ依ル總會議ヲ開カムトスルトキ



ハ招集ノ通知ヲ發スル日ヨリ少ナクモ十日前三日間編入區域ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ編入セムトスル區域及總會議ノ日時、場所及目的ヲ揭示スヘシ

#### 第六十四條 (削除)

第六十五條 耕地整理法第五十四條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ノ事由及之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シ總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更セムトスル場合ニ於テ組合債アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面組合ヲ解散セムトスル場合ニ於テハ尙事業報告書及收支決算書ヲ添附スヘシ

第四十四條ノ規定ハ第二項第一號ヲ除クノ外地區變更ノ認可申請ノ場合ニ於テ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除外セラルヘキ土地ニ付之ヲ準用ス但シ其ノ變更カ豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ總會議ニ代ヘタル場合ニ於テハ同意シタル土地所有者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ面積、地價ヲ記載シタル書面並其ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第六十五條ノ二 土地所有者ニ非スシテ組合員タルヘキ者ハ第五十六條、第六十一條

第六十二條及前條ノ適用ニ付テハ之ヲ編入區域ノ土地ノ所有者ト看做ス

第六十六條 組合カ耕地整理法第五十三條第一項第一號、第二號、第七號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ組合長又ハ最終ニ組合員タリシ者ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ添付シテ其ノ旨ヲ遲滯ナク地方長官ニ届出ツヘシ

第六十七條 組合カ耕地整理法第五十三條第一項第四號乃至第六號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ遲滯ナク組合長ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第六十八條 組合カ合併シタルトキハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ハ合併後存續シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第六十九條 清算結了シタルトキハ組合長ハ遲滯ナク清算ニ關スル報告書ヲ作り之ヲ總會員ニ報告シ且之ヲ添附シテ清算結了ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

#### 第四章 耕地整理組合聯合會

第六十九條ノ二 耕地整理組合聯合會ヲ設ケムトスルトキハ各組合連署ヲ以テ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ各組合ノ聯合會設立ニ關スル議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十九條ノ三 第四十六條、第四十七條、第六十條、第六十條ノ二、第六十五條第一項、第二項及第六十六條乃至第六十九條ノ規定ハ耕地整理組合聯合會ニ之ヲ準用ス



第七十條 本則ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年農務省令第十四號ハ之ヲ廢止ス

第七十一條 耕地整理法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タルモノニ付テハ本則第四條、第十條、第十一條、第十二條ノ二、第十七條ノ二、第十七條ノ三、第十九條乃至第二十三條、第二十七條及第三十八條ノ規定ヲ準用スルノ外舊則ノ規定ヲ適用ス但シ舊則第三十一條中農商務大臣トアルハ地方長官トス

第七十二條 耕地整理法施行前耕地整理ノ發起ノ認可ヲ得タル者ヲ耕地整理組合ト爲サムトスルトキハ發起人又ハ整理委員ハ總會ヲ召集シテ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ竝組合長、組合副長、評議員ヲ置クモノニ在リテハ評議員ヲ選舉シ總會ノ議事録ヲ添附シテ大正二年十月十五日迄ニ耕地整理組合ト爲スノ認可ヲ地方長官ニ申請スヘシ

前項ノ總會ニハ耕地整理法及本則ノ規定ヲ適用ス

耕地整理法第七十三條第三項ノ認可申請ハ第一項ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ本則則第四十六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第七十三條 前條ノ場合ニ於テ百人以上ノ參加土地所有者アルトキハ發起人又ハ整理委員ハ總代選舉規定ヲ作リテ地方長官ノ認可ヲ得タル後其ノ選舉規定ニ依リ選舉シタル總代ヲ以テ組織スル總代會ヲ召集シ總會ニ代フルコトヲ得

前項ノ總代會ニハ耕地整理法第六十六條、第六十八條第一項竝本則第五十二條、第五十三條及第六十二條第一項ノ規定ヲ準用ス

第七十四條 前二條ノ總會又ハ總代會ニ在リテハ第七十二條ニ記載シタル事項ノ外必要ナル事項ヲ表決スルコトヲ得

第七十五條 耕地整理法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ニシテ耕地整理組合設立ノ申請ト爲サムトスルトキハ發起人ハ參加土地所有者ノ總會議ヲ召集シ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ總會議ノ議事録ヲ添附シ明治四十三年四月十五日迄ニ耕地整理組合設立ノ申請ト爲ス旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第七十二條第二項及第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條 第七十二條第一項ノ認可申請又ハ前條ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ耕地整理法第四十三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲ス事ヲ要スルモノニ付テ



ハ本則第七條及第四十四條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ大正三年法律第三二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正四年六月一日ヨリ施行)  
本令施行前耕地整理法第三十條第三項又ハ舊耕地整理法第四十八條ノ認可アリタルモノニシテ未タ耕地整理法第三十六條ノ登記ノ申請ヲ爲ササルモノニ付テハ地方長官ハ第十七條ノ二及第十七條ノ三ニ準シテ管轄登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ  
本令ハ大正八年法律第四十五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正八年六月一日ヨリ施行)

### 三一、耕地整理登記令

(明治四十二年十月)  
(勅令第二三三號)

沿革 大正二年第九二號 同四年第八〇號改正

第一條 耕地整理法第三十七條ノ規定ニ依ル土地及建物ニ關スル登記ノ特令ニ付テハ本令ニ依ル

第二條 耕地整理ニ依ル土地ニ關スル登記ハ整理施行地區内ノ従前ノ土地既登記ナルカ又ハ従前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ既登記ノモノアルトキ換地ニ付之ヲ爲ス整理施行後其ノ上ニ既登記ノ地役權存續

スヘキ換地ニ付亦同シ

第三條 (削除)

第四條 土地ニ關スル登記ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ整理施行者又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スヘシ

- 一 従前ノ土地及換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
- 二 従前ノ土地並換地ノ地目及段別若ハ坪數
- 三 換地ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所
- 四 耕地整理ニ依リテ登記ヲ申請スル旨
- 五 登記所ノ表示
- 六 年月日

第五條 換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スル場合ニ於テハ申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ尙地役權換地ノ一部ニ付存スルトキハ其ノ部分ヲ表示シタル圖面ヲ添付スヘシ

- 一 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
- 二 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ地目及段別若ハ坪數
- 三 耕地整理施行前ニ於ケル換地ノ所有者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱



## 及事務所

四 地役權換地ノ一部ニ付存スルトキハ其ノ部分及符號

第六條 従前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ申請書ニ其ノ權別又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ交付シタル換地ノ部分及其ノ部分ノ符號ヲ記載スヘシ

第七條 従前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付セサル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第七條ノ二 従前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ未登記ノモノアルトキハ申請書ニ其ノ未登記ナル旨ヲ記載スヘシ未登記ノ従前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ換地ニ地役權ノ登記アルトキ亦同シ

第八條 耕地整理ニ依ル土地ノ登記ノ申請ハ整理施行地區ノ全部ニ付同一ノ申請書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區毎ニ之ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ換地ニ付權利ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ必要トスルトキ其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ケス

前項ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ整理施行地區カニ以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ノ申請ニ關シテハ司法大臣ノ定ムル所ニ依ル

第八條ノ二 耕地整理ニ依ル土地ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テ必要アルトキハ整理施行者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代リ土地ノ表示若ハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

第八條ノ三 不動産登記法第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及第六十三條ノ三ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第八條ノ四 第八條ノ二ノ場合ニ於テハ登記原因及登記ノ目的カ異ナルトキト雖同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得

第八條ノ五 耕地整理法第三十條第四項ノ告示アリタル後ハ整理施行地區内ノ土地ニ關シテハ耕地整理ニ因ル登記ヲ爲シタル後ニ非サレハ他ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス但シ申請人確定日附アル書面ニ依リ告示前ニ登記原因ノ生シタルコトヲ證明シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 従前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ従前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記



載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スヘシ

従前ノ土地ノ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ登記官更ハ従前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ従前ノ土地中其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タリシ部分ヲ指定シテ交付シタル換地ノ部分ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ變更シタル旨ヲ附記シ之ニ相當スル従前ノ表示ヲ朱抹スヘシ

換地ニ地役權ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ従前ノ土地ノ登記用紙中乙區事項欄ニ其ノ登記ヲ移シ其ノ登記ノ末尾ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ但シ耕地整理ニ依リ其ノ登記中ニ記載シタル要役地若ハ承役地ノ表示、地役權ノ範圍又ハ地役權ノ存スル土地ノ部分ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ變更ヲ附記シ之ニ相當スル従前ノ表示ヲ朱抹スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ地役權ニ關スル登記アル土地ノ登記用紙中乙區事項欄ニ耕地整理ニ因リテ地役權ニ關スル登記ヲ登記何號ニ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ前ノ登記ヲ朱抹シ捺印スヘシ

**第十條** 従前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ従前ノ數箇ノ土地中其ノ一箇ノ登記用紙ニ於ケル表示欄ニ換地及従前ノ土地ノ表示ヲ爲シ他ノ登記用紙ニ登記シタル従前ノ土地ニ付テハ其ノ登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ

因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ他ノ従前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示、其ノ番號及登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

**第十一條** 前條ノ場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ他ノ從

前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其ノ登記ハ従前ノ數箇ノ土地中某土地ノミニ關スル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

従前ノ數箇ノ土地中ニ未登記ノモノアルトキハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ其ノ土地ヲ表示シテ所有權保存ノ登記ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ其ノ土地ヲ指定シテ交付シタル換地ノ某部分ノミニ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

他ノ従前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルト



キハ登記官吏ハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ移シ其ノ土地ヲ指定シテ交付シタル換地ノ某部分ノミ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第十一條ノ二 前條ノ規定ニ依リ他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權其ノ他ノ權利ニ關スル登記ヲ移ス場合ニ於テ登記原因其ノ日附登記ノ目的及受附番號カ同一ナルトキハ從前ノ土地ノ登記用紙ニ於ケル登記番號ノミヲ轉寫シ各登記番號ノ土地ニ付同一事項ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第十二條 從前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ一箇ノ換地ノ表示ヲ爲シ他ノ換地ニ付登記何號ニ登記ヲ爲シタル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ抹スヘシ

從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ相當區事項欄ニ他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第十三條 前條ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ他ノ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其

ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ他ノ換地ニ付登記何號ニ登記シタル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ  
換地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ其ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ付テハ他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第十四條 第九條第二項乃至第四項ノ規定ハ從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シ又ハ從前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 未登記ノ從前ノ土地ニ對スル換地ニ地役權ノ登記アル場合ニ於テハ登記官吏ハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スヘシ



第九條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 従前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付セサル場合ニ於テハ登記官吏ハ土地ノ滅失ト看做シ登記用紙中表示欄ニ換地ヲ交付セサル事由ヲ記載シ土地ノ表示、其ノ番號及登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第十七條 前條ノ場合ニ於テ従前ノ土地他ノ土地ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ他ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ従前ノ土地ノ表示ヲ爲シ換地ヲ交付セサル事由ヲ附記シ其ノ土地ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中従前ノ土地ノ表示ヲ朱抹スヘシ  
他ノ土地ノ所在地他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク前項ノ登記ヲ其ノ登記所ニ囑託スヘシ

前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク第一項ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第十八條 耕地整理ヲ施行スル爲國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ不用ニ歸シタル既登記ノ土地ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付シタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク其ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第十九條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル従前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ

交附シタル場合ニ於テハ甲登記所ハ既登記ノ土地ニ付テハ其ノ土地ニ關スル登記簿ノ謄本及附屬書類若ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送シ未登記ノ土地ニ付テハ其ノ未登記ナル旨ヲ乙登記所ニ通知スヘシ但シ登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫スヘシ

前項ノ場合ニ於テ甲登記所ハ従前ノ土地ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第二十條 前條ノ場合ニ於テ従前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交附シタルトキハ乙登記所ハ換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記ノ末尾ニ前登記區劃ノ表示ヲ爲シ前登記番號及耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

換地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ登記簿ノ謄本ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記簿ノ謄本ニ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ登記簿ノ謄本ヨリ其ノ權利及處分ノ制限ニ關スル従前ノ登記ヲ移シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スヘシ

第二十一條 第九條第二項乃至第四項ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス



第二十二條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地及從前ノ土地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第九條第二項乃至第四項第十一條及第十一條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第二十三條 甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地一箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ乙登記所ハ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ其ノ登記ノ末尾ニ前登記區劃ノ表示ヲ爲シ前登記番號及耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ  
第九條第二項乃至第四項及第十三條第二項、第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條ノ二 第十條及第二十二條ノ規定ハ甲乙兩登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス  
第二十三條ノ三 第十二條及第二十三條ノ規定ハ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地

一箇ニ對シ甲乙兩登記所ノ管轄内ニ於テ數箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス  
第二十四條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ町村其ノ他登記簿ヲ分設シタル甲登記區劃ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ換地トシテ乙登記區劃ニ屬スル土地ヲ交付シタルトキハ登記官吏ハ乙登記區劃ノ登記簿ニ其ノ換地ニ關スル登記ヲ爲スヘシ  
第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
乙登記區劃ノ登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ甲登記區劃ニ屬スル從前ノ土地ノ登記用紙ハ之ヲ閉鎖スヘシ

第二十四條ノ二 第二十三條ノ二及第二十三條ノ三ノ規定ハ同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ町村其ノ他登記簿ヲ分設シタル甲乙兩登記區劃ニ屬スル從前ノ土地數箇ニ對シ換地トシテ乙登記區劃ニ屬スル一箇ノ土地ヲ交付シ又ハ甲登記區劃ニ屬スル從前ノ土地一箇ニ對シ換地トシテ甲乙兩登記區劃ニ屬スル數箇ノ土地ヲ交付シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條ノ三 換地ニ付登記ヲ爲ス場合ニ於テ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權其ノ他ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキハ現ニ効力ヲ有スル登記ノミヲ移シ又ハ轉寫スルコトヲ得

第二十五條 從前ノ土地舊登記簿ニ登記シタルモノナル場合ニ於テ本令ニ依リ登記用



紙ヲ閉鎖スヘキトキハ舊登記簿ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十六條 耕地整理ニ依ル建物ニ關スル登記ハ耕地整理施行ノ爲既登記ノ建物ノ分合其ノ番號若ハ構造ノ變更其ノ滅失其ノ建坪ノ増減又ハ建物ノ新築アリタルトキ之ヲ爲ス登記シタル建物ノ整地ノ番號ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十六條ノ二 第八條ノ二乃至第八條ノ四ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十七條 耕地整理法第三十六條ノ規定ニ依リ整理施行者ノ爲スヘキ建物ニ關スル登記ノ申請ハ土地ニ關スル登記ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第二十八條 登記官吏土地及建物ニ關スル登記ヲ完了シタルトキハ其ノ旨整理施行者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ通知ヲ受クヘキ者共同施行者ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミニ通知スルヲ以テ足ル

第二十九條 登記官吏第十五條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及従前ノ土地ノ表示、耕地整理ニ因リテ所有權及地役權ニ關スル登記ヲ爲シタル旨ヲ換地ノ所有者ニ通知スヘシ

附 則

第三十條 本令ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

整理地登記規則ハ之ヲ廢止ス

第三十一條 舊耕地整理法第四十八條ノ認可アリタル土地ノ登記ニ關シテハ第七條乃至第八條ノ五、第十一條ノ二及第十六條乃至第二十四條ノ三ノ規定ヲ準用スルノ外整理地登記規則ヲ適用ス但シ同規則第三條第二號及第三號ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令ハ大正四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ登記所ノ受附タル事件ハ従前ノ規定ニ依リ完結ス

三三、耕地整理登記令施行細則

(明治四十二年十月  
司法省令第二二號)

沿革 大正二年第一六號 同四年第四號 同五年第二五號改正

第一條 耕地整理登記令ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 整理施行地區カ二以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ土地ニ關スル登記ノ申請ハ各登記所ノ管轄ニ屬スル地域毎ニ之ヲ爲スヘシ



第三條 (削除)

第四條 耕地整理登記令第五條ノ規定ニ依リ登記ノ申請書ニ添附スヘキ圖面ニハ換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號並方位及地役權ノ存スル換地ノ部分ノ段別若ハ坪數並其ノ部分ノ符號ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

第五條 耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ依ル地方長官ノ通知書及左ニ掲タル添附書類ハ之ヲ申請書ニ合綴シ別冊ト爲スヘシ

- 一 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本
- 二 整理施行者ノ氏名、住所又ハ名稱及事務所ヲ記載シタル書面
- 三 換地説明書
- 四 整理確定圖

前項ノ通知書及第一號乃至第三號ノ書類ハ申請書受付ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ但シ耕地整理登記令第八條第二項ノ規定ニ依リ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ最後ノ申請書受付ノ日ヨリ之ヲ起算スヘシ

第六條 第四條ノ圖面ニハ申請書受付ノ年月日、受付番號及登記番號ヲ記載シ前條ノ書類ニ之ヲ合綴スヘシ

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第六條ノ二 整理確定圖ニハ申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ但シ整理施行地區内ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ記載スヘシ

第六條ノ三 第五條第三項ノ整理確定圖ノ番號ハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ、第六條第二項ノ圖面ノ番號ハ乙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第七條 耕地整理登記令第十一條第二項ノ場合ニ於テ未登記ノ從前ノ土地カ二箇以上ナルトキハ其ノ土地ヲ併記シテ所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第八條 耕地整理ニ因ル登記ヲ完了シタルトキハ從來ノ土地登記見出帳ノ全部又ハ一部ヲ改製スヘシ但シ整理施行地區内ノ土地寡少ナルカ爲改製ヲ要セサルトキハ不動産登記法施行細則第八條ノ規定ニ從ヒ見出帳ノ整理ヲ爲スコトヲ得

第九條 耕地整理登記令第八條ノ三、第十九條第一項、第二十六條ノ二、第二十八條第二十九條及第三十一條ノ通知事項、通知ヲ受クヘキモノ及通知ヲ發スル年月日ハ不動産登記法施行細則第十四條第十三號ノ通知簿ニ之ヲ記入スヘシ

第十條 耕地整理登記令第八條ノ三、第二十六條ノ二、第二十八條、第二十九條及第



三十一條ノ通知ハ郵便其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十一條 耕地整理登記令第二十九條ノ通知ハ換地カ共有ナル場合ニ於テハ共有者ノ一人ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

第十二條 耕地整理法第九條ノ規定ニ依ル登記簿及其ノ附屬書類ノ謄寫ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第十三條 耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

附 則

本令ハ明治四十二年十月十六日ヨリ之ヲ施行ス

整理地登記取扱手續ハ之ヲ廢止ス但シ第六條ノ二ノ規定ハ舊耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行シタル土地ノ登記ニ關シテ仍効力ヲ有ス

### 三三三、土地區劃整理ノ施行ニ關スル件

沿革 昭和四年第二號改正

(大正十二年內務省令第二二號)

土地區劃整理ノ施行ニ關シテハ明治四十二年農商務省令第三十九號耕地整理法施行規則ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 三四、都市計畫法ニ依ル土地區劃整理

ニ關スル登記ノ件 (大正八年十一月二十八日勅令第四八四號)

耕地整理登記令ハ都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ノ地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正九年一月一日ヨリ施行)



### 三五、耕地整理登記令施行細則準用

方ノ件 (大正八年十一月二十八日  
司法省令第一八號)

明治四十二年司法省令第二十一號耕地整理登記令施行細則ハ土地區劃整理地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ之ヲ準用ス  
本令ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 三六、耕地整理法第一條ノ解釋ニ關スル件

◎都市計畫課長回答(昭和二年九月二十  
六日收第二五〇號)

九月六日付都市第四三七號ヲ以テ伺出有之候土地區劃整理ノ事業トシテ施設スル公園ハ耕地整理法第一條第一號ニ該當スルモノト御了知相成度

理由(略)

大阪府知事照會(昭和二年九月六日  
日都第四三七號)

曩ニ都市計畫主任官會議ニ於テ土地區劃整理地區内ニ於ケル公園敷地留保ノ件御指示

ノ次第モ有之候處右公園ノ敷地造成及其ノ施設經營ハ耕地整理法第一條ノ事業ノ範圍ニ含マレサルヲ以テ土地區劃整理ノ事業トシテハ之ヲ執行シ得サルモノト解セラレ候モ聊カ疑義有之候條至急何分ノ御指示相仰度候也

### 三七、道路附近ノ收用ニ屬セサル殘存土地土地區劃整理トシテ取扱方ノ件

◎都市計畫課長通牒(大正十一年二月二十  
日都第六〇號ノ内)

該問ノ場合一小局部ト雖成ルヘク市街宅地トシテノ利用ヲ増進セシムヘキ方針ナリ

◎京都市長照會(大正九年五月一日  
工第九九〇號ノ内)

都市計畫法施行以前ニ於テ道路敷設等ノ爲收用セル土地ニシテ其ノ收用ニ屬セサル殘存土地カ道路ニ沿ヒ狹長ナル帶地トナリ市街宅地トシテノ利用上殆ト其ノ効ヲ失シ若ハ著シク其ノ効用ヲ減殺セリ之ヲ後方ニ連續セル土地ト併合スルコトヲ得ル時ハ完全ニ市街宅地トシテノ効用ヲ爲スヘキモ各其所有主ヲ異ニシ併合ノ協議調ハサルモノアリ又今後施行スヘキ都市計畫ニ於テモ之等ノ事實ヲ生スルノ場合アルヘシ此場合ニ於



テ前者ハ都市計畫法第十二條ニ依リ後者ハ同法第十六條第二項同施行令第二十二條ニ依リ土地區劃整理ヲ爲シ得ヘシト解セラレモ都市計畫法ノ運用上之等一小局部ニ對シテモ進テ本法ヲ適用シ成ルヘク市街宅地ノ利用ニ努ムヘキ方針ナルヤ或ハ右所有者ノ自由處置ニ任スヘキ御趣意ナル哉

### 三八、土地區劃整理組合設立認可ニ關スル訴願裁決ノ件

(裁決書)

阪都第一八號

大阪市北區善源寺町一丁目八十二番地

訴願人 馬 淵 儀 三 郎

大阪市北區善源寺町一丁目八十二番地

訴願人 馬 淵 德 三 郎

本訴願ノ要旨ハ大阪市北區澤上江町一丁目十一番地山野平一外九名ノ申請ニ依リ大正

十四年五月六日大阪府知事ニ於テ認可ヲ與ヘタル都島土地區劃整理組合ノ地區ニ編入セラレタル訴願人所有ノ土地ハ訴願人ニ於テ大正十二年三月以降住宅地トシテ利用スル目的ヲ以テ上下水道ノ敷設地揚工事等ノ改良工事ヲ施シ既ニ其ノ一部ハ他人ニ賃貸シ家屋建築セラレタルニ因リ附近一般ノ土地ト異リ特別ノ價值及用途アル土地ナリ從テ耕地整理法第四十四條ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ土地ナルニ拘ラス同法第五十條ノ規定ニ依リ強制編入ヲ爲シタルハ違法ナリ依テ都島土地區劃整理組合設立ノ認可申請ニ對シテ與ヘタル大阪府知事ノ處分ハ之ヲ取消ストノ裁決ヲ求ムト謂フニ在リ然リト雖訴願人カ上下水道ノ敷設地揚工事等ヲ爲シタルハ單ニ宅地利用ノ爲ニスル普通一般ノ施設ニシテ之カ爲ニ土地ニ特別ノ價值ヲ生スルモノニ非ス又之ヲ賃貸スト雖是宅地トシテ收益ヲ計ル普通ノ方法タルニ過キスシテ之ヲ以テ特別ノ用途アル土地ナリトナスコトヲ得ス故ニ本件土地ハ耕地整理法第四十四條ニ該當スルモノニ非サルニ依リ大阪府知事カ同法第五十條ノ規定ニ基キテ與ヘタル都島土地區劃整理組合設立ノ認可ハ不法ニ非サルモノトス

右ノ理由ニ依リ裁決スルコト左ノ如シ  
大正十四年五月六日大阪府知事ノ爲シタル處分ハ取消スヘキ限ニ在ラス  
大正十四年十月十三日



内務大臣 若槻 禮次郎

三九、土地區劃整理獎勵規程(昭和四年五月四日 靜岡縣令第四七號)

- 第一條 都市計畫法第十二條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ヲ施行セムトスル者ニハ本令ノ定ムル所ニ依リ助成トシテ設計調査工事監督又ハ事務指導ヲ行フ
- 第二條 前條ノ助成ニ要スル費用ハ縣ノ負擔トス但シ都合ニ依リ其ノ一部又ハ全部ヲ申請人ニ負擔セシムルコトアルヘシ
- 第三條 設計調査ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ別記第一號様式ニ依リ所轄市役所町村役場ヲ經テ知事ニ申請スヘシ
- 第四條 市長町村長前條ノ書類ヲ受理シタルトキハ調査ノ上意見ヲ附シ進達スヘシ
- 第五條 設計調査完了シタルトキハ設計書ヲ申請者ニ交付ス
- 前項設計書ノ交付ヲ受ケタルトキハ六月内ニ整理施行ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第六條 設計書ノ交付ヲ受ケタル地區ニシテ工事監督員又ハ事務指導員ノ派遣ヲ要スルトキハ別記第二號様式ニ依リ所轄市役所町村役場ヲ經テ知事ニ申請スヘシ
- 第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ費用ノ一部又ハ全部ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

ルヘシ

- 一 中途設計調査ノ出願ヲ取消シタルトキ
- 二 整理施行若ハ組合設立ノ認可後六月ヲ經ルモ工事ニ着手セサルトキ
- 三 知事ノ指揮命令ニ從ハサルトキ
- 四 正當ノ事由ナクシテ豫定期間内ニ工事ヲ完了セサルトキ
- 五 法令ノ規定ニ依リ組合ノ解散ヲ命セラレ又ハ整理施行ノ認可ヲ取消サレタルトキ
- 六 其ノ他本令ニ違反シタルトキ

(第一號様式)

土地區劃整理設計調査申請

- 一 調査ノ地區
- 二 地區内總面積
- 三 事業ノ目的
- 四 工事着手ノ豫定期

本般右ノ土地土地區劃整理施行致度候條設計調査相成度地形略圖添附此段及申請候也

年 月 日

申請者 住所 氏名 印



知事宛

(第二號様式)

工事監督員(事務指導員)派遣申請

- 一 地區名
- 二 工事着手年月日
- 三 工事竣工豫定年月日
- 四 工事施行面積

今般前記ノ通土地區劃整理施行致度候ニ付監督員(事務指導員)御派遣相成度此段申請候也

年 月 日  
 土地區劃整理組合長(土地區劃整理委員長又ハ施行者) 氏 名 印

### 四〇 國有地土地區劃整理施行地區編入其

#### ノ他申請手續ニ關スル件(昭和四年五月四日 静岡縣令第四八號)

國有地ヲ土地區劃整理地區ニ編入其ノ他ノ申請ニ關シテハ大正四年一月静岡縣令第二

號國有地耕地整理施行地區編入其ノ他申請手續ヲ準用ス

國有地耕地整理施行地區編入其ノ他申請手續(大正四年一月静岡縣令第二號)

第一條 內務省主管ニ屬スル國有地ヲ耕地整理施行地區ニ編入ノ認可ヲ受ケムトスルモノ又ハ耕地整理事業トシテ施設セムトスル工事其ノ他ノ行為ニシテ法令ノ規定ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケルコトヲ要スルモノハ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可申請書ニ之ヲ併記スヘシ

第二條 前條併記ニ係ル事項中內務省主管ニ屬スル國有地ニシテ耕地整理施行地區ニ編入セムトスル者ニ對シテハ各筆ニ付大字、字、番號、地目及面積ヲ記載シ其ノ地番ナキモノニ付テハ大字毎ニ地目別合計面積ヲ記シタル書面ヲ添附スヘシ

前條併記ニ係ル事項中工事其ノ他ノ行為ニシテ法令ノ規定ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケルコトヲ要スルモノニ對シテハ之ニ關シ定メラレタル書面及圖面ヲ添附スヘシ但シ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立認可申請書ニ添附ノ書面及圖面ヲ以テ併用シ得ル部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條 第一條ノ申請ニ對シ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ地區内ニ編入及工事其ノ他ノ行為ニ付許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做



ス

第四條 前三條ノ規定ハ耕地整理施行地區並設計書變更ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ同法第十一條第一項及第二項ノ土地ノ面積及其ノ見積價額ヲ大字毎ニ地目別ニ合計シ其ノ書類ヲ添附スヘシ

第六條 前條ノ申請ニ對シ認可ヲ受ケタルトキハ耕地整理法第十一條ノ規定ニ依ル交付及編入ノ手續ヲ了シタルモノト看做ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 四一、土地區劃整理會計規程ニ關スル件

(昭和四年五月四日 耕農縣令第四九號)

土地區劃整理共同施行者又ハ土地區劃整理組合ノ會計事務處理ニ關シテハ大正五年二月靜岡縣令第八號耕地整理會計規程ヲ準用ス

參 照

耕地整理會計規程 (大正五年二月靜岡縣令第八號)

第一條 耕地整理共同施行者又ハ耕地整理組合ハ本規程ニ依リ會計ニ關スル事務ヲ處理スヘシ

第二條 耕地整理事務所ニハ會計ニ關シ左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ但シ該當ノ事項ナキトキハ適宜省略スルコトヲ得

- 一 收支豫算及同決算簿 第一號樣式 第二號樣式
- 二 收入明細簿 第三號樣式
- 三 支出明細簿 第四號樣式
- 四 現金出納簿 第五號樣式
- 五 費用徵收簿 第六號樣式
- 六 夫役(現品)賦課簿 第七號樣式
- 七 滯納整理簿 第八號樣式
- 八 消耗品受拂簿 第九號樣式
- 九 郵便切手受拂簿 第九號樣式
- 一〇 借入金臺帳 第十號樣式



- 一一 保證金整理簿
- 一二 備品臺帳
- 一三 前各號ノ外補償金清算金人夫使用等ニ關シ必要ナル帳簿
- 前項第一號乃至第九號ノ帳簿ハ事業年度毎ニ新ニ調製シ又ハ記入ヲ更新スヘシ
- 第三條 規約ヲ以テ地區ヲ數區ニ區分シタル場合ニ於テハ收支豫算及同決算ハ各區並各區共通ノモノニ區分スヘシ
- 第四條 金錢ノ支拂ヲ爲シタルトキハ正當領收證ヲ徵シ領收證ヲ徵シ難キモノニ在リテハ其ノ事由ヲ明記シタル支拂證明書ヲ作製シ其ノ餘白ニ用途ヲ朱記スヘシ
- 第五條 證憑書類ハ科目毎ニ區分シ金額及證書紙數ヲ表記シ年度別ニ編綴保管スヘシ
- 第六條 耕地整理法施行規則第二十一條ニ依リ定メタル收支豫算ハ事業年度開始前知事ニ報告スヘシ但シ其ノ追加更正ヲ爲シタルトキ及初年度ニ係ル豫算ハ議決後十日以内ニ之ヲ爲スヘシ
- 耕地整理法施行規則第二十二條ノ收支決算書ハ事業年度經過後三十日以内ニ提出スヘシ
- 第七條 借入金ヲ爲シタルトキハ其ノ都度左ノ事項ヲ知事ニ報告スヘシ
- 一 借入金金額

- 二 借入先
- 三 借入ノ方法
- 四 利率
- 五 償還ノ方法
- 第八條 會計ニ關スル諸帳簿及證憑書類ハ組合又ハ地區ノ存續期間中保存スヘシ
- 附 則
- 第九條 本令ハ大正五年四月一日ヨリ施行ス
- 第十條 本規程ハ一人ニテ施行スル耕地整理及明治四十二年十月十五日以前ニ於テ耕地整理ニ關シ發起認可ヲ得タルモノニ之ヲ準用ス
- 第十一條 第六條ニ依ル收支豫算ノ報告ハ大正四年度ニ限り本令施行後十日以内ニ之ヲ爲スヘシ
- 第一號乃至第十二號様式(略)



## 四二、都市計畫法第十三條ノ土地區劃 整理施行ニ關スル件

○都市計畫課長回答(昭和二年十月二十一日阪都第二八號)

八月十一日付都甲第一一九三號ヲ以テ伺出相成候都市計畫法第十三條ノ土地區劃整理施行ニ關シテハ内務大臣都市計畫事業トシテ公共團體ニ執行ヲ命シタル後ニ於テ同一土地ニ付土地所有者又ハ關係人ヨリ土地區劃整理施行ノ認可又ハ土地區劃整理組合設立ノ認可申請アリタルトキハ場合ニ依リ之ヲ認可スルコトヲ得ル義ニ有之候條此段及回答候也

由(省略)

○大阪市長照會(昭和二年八月十一日都甲第一一九三號)

「都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ハ認可後一年以内ニ其ノ施行ニ着手スル者ナキ場合ニ於テハ公共團體ヲシテ都市計畫事業トシテ之ヲ施行セシム」トハ都市計畫法第十三條ノ規定スル所ナルモ同法施行令第十五條カ公共團體ノ土地區劃整理ノ施行ヲ内務大臣ノ命令ニ俟ツコト、セシニ視レハ法第十三條ハ總體的ノ規定ニ

非ス一ニ内務大臣ノ裁量ニ一任シタルモノナルヘク從テ法定期間タル一ケ年經過後又ハ公共團體ニ對シ施行命令ヲ發セラレタル後ト雖未タ施行年度ニ達セサル場合若ハ受命公共團體カ其ノ執行ニ着手セサルニ先チ土地所有者等ヨリ施行認可ノ申請アリタルトキハ其ノ設計、施行方法及施行者ノ如何ニ依リ之カ認可ヲ爲スヘク機宜ノ御措置相成コトハ事業ノ性質上疑ヲ挿ムヘキ餘地ナシト存候得共爲念御意見御開示相煩ハシ度候也

## 四三、土地區劃整理設計認可申請 ニ關スル件

○都市計畫局長通牒(大正十三年七月九日發第三七號)

都市計畫法第十四條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ノ設計ニ關シ認可申請ノ場合ハ自今左記事項具備相成度

記

- 一 土地區劃整理施行又ハ組合設立認可申請者ノ住所氏名及組合ノ名稱
- 二 事業ノ範圍



- 三 整理施行前ニ於ケル施行地ノ地目別合計面積但シ耕地整理法第十一條第一項ノ國有地ニ付テハ用途別ノコト
- 四 耕地整理法第四十三條第一項及第四十四條第一項ノ土地ニシテ施行地ニ編入シ得テラシモノ又ハ其ノ他ノ土地ニシテ施行地ヨリ特ニ除斥シタルモノアルトキハ其ノ面積及事由
- 五 耕地整理法施行規則第八條ノ規定ニ依ル設計書

#### 四四、路幅以外ノ法敷買収ノ件

◎都市計畫課長通牒(大正十一年二月二十日 愛知縣知事宛)

標記ノ件別紙寫ノ通名古屋市長ヨリ伺出候處左記ノ通措置シ然ルヘキモノト被認候條貴官ヨリ右ノ趣旨名古屋市長へ移牒相成度

- 一 市長見解ノ通處置相成可然但シ土地收用法ノ適用ヲ受クルモノニ付テハ土地編目決定ノ公告ニ依ル被收用地ノ範圍外ニ亘ルコトヲ得ス
- 二 在來道路ノ管理者ト協議ノ上處理スヘキモノト認ム

◎名古屋市長伺(大正九年十月四日 名發第三六號)

大正八年八月付内務省訓令第五二三號ヲ以テ訓令相成候本市第一期都市計畫事業トシテ實施スヘキ五大幹線道路ノ開設並ニ改修ハ現下着々實施中ノ處就中低地ニ屬スル部分ニ於テハ地盤ノ高低著シキ爲議決ノ路幅ヲ保存セムトセハ單ニ路幅相當ノ用地ニテハ施工上不足ヲ感シ候ニ付勢ヒ法敷等ニ充當スヘキ敷地トシテ前示御訓示相成候附屬圖面ニ明示シアル路線幅員以外ニ涉リ敷地買収ヲ要スヘク候ニ付本市ニ於テハ此ノ場合左記見解ノ通心得處置致度ト存候得共委員會ノ決議並ニ御訓令トノ關係上支障無之候哉目下差懸リ居候次第モ有之候ニ付テハ至急何分ノ御指示相仰度此段相伺候也

左記

- 一 市區改正委員會若ハ都市計畫委員會ニ於テ議決セラレタル道路ノ開設若ハ改修ニ關スル事業ノ施行ニ際シ其ノ施工上必要ナル切取又ハ盛土ヲ爲スニ當リ必要之ニ要スル法敷等ノ土地ハ所定ノ幅員以外ニ亘リ是ヲ買収若ハ收用ヲ爲スニ當リ當初ノ議決機關ノ議決ヲ求ムルコトナク是等ハ當初議決ノ事業中ニ含マルルモノトシテ施工シ可然哉
- 二 前項ノ幹線ト交叉スル在來道路ニシテ相當盛土切取ノ必要アル場合ニ於テモ是ニ要スル敷地モ亦前項後段ノ如ク別ニ議決機關ノ議決ヲ求メス豫算範圍内ニ於



ヲ實施シ可然哉 以上

### 四五、都市計畫法第十六條第二項ニ依リ 收用シタル土地處分ニ關スル件

○都市計畫課長回答(大正十五年四月十  
二日收第二九號)

標記ノ件ニ關シ本年一月二十八日岡都甲第一號ヲ以テ御照會有之候處都市計畫法第十  
六條第二項ニ依リ收用シタル土地ヲ市カ永續使用スルハ本制度ノ趣旨ニ反シ認容スヘ  
カラサル儀ト被認候

○岡山市長照會(大正十五年一月二十  
八日岡都甲第一號)

都市計畫上左記ノ事項ニ關シ疑義相生シ候ニ付乍御手数何分ノ御回答相仰度  
記

都市計畫法第十六條第二項同法施行令第二十二條ノ規定ニ依リ收用シタル土地ハ土地  
區劃整理完了後之ヲ同法施行令第二十四條ニ依リ賣却又ハ貸付セシテ市カ之ヲ永續  
使用致シ支障無之儀ト承知致シ可然哉

### 四六、都市計畫法第十七條ニ關スル 疑義ノ件

○都市計畫局長回答(大正十二年八月十  
六日愛第二四號)

本年六月二十九日都第二六號ヲ以テ標記ノ件照會相成候處右ハ左記ノ通解釋シ可然ト  
被存候條御了承相成度

記

都市計畫法第十七條ノ規定ハ都市計畫事業タル土地區劃整理ニノミ適用セララルモノ  
ト認ム

○愛知縣知事照會(大正十二年六月二  
十九日都第二六號)

都市計畫法第十七條ニ依リ建築物其ノ他ノ工作物ヲ收用スルコトヲ得ル土地區劃整理  
ニハ同法第十三條ニ規定スル都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ヲモ  
包含スルモノト解シ可然哉御回示相成度



# 四七、土地收用法

(明治三十三年三月法律第二十九號)

沿革 大正三年第一五號 昭和二年第三九號改正

## 第一章 總 則

第一條 公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ爲之ニ要スル土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要アルトキハ其ノ土地ハ本法ノ規定ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得  
本法ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス

第二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

- 一 國防其ノ他軍事ニ關スル事業
- 二 皇室、陵墓ノ營建又ハ神社若ハ官公署廳ノ建設ニ關スル事業
- 三 社會事業又ハ教育若ハ學藝ニ關スル事業
- 四 鐵道、軌道、索道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、市場、電氣裝置、瓦斯裝置又ハ火葬場ニ關スル事業

五 衛生、測候、航路標識、防風、防火、水害豫防其ノ他公用ノ目的ヲ以テ國道府

縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ施設スル事業

第二條ノ二 現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ用ニ供スル土地ハ特別ノ必要アル場合ニ非サレハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ス

第三條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル起業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第四條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ起業者土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ効力ヲ有ス

第五條 本法ニ於テ土地所有者ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ謂フ  
本法ニ於テ關係人ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地又ハ其ノ土地ニ在ル建物ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後其ノ土地又ハ其ノ土地ニ在ル建物ニ關シテ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム